



平成27年度版

# 福島県環境白書

## —統計資料編—

平成27年10月

福島県



---

資料 1	空間線量率の測定	1
資料 2	放射性核種分析	4
資料 3	水浴場の環境放射線モニタリング調査結果	6
資料 4	除染特別地域における計画に基づく除染等工事の実施率	8
資料 5	汚染状況重点調査地域の指定状況等	9
資料 6	市町村除染地域における除染実施状況	10
資料 7	市町村除染地域等のモニタリングポスト設置箇所における 年間追加被ばく線量が 1mSv 以下となる地点の割合	12
資料 8	災害廃棄物の処理状況	13
資料 9	温室効果ガスの総排出量と伸び率	14
資料 10	地球温暖化防止のための福島議定書事業表彰団体一覧	15
資料 11	低公害車の導入の促進	17
資料 12	ごみ総排出量及び県民一人一日当たりのごみ総排出量の推移	18
資料 13	リサイクル法	19
資料 14	産業廃棄物の処理状況	20
資料 15	産業廃棄物処理施設	21
資料 16	産業廃棄物処理業者及び特別管理産業廃棄物処理業者	23
資料 17	産業廃棄物処理業者・処理施設設置者に対する行政処分 (許可取消し) 件数	24
資料 18	地域ぐるみ監視体制づくり支援事業実施状況	24
資料 19	都道府県別不法投棄件数・投棄量	25
資料 20	平成 26 年度認定うつくしま、エコ・リサイクル製品一覧	26
資料 21	自然公園一覧	27
資料 22	自然公園の利用状況	28
資料 23	県立自然公園指定植物一覧	28
資料 24	自然保護指導員等の配置状況	29
資料 25	自然公園等の許可・届出処理状況	29
資料 26	自然公園等施設整備状況	29
資料 27	自然環境保全地域及び緑地環境保全地域位置図	30
資料 28	自然環境保全地域及び緑地環境保全地域一覧	31
資料 29	裏磐梯ビジターセンターの利用者状況	33
資料 30	風致地区一覧表	34

---

## 目次

---

資料 3 1	緑地協定締結状況表	35
資料 3 2	都市公園整備状況表	36
資料 3 3	野生動植物保護地区一覧	38
資料 3 4	鳥獣の保護	39
資料 3 5	狩猟者登録件数の推移	40
資料 3 6	主な鳥獣の有害・個体数調整捕獲数	40
資料 3 7	大気監視測定局一覧	41
資料 3 8	主な大気汚染物質年平均濃度の推移	43
資料 3 9	有害大気汚染物質モニタリング測定地点	44
資料 4 0	有害大気汚染物質モニタリングの結果	45
資料 4 1	一般環境アスベスト濃度調査の結果	46
資料 4 2	ばい煙発生施設届出件数等	47
資料 4 3	揮発性有機化合物排出施設・一般粉じん発生施設届出件数等	50
資料 4 4	公共用水域の水質監視	51
資料 4 5	生活環境項目（BOD 又は COD）に係る環境基準達成状況の推移	54
資料 4 6	河川、湖沼、海域の水質環境基準の水域類型の指定状況	55
資料 4 7	窒素及び燐の排水規制対象湖沼・海域	56
資料 4 8	水系・河川の水質測定結果	58
資料 4 9	湖沼・海域・水浴場の水質測定結果	64
資料 5 0	管内別・業種別特定事業場数及び 排水規制対象特定事業場数	76
資料 5 1	浄化槽の設置状況	80
資料 5 2	騒音規制法及び振動規制法に基づく 地域別の特定施設設置等状況	82
資料 5 3	酸性雨モニタリング調査結果	84
資料 5 4	PRTR データの集計結果	85
資料 5 5	ダイオキシン類対策特別措置法などによる 大気・水質基準適用施設	87
資料 5 6	ダイオキシン類調査	89
資料 5 7	化学物質排出実態調査	91
資料 5 8	公害苦情	93
資料 5 9	工場・事業場における環境汚染事故の発生件数の推移	96

---

資料 6 0	公害防止管理者等選任届出の状況	96
【参考】	工場立地件数	96
資料 6 1	警察における公害苦情処理状況 環境事犯の取締り	97
資料 6 2	環境影響評価法に基づく環境影響評価の実施状況	99
資料 6 3	景観法及び福島県景観条例に基づく行為の届出受理件数	100
資料 6 4	優良景観形成住民協定一覧	101

---



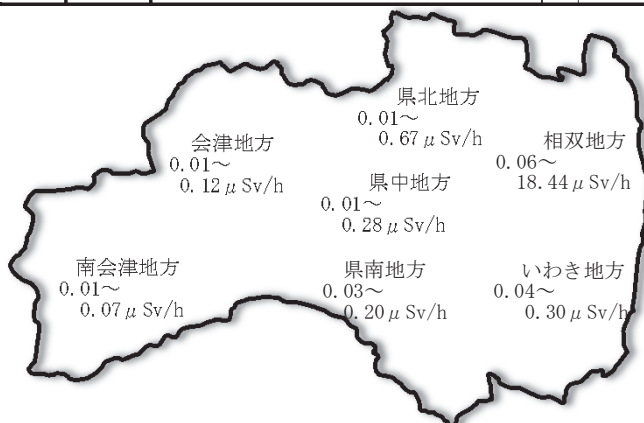
# 資料 1 空間線量率の測定

## (1) 定時定点モニタリング

県合同庁舎や市町村役場など県内全域624箇所にて原子力規制庁と県が設置しているモニタリングポストによる空間線量率の測定結果を取りまとめ、公表しています。

○平成27年3月の測定結果

区 分		測 定 地点数	測定結果 (単位: $\mu\text{Sv/h}$ )	
			最小値地点	最大値地点
各地方振興局		7	0.03 南会津合同庁舎駐車場 (南会津町)	0.24 県北保健福祉事務所南側広場 (福島市)
県内 各地方	県北地方	78	0.01 県土湯除雪ステーション (福島市)	0.67 山木屋乙八区コミュニティー 消防センター (川俣町)
	県中地方	109	0.01 二岐駐車場 (天栄村)	0.28 下水道管理センター (郡山市)
	県南地方	50	0.03 那須甲子少年自然の家 (西郷村)、 大黒屋旅館駐車場 (西郷村)	0.20 白河市総合運動公園、 虫笠消防火の見付近 (西郷村)、 西郷村文化センター (西郷村役場)
	会津地方	48	0.01 会津若松市基幹集落センター、 ふれあいランド高郷 (喜多方市)、 入田付小学校根小屋分校 (喜多方市)、 達沢生活改善センター (猪苗代町)、 大塩体育館 (金山町)、 金山町自然教育村会館	0.12 大田木浄化センター
	南会津地方	19	0.01 下郷町三ツ井生活改善センター、 道の駅しもごう、 只見町町下広場野球場、 宮里新屋敷 (南会津町)、 湯ノ花温泉交流センター (南会津町)、 道の駅たじま (南会津町)、 リゾートイン台鞍 (南会津町)、 南会津町館岩岩下交流センター	0.07 南会津町館岩総合支所、 びわのかけ運動公園 (南会津町)
	相双地方	258	0.06 相馬市東部公民館、 福浦小学校 (南相馬市)、 檜葉南小学校 (檜葉町)、 ふたば農協川内支店 (川内村)、 大字請戸集会所 (浪江町)	18.44 夫沢三区地区集会所 (大熊町)
	いわき地方	55	0.04 貝泊多目的集会所 (いわき市)、 いわき市勿来支所、 いわき市小名浜支所、 アクアマリンふくしま (いわき市)、 入定構造改善センター (いわき市)	0.30 旧戸渡分校 (いわき市)



## (2) 随時モニタリング

メッシュ調査（道路上で測定）、学校、児童福祉施設、都市公園、集会所等調査、自動車走行サーベイ、詳細調査（宅地内調査）により、空間線量率の測定を行っており、その主な調査結果は以下のとおりです。

調査区分	調査時期	調査地点数	調査結果（最小値～最大値）
メッシュ調査	H23. 4	1, 865	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 44. 8 $\mu$ Sv/h
	H23. 8～9	2, 776	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 5. 2 $\mu$ Sv/h
	H24. 2～3	2, 675	0. 03 $\mu$ Sv/h ～ 3. 4 $\mu$ Sv/h
	H24. 5～6	2, 767	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 3. 4 $\mu$ Sv/h
	H24. 10	2, 748	0. 05 $\mu$ Sv/h ～ 3. 1 $\mu$ Sv/h
	H25. 5～6	2, 747	0. 05 $\mu$ Sv/h ～ 3. 0 $\mu$ Sv/h
	H26. 5～6	2, 904	0. 05 $\mu$ Sv/h ～ 3. 8 $\mu$ Sv/h
学校等調査	H23. 4	1, 772	0. 05 $\mu$ Sv/h ～ 28. 7 $\mu$ Sv/h
	H23. 6	1, 729	0. 07 $\mu$ Sv/h ～ 3. 1 $\mu$ Sv/h
	H23. 9～10	1, 739	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 2. 0 $\mu$ Sv/h
	H24. 3	1, 758	0. 02 $\mu$ Sv/h ～ 1. 6 $\mu$ Sv/h
	H24. 6～7	1, 749	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 1. 4 $\mu$ Sv/h
	H25. 1	1, 733	0. 02 $\mu$ Sv/h ～ 1. 2 $\mu$ Sv/h
	H25. 7～8	1, 716	0. 05 $\mu$ Sv/h ～ 0. 63 $\mu$ Sv/h
	H26. 10	1, 680	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 0. 63 $\mu$ Sv/h
児童福祉施設等調査	H23. 4	325	0. 08 $\mu$ Sv/h ～ 15. 2 $\mu$ Sv/h
	H23. 6	327	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 3. 6 $\mu$ Sv/h
	H23. 11	314	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 2. 7 $\mu$ Sv/h
	H24. 7	330	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 1. 6 $\mu$ Sv/h
	H24. 12	327	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 1. 4 $\mu$ Sv/h
	H25. 7	429	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 1. 0 $\mu$ Sv/h
	H26. 9	448	0. 05 $\mu$ Sv/h ～ 0. 74 $\mu$ Sv/h
都市公園等調査	H23. 4	735	0. 10 $\mu$ Sv/h ～ 4. 0 $\mu$ Sv/h
	H23. 6	382	0. 07 $\mu$ Sv/h ～ 3. 3 $\mu$ Sv/h
	H24. 4	1, 122	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 2. 3 $\mu$ Sv/h
	H24. 11～12	1, 123	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 1. 9 $\mu$ Sv/h
	H25. 6	1, 112	0. 06 $\mu$ Sv/h ～ 1. 6 $\mu$ Sv/h
	H26. 10～11	1, 124	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 1. 1 $\mu$ Sv/h
公民館等	H23. 6	417	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 1. 5 $\mu$ Sv/h
	H23. 12	415	0. 04 $\mu$ Sv/h ～ 1. 2 $\mu$ Sv/h



調査区分	調査時期	調査地点数	調査結果 (最小値～最大値)
観光地等	H23. 7～8	226	0.06 $\mu$ Sv/h ～ 3.0 $\mu$ Sv/h
	H23. 12	264	0.06 $\mu$ Sv/h ～ 2.5 $\mu$ Sv/h
	H24. 4～5	278	0.05 $\mu$ Sv/h ～ 2.0 $\mu$ Sv/h
	H24. 10～11	283	0.04 $\mu$ Sv/h ～ 2.0 $\mu$ Sv/h
	H25. 4	283	0.02 $\mu$ Sv/h ～ 1.5 $\mu$ Sv/h
	H25. 8～9	286	0.03 $\mu$ Sv/h ～ 1.5 $\mu$ Sv/h
	H26. 4～5	240	0.03 $\mu$ Sv/h ～ 1.2 $\mu$ Sv/h
	H26. 8～9	241	0.04 $\mu$ Sv/h ～ 1.0 $\mu$ Sv/h
集会所等	H23. 10～11	3,971	0.04 $\mu$ Sv/h ～ 2.3 $\mu$ Sv/h
	H24. 8～10	3,761	0.04 $\mu$ Sv/h ～ 2.3 $\mu$ Sv/h
	H25. 2～3	3,759	0.03 $\mu$ Sv/h ～ 1.6 $\mu$ Sv/h
	H25. 9～11	3,737	0.04 $\mu$ Sv/h ～ 0.99 $\mu$ Sv/h
	H26. 6～8	3,747	0.04 $\mu$ Sv/h ～ 0.74 $\mu$ Sv/h

## 資料2 放射性核種分析

大気浮遊じん、河川水、海水、土壌等の放射性核種分析を実施しており、その主な調査結果は以下のとおりです。

大気浮遊じん、河川・海域等の水質については、東日本大震災直後、放射性核種の濃度が急激に上昇しましたが、その後、徐々に低下し、平成27年3月現在、その濃度は不検出を示すことが多くなっています。

※ [] 内は検出限界値を表しております。

調査区分		調査時期	調査検体数	調査結果 (最小値～最大値)
大気浮遊じん※		H23.3 ～ H24.3	2,077	I-131 不検出 ～ 555 Bq/m <sup>3</sup> [0.56 以下] Cs-134 不検出 ～ 38.8 Bq/m <sup>3</sup> [0.73 以下] Cs-137 不検出 ～ 42.1 Bq/m <sup>3</sup> [0.67 以下]
		H24.4 ～ H25.3	994	I-131 全て不検出[0.04 以下] Cs-134 不検出 ～ 0.0038 Bq/m <sup>3</sup> [0.05 以下] Cs-137 不検出 ～ 0.0403 Bq/m <sup>3</sup> [0.05 以下]
		H25.4 ～ H26.3	990	I-131 全て不検出[0.00494 以下] Cs-134 不検出 ～ 0.014 Bq/m <sup>3</sup> [0.000499 以下] Cs-137 不検出 ～ 0.028 Bq/m <sup>3</sup> [0.000356 以下]
		H26.4 ～ H27.3	707	I-131 全て不検出[0.00216 以下] Cs-134 不検出 ～ 0.0018 Bq/m <sup>3</sup> [0.000290 以下] Cs-137 不検出 ～ 0.0052 Bq/m <sup>3</sup> [0.000261 以下]
河川、湖沼・ダム 貯水池	水質・底質	H23.5 ～ H24.3	2,088	水質 I-131 全て不検出 Cs-134 不検出 ～ 12 Bq/L Cs-137 不検出 ～ 15 Bq/L } [1-10] 底質 I-131 不検出 ～ 65 Bq/kg (H23.6～不検出)[15-30] Cs-134 不検出 ～ 110,000 Bq/kg[10-30] Cs-137 不検出 ～ 150,000 Bq/kg[10-30]
海域 (港湾・海面漁場)	水質・ 海底土壌	H23.5 ～ H24.3	1,205	水質 I-131 全て不検出 Cs-134 1.84～12.8 Bq/L Cs-137 不検出～20.1 Bq/L } [1 程度] 底質 I-131 全て不検出 Cs-134 不検出～4,592 Bq/kg Cs-137 不検出～4,679 Bq/kg } [10-20]
		H24.4 ～ H25.3	1,085	水質 I-131 全て不検出 Cs-134 全て不検出 Cs-137 全て不検出 } [1 程度] 底質 I-131 全て不検出 Cs-134 不検出～1,280 Bq/kg Cs-137 2.42～1,920 Bq/kg } [10 程度]

調査区分		調査時期	調査検体数	調査結果（最小値～最大値）
海域 (港湾・海面漁場)	水質・ 海底土壌	H25.4 ～ H26.3	1,089	水質 I-131 全て不検出 Cs-134 全て不検出 Cs-137 全て不検出 } [1程度] 底質 I-131 全て不検出 Cs-134 不検出～266 Bq/kg Cs-137 不検出～665 Bq/kg } [10程度]
		H26.4 ～ H27.3	1,081	水質 I-131 全て不検出 Cs-134 全て不検出 Cs-137 全て不検出 } [1程度] 底質 I-131 全て不検出 Cs-134 不検出～169 Bq/kg Cs-137 2.53～447 Bq/kg } [10程度]
土壌※ (県 Pr, Sr 調査地点)		H23.7～10	55	Pu-238 不検出 ～ 0.139 Bq/kg 乾土[0.015-0.037] Pu239+240 不検出 ～ 4.27 Bq/kg 乾土[0.014-0.021] Sr-90 不検出 ～80.8 Bq/kg 乾土[0.88-1.2]
				ガンマ線放出核種 I-131 全て不検出[14-160] Cs-134 14.7 ～ 90,100 Bq/kg 乾土 Cs-137 17.5 ～ 99,700 Bq/kg 乾土
		H24.11	55	Pu-238 不検出 ～ 0.13 Bq/kg 乾土[0.065以下] Pu239+240 不検出 ～ 3.9 Bq/kg 乾土[0.12以下] Sr-90 不検出 ～58 Bq/kg 乾土[0.84以下]
				ガンマ線放出核種 (調査時期：6月、11月、調査検体数：のべ61検体) I-131 全て不検出[710以下] Cs-134 14 ～ 180,000 Bq/kg 湿土 Cs-137 40 ～ 290,000 Bq/kg 湿土
H25.6～10	64	Pu-238 不検出～0.18 Bq/kg 乾土[0.13以下] Pu239+240 不検出～4.8 Bq/kg 乾土[1.2以下] Sr-90 不検出～32 Bq/kg 乾土[4.3以下]		
		ガンマ線放出核種 (調査時期：6月～12月、調査検体数：のべ81検体) I-131 全て不検出[470以下] Cs-134 22 ～ 90,000 Bq/kg 湿土 Cs-137 52 ～190,000 Bq/kg 湿土		
H26.6～ H27.3	21	Pu-238 測定中 Pu239+240 測定中 Sr-90 不検出～40 Bq/kg 乾土[2.3以下]		
		ガンマ線放出核種 (調査検体数：のべ37検体) I-131 全て不検出[集計中] Cs-134 5.0 ～ 49,000 Bq/kg 湿土 Cs-137 32 ～ 150,000 Bq/kg 湿土		

<参考>法令に定める周辺監視区域外の濃度限度

・空気中の濃度限度 I-131:5Bq/m<sup>3</sup>、Cs-134:20Bq/m<sup>3</sup>、Cs-137:30Bq/m<sup>3</sup>

・水中の濃度限度 I-131:40Bq/L、Cs-134:60Bq/L、Cs-137:90Bq/L

(法令：実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度等を定める告示)

※ 平成26年度版環境白書の記載に誤りがありましたので訂正します。

### 資料3 水浴場の環境放射線モニタリング調査結果（平成26年度）

#### (1) 遊泳期間前における水浴場の環境放射線モニタリング調査結果

No.	水浴場名	市町村名	区分	湖岸又は海岸の空間線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )			湖水又は海水の放射性核種分析 (Bq/L)				
				調査日	地表面 (地上1cm)	地上50cm	地上1m	調査日	採水位置	放射性セシウム	
										Cs-134	Cs-137
H26年夏開設した水浴場											
1	長浜	猪苗代町	湖水浴場	5月15日	0.07	0.07	0.06	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
2	天神浜	〃	〃	5月15日	0.06	0.06	0.05	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
3	志田浜	〃	〃	5月15日	0.06	0.06	0.06	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
4	上戸浜	〃	〃	5月15日	0.08	0.08	0.08	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
5	崎川浜	会津若松市	〃	5月15日	0.06	0.05	0.06	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
6	中田浜	〃	〃	5月15日	0.05	0.05	0.05	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
7	小石ヶ浜	〃	〃	5月15日	0.07	0.08	0.08	5月15日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
8	浜路浜	郡山市	〃	5月20日	0.06	0.06	0.06	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
9	横沢浜	〃	〃	5月20日	0.06	0.06	0.06	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
10	館浜	〃	〃	5月20日	0.06	0.05	0.05	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
11	舟津浜	〃	〃	5月20日	0.06	0.06	0.06	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
12	舟津公園	〃	〃	5月20日	0.07	0.07	0.07	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
13	青松浜	〃	〃	5月20日	0.06	0.06	0.06	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
14	秋山浜	〃	〃	5月20日	0.04	0.05	0.04	5月20日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
15	四倉	いわき市	海水浴場	5月19日	0.05	0.05	0.05	5月19日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
16	勿来(北)	〃	〃	5月19日	0.05	0.05	0.05	5月19日	表層	不検出	不検出
	勿来(南)	〃	〃	5月19日	0.06	0.05	0.05	5月19日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
H26年夏開設しなかった水浴場											
17	釣師浜	新地町	海水浴場	5月26日	0.04	0.03	0.03	5月26日	波打ち際	不検出	不検出
18	原釜・尾浜	相馬市	〃	5月26日	0.05	0.05	0.04	5月26日	波打ち際	不検出	不検出
19	北泉	南相馬市	〃	5月26日	0.05	0.05	0.05	5月26日	波打ち際	不検出	不検出
20	久ノ浜・波立	いわき市	〃	5月19日	0.09	0.09	0.09	5月19日	波打ち際	不検出	不検出
21	新舞子ビーチ	〃	〃	5月19日	0.07	0.06	0.07	5月19日	波打ち際	不検出	不検出
22	薄磯	〃	〃	5月19日	0.05	0.05	0.05	5月19日	波打ち際	不検出	不検出
23	豊間	〃	〃	5月19日	0.04	0.04	0.05	5月19日	波打ち際	不検出	不検出
24	永崎	〃	〃	5月19日	0.04	0.04	0.04	5月19日	波打ち際	不検出	不検出
25	小浜	〃	〃	5月19日	0.04	0.05	0.04	5月19日	波打ち際	不検出	不検出

\*本分析における放射性物質濃度の検出限界値(約1 Bq/L 測定条件(使用した測定機器、測定時のバックグラウンド値等)により、測定毎に若干変動する。)を下回る場合は、不検出と記載。

## (2) 遊泳期間中における水浴場の環境放射線モニタリング調査結果

No.	水浴場名	市町村名	区分	湖岸又は海岸の空間線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )			湖水又は海水の放射性核種分析 (Bq/L)				
				調査日	地表面 (地上1cm)	地上50cm	地上1m	調査日	採水位置	放射性セシウム	
										Cs-134	Cs-137
H26年夏開設した水浴場											
1	長浜	猪苗代町	湖水浴場	7月29日	0.07	0.07	0.06	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
2	天神浜	〃	〃	7月29日	0.05	0.05	0.05	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
3	志田浜	〃	〃	7月29日	0.06	0.06	0.05	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
4	上戸浜	〃	〃	7月29日	0.08	0.08	0.07	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
5	崎川浜	会津若松市	〃	7月29日	0.05	0.04	0.04	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
6	中田浜	〃	〃	7月29日	0.05	0.04	0.04	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
7	小石ケ浜	〃	〃	7月29日	0.07	0.07	0.06	7月29日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
8	浜路浜	郡山市	〃	7月22日	0.06	0.06	0.06	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
9	横沢浜	〃	〃	7月22日	0.06	0.06	0.06	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
10	館浜	〃	〃	7月22日	0.05	0.05	0.05	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
11	舟津浜	〃	〃	7月22日	0.07	0.06	0.06	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
12	舟津公園	〃	〃	7月22日	0.07	0.06	0.06	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
13	青松浜	〃	〃	7月22日	0.06	0.05	0.06	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
14	秋山浜	〃	〃	7月22日	0.05	0.05	0.05	7月22日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
15	四倉	いわき市	海水浴場	7月22日	0.05	0.05	0.05	7月22日	表層	不検出	不検出
				8月4日	0.06	0.06	0.05	8月4日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
16	勿来(南)※	〃	〃	7月22日	0.06	0.05	0.06	7月22日	表層	不検出	不検出
				8月4日	0.07	0.06	0.06	8月4日	表層	不検出	不検出
									下層	不検出	不検出
H26年夏開設しなかった水浴場											
17	釣師浜	新地町	海水浴場	7月15日	0.05	0.04	0.05	7月15日	波打ち際	不検出	不検出
18	原釜・尾浜	相馬市	〃	7月15日	0.04	0.04	0.04	7月15日	波打ち際	不検出	不検出
19	北泉	南相馬市	〃	7月15日	0.04	0.05	0.05	7月15日	波打ち際	不検出	不検出
20	久ノ浜・波立	いわき市	〃	7月22日	0.09	0.10	0.09	7月22日	波打ち際	不検出	不検出
21	新舞子ビーチ	〃	〃	7月22日	0.06	0.06	0.06	7月22日	波打ち際	不検出	不検出
22	薄磯	〃	〃	7月22日	0.05	0.05	0.05	7月22日	波打ち際	不検出	不検出
23	豊間	〃	〃	7月22日	0.05	0.04	0.04	7月22日	波打ち際	不検出	不検出
24	永崎	〃	〃	7月22日	0.05	0.04	0.04	7月22日	波打ち際	不検出	不検出
25	小浜	〃	〃	7月22日	0.04	0.04	0.04	7月22日	波打ち際	不検出	不検出

※本分析における放射性物質濃度の検出限界値(約1 Bq/L 測定条件(使用した測定機器、測定時のバックグラウンド値等)により、測定毎に若干変動する。)を下回る場合は、不検出と記載。

※No. 16勿来についてはエリアが広い為、前回まで(北)と(南)の2地点で測定したが、平成26年度は北エリアが開設されなかったため、対象外とした。

## 資料4 除染特別地域における除染等工事の実施率

平成26年度末までの除染特別地域における除染等工事の実施率は以下のとおりです。

	田村市 (※)	檜葉町 (※)	川内村 (※)	飯舘村	川俣町
宅地	100%	100%	100%	96%	100%
農地	100%	100%	100%	34%	19%
森林	100%	100%	100%	39%	58%
道路	100%	100%	100%	26%	4%

	葛尾村	大熊町 (※)	南相馬市	富岡町	浪江町
宅地	100%	100%	8%	24%	11%
農地	68%	100%	10%	5%	14%
森林	99.9%	100%	38%	41%	18%
道路	32%	100%	6%	65%	21%

※ 田村市は平成25年6月30日、檜葉町、川内村及び大熊町は平成26年3月31日に計画に基づく除染が終了。

注1 実施率は、当該市町村の除染対象の面積等に対する一連の除染行為（除草、堆積物除去、洗浄等）が終了した面積等の割合。

注2 除染対象地域の面積・除染行為が終了した面積とも、今後の精査によって変わりうる。



資料6 市町村除染地域における除染実施状況(平成27年3月31日時点)

市町村名		除染計画策定	平成27年3月31日時点													
			住宅:戸					公共施設等:施設					道路:km			
			全体計画	H26までの計画	発注	進捗		全体計画	H26までの計画	発注	進捗		全体計画	H26までの計画	発注	除染実施
除染実施	調査にて終了	除染実施				調査にて終了										
県北	1 福島市	H24.5.21	95,751	95,751	95,751	57,741		1,523	1,523	1,410	1,397		1085.5	1085.5	1085.5	493.4
	2 二本松市	H24.10.1	20,000	20,000	18,038	14,566		400	275	254	253		561.0	524.6	450.6	374.3
	3 伊達市	H24.8.10	22,064	19,346	16,979	11,744	5,235	1,347	1,347	1,347	685	232	642.0	580.5	580.5	580.5
	4 本宮市	H24.11.2	10,018	10,018	10,018	3,244		207	207	207	207		*	215.4	107.7	58.9
	5 桑折町	H24.5.29	4,649	4,649	4,649	4,572	61	771	736	736	704		177.3	127.3	127.3	123.2
	6 国見町	H24.10.19	3,400	2,962	2,962	2,480		50	50	50	50		235.0	62.2	59.7	27.9
	7 川俣町	H24.9.20	6,200	6,200	6,200	5,979		159	159	159	127		357.7	357.7	357.7	357.7
	8 大玉村	H24.9.7	2,500	2,500	2,379	2,187		100	100	48	48		330.0	50.0	6.0	6.0
県中	9 郡山市	H25.1.7	100,000	81,011	81,516	50,096		1,040	1,027	1,027	952		3081.9	2177.5	561.3	194.5
	10 須賀川市	H24.8.10	14,000	9,187	8,939	6,377	18	392	392	392	340		610.3	610.3	610.3	407.6
	11 田村市	H24.7.3	11,695	10,676	11,695	3,948	6,728	635	530	635	235	295	264.0	264.0	264.0	212.4
	12 鏡石町	H24.7.3	3,697	1,488	1,296	107	357	87	87	69	45	24	*	68.2	64.2	11.0
	13 天栄村	H24.5.21	2,153	902	902	664		81	65	65	54		325.0	41.1	41.1	35.0
	14 石川町	H24.11.22	5	5	5	5		15	15	15	15		2.4	2.4	2.4	0.2
	15 玉川村	H24.7.13	811	811	811	25	786	9	9	9	9		*			
	16 平田村	H24.5.24	5	5	5		5	5	5	5	5		—	—	—	—
	17 浅川町	H24.7.13	—	—	—	—	—	6	6	6	6		—	—	—	—
	18 古殿町	H24.7.17	29	29	29	24	5	6	6	6	6		0.4	0.4	0.4	0.4
19 三春町	H24.12.12	5,500	4,972	4,972	1,317	87	400	239	154	135	3	340.0	208.0	170.2	50.0	
20 小野町	H24.10.1	3,332	3,332	3,332	41	3,291	162	162	162	6	156	306.5	306.5	306.5	1.1	
県南	21 白河市	H24.11.28	12,060	6,663	6,663	5,436	36	344	344	344	303		1000.0	330.1	260.1	260.1
	22 西郷村	H24.7.13	6,965	6,965	6,965	4,031		258	212	186	151		353.0	46.0	46.0	44.2
	23 泉崎村	H24.5.21	2,233	2,233	2,233	1,680	379	80	80	80	62	18	160.1	160.1	160.1	37.0
	24 中島村	H24.7.13	1,527	1,527	1,527	223	1,161	67	8	8	8	59	*			
	25 矢吹町	H24.7.13	6,429	1,895	1,892	328	1,200	27	27	21	21		33.5	33.5	18.2	13.3
	26 棚倉町	H24.7.3	147	92	92	87	5	14	12	12	11	1	0.7			
	27 鮫川村	H24.8.3	219	219	219	79	140	5	5	5	5		—	—	—	—
会津	28 会津坂下町	H24.10.5	5,710	4,722	4,722	1,184	3,538	83	83	83	51	32	190.5	150.7	150.7	1.6
	29 湯川村	H24.7.13	481	481	481	481		41	41	41	41		42.8	42.8	42.8	42.8
	30 会津美里町	H24.6.11	497	497	497	355	142	20	20	20	20		0.8	0.8	0.8	0.8
相双	31 新地町	H24.6.11	600	401	401	154	247	22	22	22	22		*			
	32 相馬市	H24.9.21	9,980	6,050	2,107	1,573	397	47	47	47	47		17.9	17.9	17.9	17.9
	33 南相馬市	H25.1.29	21,056	9,811	11,033	5,085		135	135	134	133		1016.8	382.4	382.4	357.0
	34 広野町	H24.6.12	1,959	1,959	1,959	1,908		39	39	39	39		121.6	121.6	121.6	121.6
	35 川内村	H24.10.10	1,070	1,070	1,070	1,070		20	20	20	20		245.0	245.0	245.0	140.0
いわき	36 いわき市	H25.3.26	54,015	30,535	30,535	6,342	6,902	541	541	541	506	26	3480.0	103.0	92.0	11.0
合計			430,757	348,964	342,874	195,133	30,720	9,138	8,576	8,359	6,719	846	15,265.3	8,315.5	6,333.0	3,981.4
26年度末までの計画に対する進捗率			—	—	98.3%	64.7%		—	—	97.5%	88.2%		—	—	76.2%	47.9%
全体計画に対する進捗率			—	81.0%	79.6%	52.4%		—	93.8%	91.5%	82.8%		—	54.5%	41.5%	26.1%
市町村数			36	35	35	34	21	36	36	36	36	10	28	29	29	29

注)「計画」、「発注」、「除染実施」は、平成23年度から平成27年3月末時点での計画数、発注数、除染実施数の累計を示す。  
「—」は実施予定のないことを示す。  
\*は、市町村において調整中であることを示す。  
一施設を複数回の発注に分けた場合も「1」として計上しており、各市町村の発注数等とは一致しない場合がある。  
「計画」は詳細測定(事前測定)前の対象数を示しており、実際の除染作業の対象数は変わる場合がある。  
「調査にて終了」とは調査発注後、詳細測定(事前測定)の結果により除染が必要ないと判断されたものを示す。  
全体計画数は市町村によっては概数あるいは平成26年度末までの計画数を計上しているところもあり、今後変更されるため参考値である。



平成27年3月31日時点																			備 考	
水田:ha				畑地:ha				樹園地:ha				牧草地:ha				森林(生活圏):ha				
全体計画	H26までの計画	発注	除染実施	全体計画	H26までの計画	発注	除染実施	全体計画	H26までの計画	発注	除染実施	全体計画	H26までの計画	発注	除染実施	全体計画	H26までの計画	発注		
2497.0	2361.0	2361.0	2361.0	1184.0	1184.0	888.0	888.0	2091.2	2091.2	2083.1	2059.5	409.0	138.6	129.5	112.9	433.9	433.9	433.9	96.9	樹園地の計画数、発注数、除染実施数は樹体洗浄と表土除去の延べ面積である。
2467.8	2467.8	2467.8	2467.8	194.0	106.8	106.8	106.8	69.0	69.0	69.0	69.0	900.0	710.6	710.6	710.6	447.0	330.0	330.0	230.8	
1302.5	1302.5	1302.5	1302.5	7.3	3.8	3.8	3.8	1665.0	1665.0	1665.0	1665.0	29.4	29.4	29.4	29.4	160.0	72.1	72.1	72.1	
*	18.5	18.5	18.5	*	13.7	6.3	6.3	*	13.0	13.0	13.0	110.0	95.3	86.3	86.3	*				
552.0	552.0	552.0	552.0	—	—	—	—	380.0	380.0	380.0	380.0	—	—	—	—	13.4	13.4	13.4	12.0	
456.0	456.0	456.0	456.0	338.8				409.0	408.8	406.2	406.1	14.0				100.6	21.8	20.6	14.8	
299.2	298.9	298.9	298.9	265.4	261.7	261.7	261.7	5.0	5.0	5.0	5.0	畑地を含む				244.4	244.4	244.4	170.5	
*	98.8	98.8	98.8	*	42.4	42.4	42.4	8.9	8.9	8.9	8.9	267.5	245.8	245.8	245.3	50.0	30.0	30.0		
2141.0	2025.5	1973.0	1295.5	水田を含む	水田を含む	水田を含む	水田を含む	74.0	74.0	74.0	74.0	287.1	247.9	247.9	247.9	*	47.1	47.1	5.0	
3,783.0	2,628.0	2,628.0	1,767.0	*				175.8	175.8	175.8	175.8	17.3	17.3	17.3	17.3	4.1	4.1	4.1	0.7	
710.2	710.2	710.2	710.2	474.0	474.0	474.0	474.0	—	—	—	—	347.8	347.8	347.8	347.8	住宅を含む	住宅を含む	住宅を含む	住宅を含む	この他、調査にて終了の道路51.6km
100.5	18.5	18.5	18.5	30.0	30.0			89.6	48.6	48.6	48.6	—	—	—	—	—	—	—	—	
*				*				—	—	—	—	*				61.2	30.5	30.5	21.4	
—	—	—	—	—	—	—	—	35.0	35.0	35.0	35.0	—	—	—	—	4.2	4.2	4.2	4.2	この他、調査にて終了の道路2.2km
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	152.4	152.4	152.4	152.4	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	8.7	8.7	8.7	0.3	0.3	0.3	0.3	
—	—	—	—	231.1	231.1	231.1	231.1	15.6	15.6	15.6	15.6	79.5	79.5	79.5	79.5	36.6	36.6	36.6	4.9	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	0.1	0.1	0.1	この他、調査にて終了の道路305.4km
*	5.4	5.4	5.3	*	1.2	1.2	1.2	*	32.0	32.0	32.0	*	41.9	41.9	41.9	*	32.9	32.8	32.7	
26.0	23.0	23.0	23.0	40.0	40.0	40.0	40.0	—	—	—	—	170.8	170.8	170.8	170.5	690.0	36.4	36.4	30.1	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44.6	29.1	29.1	12.1	この他、調査にて終了の道路50.4km
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	*	2.5	2.5	2.5	公共施設等の調査にて終了は、村での直接調査による。
132.0	132.0	132.0	132.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	この他、調査にて終了の道路4.9km
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	*	1.0	1.0	1.0	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61.8	61.8	61.8	61.8	15.0	15.0	15.0	15.0	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	この他、調査にて終了の道路149.1km
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	住宅及び道路は住民協力により実施。
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	35.0	35.0	35.0	35.0	17.3	17.3	17.3	17.3	*				
73.0	32.0	32.0	32.0	62.3	62.3	62.3		43.8	43.8	43.8	43.8	262.3	262.3	205.8	177.9	*	20.9	住宅を含む	20.9	森林(生活圏)の発注は、住宅を含めて行っている。
4,580.0	3,265.3	3,265.3	689.7	1,506.9	1,394.2	1,394.2	71.3	27.8	27.8	27.8	19.0	155.4	155.4	155.4	38.5	*	64.8	住宅を含む	64.8	森林(生活圏)の発注は、住宅を含めて行っている。
234.1	234.1	234.1	232.6	76.6	76.6	76.6	65.3	—	—	—	—	—	—	—	—	237.6	237.6	237.6	227.3	
501.0	501.0	454.0	452.0	291.0	225.0	158.0	92.0	—	—	—	—	162.0	162.0	95.0	65.0	405.0	405.0	住宅を含む	145.0	森林(生活圏)の発注は、住宅を含めて行っている。
*	138.1	138.1	131.5	水田を含む	水田を含む	7.2	7.2	水田を含む	水田を含む			水田を含む	水田を含む			*	7.7	7.7	7.7	この他、調査にて終了の道路11.0km 畑地、樹園地、牧草地の計画面積は、水田を含む。
20,116.1	17,268.6	17,169.1	13,044.8	4,758.7	4,146.8	3,753.6	2,291.1	5,169.7	5,128.5	5,117.8	5,085.3	3,494.2	2,944.8	2,803.2	2,611.0	3,125.0	2,121.4	1,629.4	1,192.8	
—	—	99.4%	75.5%	—	—	90.5%	55.2%	—	—	99.8%	99.2%	—	—	95.2%	88.7%	—	—	76.8%	56.2%	
—	85.8%	85.4%	64.8%	—	87.1%	78.9%	48.1%	—	99.2%	99.0%	98.4%	—	84.3%	80.2%	74.7%	—	67.9%	52.1%	38.2%	
16	20	20	20	13	15	15	14	15	17	17	17	18	18	18	18	18	25	22	24	

住宅、公共施設等、道路：平成27年4月除染対策課調べ  
水田、畑地、樹園地、牧草地、森林(生活圏)：平成27年4月農林地再生対策室調べ

**資料7 市町村除染地域等のモニタリングポスト設置箇所における年間追加被ばく線量が1 mSv以下となる地点の割合（平成26年9月現在）**

地方名	市町村除染地域等のモニタリングポスト設置箇所数 (A)	(A)のうち、年間追加被ばく線量が1mSv以下となる箇所数 (B)	割合 (B)÷(A)×100
県北	76	61	80.3%
県中	105	102	97.1%
県南	51	51	100%
会津	49	49	100%
南会津	20	20	100%
相双	61	52	85.2%
いわき	56	55	98.2%
計	418	390	93.3%

※ 根拠資料：環境放射能測定結果（放射線監視室）

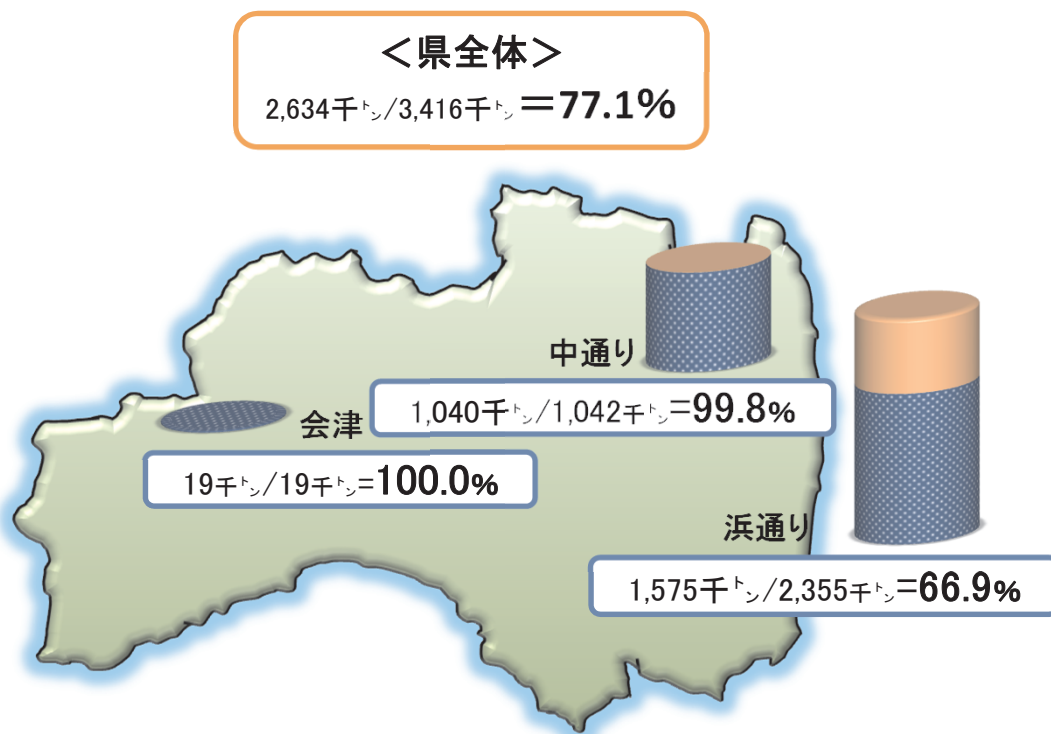
※ (B) 欄は、「年間追加被ばく線量が1 mSv以下」＝「空間線量率が毎時0.23 μSv以下」として、平成26年9月の平均値により計上しています。

※ (A) 欄の設置箇所数が、平成26年1月10日から4地点、平成26年4月1日から6地点追加されました。

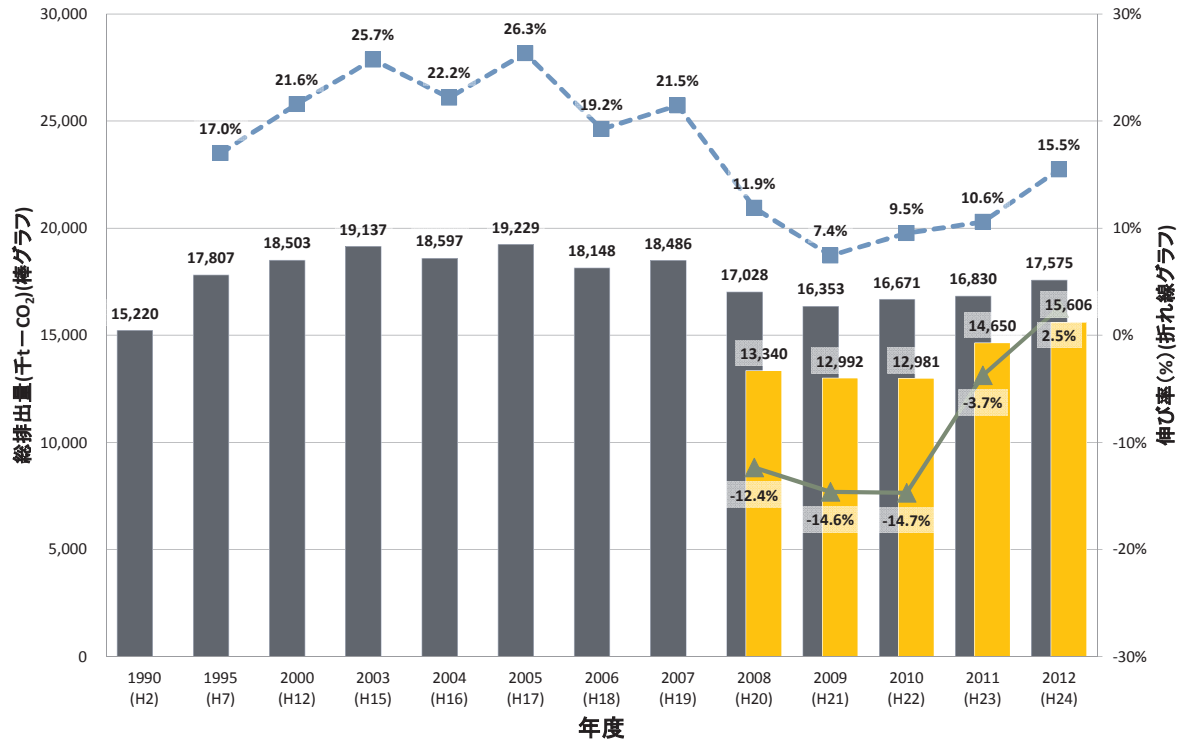
## 資料8 災害廃棄物の処理状況（平成27年3月末現在）

単位：千トン

方部	発生見込量	仮置き場 搬入済量	処理・処分 量 (処理率)	中間処理					最終処分 埋立
				焼却	木質 チップ化	金属くず	コンクリート 殻	その他 リサイクル	
中通り	1,042	1,040	1,040 (99.8%)	92	65	10	603	109	161
会津	19	19	19 (100.0%)	1.5	3	0	8	0	6
浜通り	2,355	2,079	1,575 (66.9%)	110	126	49	770	331	190
合計	3,416	3,138 (91.9%)	2,634 (77.1%)	204	194	59	1,381	440	357
うち国直轄及 び代行地域を 除く	1,747	1,747 (100.0%)	1,747 (100.0%)	114	171	33	944	168	317



資料9 温室効果ガスの総排出量と伸び率



※ 濃い棒グラフ及び点線の折れ線グラフは、それぞれ京都メカニズムや森林吸収を含めない総排出量及び伸び率を示し、薄い棒グラフ及び実線の折れ線グラフは、それぞれ京都メカニズムや森林吸収を含む総排出量及び伸び率を示す。

温室効果ガス排出量の内訳

年度		1990	1995	2000	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2012年度の 結果 (1990年度 比・1995年 度比)
		(H2)	(H7)	(H12)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	
二酸化炭素	千t-CO <sub>2</sub>	13,336	15,941	16,859	17,671	17,184	17,840	16,716	17,027	15,556	14,978	15,261	15,562	16,311	22.3%
	構成比%	87.6%	89.5%	91.1%	92.3%	92.4%	92.8%	92.1%	92.1%	91.4%	91.6%	91.5%	92.5%	92.8%	
メタン	千t-CO <sub>2</sub>	572	570	489	481	481	475	469	474	466	459	450	387	362	-36.8%
	構成比%	3.8%	3.2%	2.6%	2.5%	2.6%	2.5%	2.6%	2.6%	2.7%	2.8%	2.7%	2.3%	2.1%	
一酸化二窒素	千t-CO <sub>2</sub>	387	371	329	313	307	302	299	302	294	292	288	276	232	-40.1%
	構成比%	2.5%	2.1%	1.8%	1.6%	1.7%	1.6%	1.6%	1.6%	1.7%	1.8%	1.7%	1.6%	1.3%	
HFCs	千t-CO <sub>2</sub>	339	339	355	262	203	198	220	247	272	297	322	310	361	6.6%
	構成比%	2.2%	1.9%	1.9%	1.4%	1.1%	1.0%	1.2%	1.3%	1.6%	1.8%	1.9%	1.8%	2.1%	
PFCs	千t-CO <sub>2</sub>	302	302	335	310	324	330	352	354	373	294	317	269	284	-6.1%
	構成比%	2.0%	1.7%	1.8%	1.6%	1.7%	1.7%	1.9%	1.9%	2.2%	1.8%	1.9%	1.6%	1.6%	
SF <sub>6</sub>	千t-CO <sub>2</sub>	284	284	136	100	98	84	92	82	67	33	33	25	25	-91.2%
	構成比%	1.9%	1.6%	0.7%	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	
小計	千t-CO <sub>2</sub>	15,220	17,807	18,503	19,137	18,597	19,229	18,148	18,486	17,028	16,353	16,671	16,830	17,575	15.5%
森林吸収	千t-CO <sub>2</sub>									1,852	1,339	2,119	2,167	1,459	—
京都メカニズム	千t-CO <sub>2</sub>									1,836	2,022	1,571	13	510	—
合計	千t-CO <sub>2</sub>	15,220	17,807	18,503	19,137	18,597	19,229	18,148	18,486	13,340	12,992	12,981	14,650	15,606	2.5%

※代替フロン等3ガスは1995年度を基準年度としている。

※森林吸収量は林野庁算定データ

※京都メカニズム：京都議定書で導入された目標達成の補助的手段として、クレジット購入等の市場原理を活用し排出量を削減したとみなす仕組み。

資料10 平成26年度地球温暖化防止のための福島議定書事業(学校版)

表彰団体一覧

■合計20校

賞	部門	学校名	市町村	
最優秀賞	6	幼稚園	いわき市立内町幼稚園	いわき市
		小学校	伊達市立伊達東小学校	伊達市
		中学校	相馬市立玉野中学校	相馬市
		高等学校	郡山女子大学附属高等学校	郡山市
		特別支援学校	福島県立盲学校	福島市
		専修・各種学校	専門学校WIZ国際情報工科大学校	郡山市
優秀賞	1	小学校	いわき市立平第一小学校	いわき市
入賞	9	小学校	川俣町立飯坂小学校	川俣町
			郡山市立鬼生田 <small>おにうだ</small> 小学校	郡山市
			鏡石町立第二小学校	鏡石町
			矢祭町立下関 <small>しもせきごうど</small> 河内小学校	矢祭町
			下郷町立旭田小学校	下郷町
			いわき市立夏井小学校	いわき市
			いわき市立鹿島小学校	いわき市
			いわき市立中央台東小学校	いわき市
	中学校	いわき市立勿来第一中学校	いわき市	
特別賞	4	小学校	郡山市立多田野小学校	郡山市
			会津若松市立大戸小学校	会津若松市
		中学校	いわき市立好間中学校	いわき市
		高等学校	福島県立いわき総合高等学校	いわき市

平成26年度福島議定書事業(事業所版)従来編  
表彰団体一覧

## ■合計13団体

賞(表彰数)	部門(表彰数)	事業所名	市町村		
最優秀賞	3	オフィス・店舗等	1	アルパイン技研株式会社	いわき市
	製造業等	1	京セラ株式会社福島棚倉工場	棚倉町	
	運輸・設備業・その他	1	磐城通運株式会社	いわき市	
優秀賞	3	オフィス・店舗等	1	富士ゼロックス福島株式会社	郡山市
	製造業等	1	アルパインプレジジョン株式会社	いわき市	
	運輸・設備業・その他	1	山木工業株式会社	いわき市	
団体部門賞		1	生活協同組合コープふくしま	福島市	
入賞	6	オフィス・店舗等	2	東芝アルパイン・オートモティブテクノロジー株式会社	いわき市
				社会福祉法人福島福祉会養護盲老人ホーム緑光園	福島市
	製造業等	2	アルパインマニュファクチャリング株式会社	いわき市	
			大同電器株式会社	浅川町	
	運輸・設備業・その他	2	株式会社福島総合エンジニア	福島市	
			小野建設株式会社	相馬市	

平成25年度福島議定書事業(事業所版)上級編  
表彰団体一覧

## ■合計3団体

賞(表彰数)	事業所名	市町村	
最優秀賞	1	富士通アイソテック株式会社	伊達市
入賞	2	株式会社クレハ生産本部いわき事業所	いわき市
		株式会社CKF	二本松市

## 資料 1 1 低公害車の導入の促進

県では、ふくしまエコオフィス実践計画に基づき、率先して低公害車の導入を進めています。  
また、福島県環境創造資金融資において低公害車を融資対象とし、中小企業者等による低公害車導入を支援しています。

### 福島県における低公害車登録台数（平成20年度～平成23年度）

(単位:台、%( )内は全国値)

	天然ガス自動車	電気自動車	ハイブリッド自動車	メタノール自動車	低燃費かつ低排出ガス認定車	合計	普及率
平成20年度末	19 (22,356)	5 (274)	9,223 (535,964)	0 (16)	302,358 (17,649,597)	311,605 (18,209,207)	34.4 (38.4)
平成21年度末	24 (23,131)	5 (173)	16,545 (983,402)	0 (12)	340,523 (19,522,602)	357,097 (20,529,320)	40 (43.8)
平成22年度末	24 (22,490)	66 (4,675)	23,625 (1,417,996)	0 (11)	373,100 (22,517,630)	396,815 (21,072,458)	43.6 (47.0)
平成23年度末	26 (21,573)	263 (13,327)	34,451 (2,028,653)	0 (11)	401,818 (22,332,998)	436,712 (24,396,562)	49.3 (52.6)

※ 特種（殊）車、被けん引車、二輪車、軽自動車は含まない。 国土交通省 東北運輸局調べ

### 福島県における低公害車登録台数（平成24年度～）

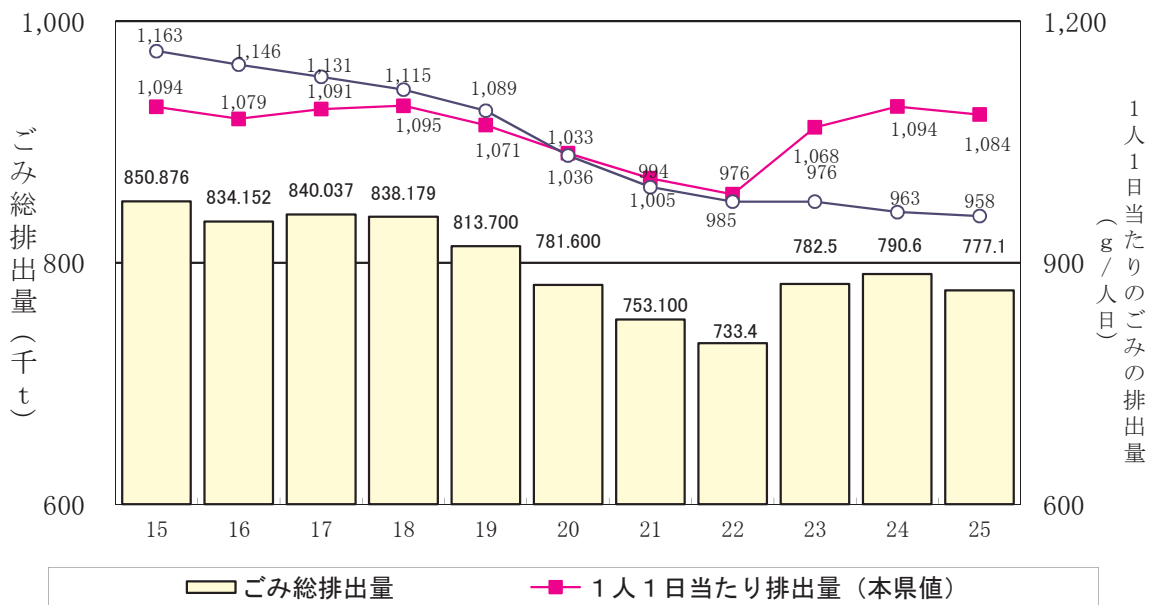
(単位:台、%( )内は全国値)

	電気自動車	FCV (燃料電池車)	CNG (H2/NO X10%低減)	PHV (プラグインハイブリッドカー)	クリーン ディーゼル 乗用	ガソリン車・低燃費かつ低排出ガス認定車(17年基準)	ディーゼル車・平成21年排ガス規制適合Nox・PM10%以上低減	ディーゼル車・平成21年排ガス規制適合	低公害車合計	低公害車普及率
平成24年度末	562 (25,302)	0 (45)	0 (6,227)	310 (17,289)	1,487 (76,238)	82,877 (4,928,112)	5,092 (182,499)	389 (16,632)	90,717 (5,252,344)	9.5% (10.7%)
平成25年度末	1,057 (39,169)	0 (47)	1 (6,540)	602 (30,176)	2,949 (160,390)	195,862 (11,447,453)	11,285 (373,727)	791 (31,477)	212,547 (12,088,979)	22.9% (25.7%)

※大型特殊車、被けん引車、軽自動車は含まない。 国土交通省 東北運輸局調べ

※平成24年度から、統計の集計区分が変更されている。

## 資料 1 2 ごみ総排出量及び県民一人一日当たりのごみ総排出量の推移



県内のごみ焼却施設は、平成25年度末現在23施設で3,006t/日の処理能力を有しています。

その他、粗大ごみ処理施設が14施設、粗大ごみ処理施設以外の資源化等施設が27施設あり、これらの施設でごみ破碎等の中間処理がなされています。

また、埋立中の最終処分場は22か所で、平成25年度末における残存容量は1,186千 $m^3$ となっており、焼却灰や不燃ごみなどが埋立処分されています。

福島県のごみの総排出量は、平成22年度までは減少していましたが、東日本大震災の影響で平成23年度、平成24年度と増加が続きました。平成25年度は減少しましたが、震災前の水準には戻っていません。ごみの総排出量の内訳は、生活系ごみが563,548t (72.5%)、事業系ごみが213,503t (27.5%)となっています。ごみの総排出量を1人1日当たりに換算すると、1,084gとなっています。

また、処分量合計は、749,789tで、1日当たり2,054tのごみが焼却や埋立処理されています。



### 資料13 リサイクル法

#### (1) 容器包装リサイクル法分別収集状況

リサイクル関係法としては、一般廃棄物のうち容積比で約6割を占める容器包装廃棄物のリサイクルを推進するため、容器包装リサイクル法が平成12年4月から10品目を対象として本格施行され、市町村では「市町村分別収集計画」に基づき分別収集に取り組んでおり、また、県においては平成25年度に策定した「福島県分別収集促進計画」（第7期）に基づき、市町村を支援しています。

品目	平成24年度				平成25年度			
	市町村数	収集計画量 (t)	収集量 (t)	計画達成率	市町村数	収集計画量 (t)	収集量 (t)	計画達成率
無色ガラスびん	59	4,605	4,318	94%	59	4,577	4,228	92%
茶色ガラスびん	59	7,130	6,303	88%	59	7,077	7,215	102%
その他ガラスびん	59	2,403	2,321	97%	59	2,386	2,127	89%
ペットボトル	59	4,251	5,395	127%	59	4,239	5,307	125%
その他紙製容器包装	59	2,104	1,638	78%	59	2,110	1,853	88%
その他プラスチック	59	9,657	9,127	95%	59	9,615	8,936	93%
スチール缶	59	4,179	3,746	90%	59	4,168	3,643	87%
アルミ缶	59	2,869	2,936	102%	59	2,866	2,932	102%
紙パック	59	323	270	84%	59	325	222	68%
段ボール	59	10,133	11,476	113%	59	10,103	11,267	112%
合計		47,654	47,530	100%		47,466	47,730	101%

#### (2) 自動車リサイクル法に係る登録・許可の状況(平成27年3月31日現在)

業種	自治体	登録又は許可事業者数	平成26年度中の新規申請、廃業等件数				
			新規	変更	更新	廃業	取消
引取業者 (法第42条第1項)	福島県	578	12		79	25	0
	郡山市	103	7		17	0	0
	いわき市	73	4		9	18	0
	計	754	23		105	43	0
フロン類回収業者 (法第53条第1項)	福島県	198	5		23	8	0
	郡山市	48	1		3	0	0
	いわき市	44	1		5	10	0
	計	290	7		31	18	0
解体業者 (法第60条第1項)	福島県	75	3		48	6	0
	郡山市	22	0		19	1	0
	いわき市	21	0		11	7	0
	計	118	3		78	14	0
破砕業者 (法第67条第1項)	福島県	10	0	0	7	1	0
	郡山市	3	0	0	3	0	0
	いわき市	4	0	0	2	0	0
	計	17	0	0	12	1	0

## 資料 1 4 産業廃棄物の処理状況

産業廃棄物処理業者による産業廃棄物の処理量の推移は、表のとおりです。

平成 25 年度における処理量は、中間処理業者にあつては 3,596 千 t、最終処分業者にあつては 651 千 t となっています。

産業廃棄物処理業者による産業廃棄物の処理量 (単位：千 t)

	中間処理業	最終処分業		中間処理業	最終処分業
平成 4 年度	1,315	523	平成 15 年度	1,695	294
平成 5 年度	1,452	542	平成 16 年度	1,611	250
平成 6 年度	1,454	489	平成 17 年度	1,704	268
平成 7 年度	1,442	427	平成 18 年度	1,680	223
平成 8 年度	1,450	422	平成 19 年度	1,634	339
平成 9 年度	1,470	387	平成 20 年度	2,173	562
平成 10 年度	1,113	203	平成 21 年度	2,412	478
平成 11 年度	1,674	165	平成 22 年度	2,044	543
平成 12 年度	1,542	186	平成 23 年度	3,074	503
平成 13 年度	1,760	274	平成 24 年度	3,331	909
平成 14 年度	1,717	301	平成 25 年度	3,596	651

注 1 平成 8～19 年度は、郡山市許可業者の処分量を除く。

注 2 平成 10～19 年度は、いわき市許可業者の処分量を除く。

注 3 平成 20 年度以降は、郡山市許可業者、いわき市許可業者の処分量を含む。

## 資料 15 産業廃棄物処理施設

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第15条第1項に規定する産業廃棄物処理施設には、産業廃棄物の減量化・無害化を行う中間処理施設と、埋立を行う最終処分場があります。

### (1) 中間処理施設数等（焼却施設を除く：平成27年3月31日現在）

施設の種類	設置主体	事業者	処理業者	公共	計
汚泥の脱水施設	施設数	29	11	3	43
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	2,512	653	124	3,288
汚泥の乾燥施設（機械）	施設数	2	0	0	2
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	58	0	0	58
汚泥の乾燥施設（天日）	施設数	0	0	0	0
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	0	0	0	0
廃油の油水分離施設	施設数	0	4	0	4
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	0	48	0	48
廃酸・廃アルカリの中和施設	施設数	2	3	0	5
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	260	267	0	527
廃プラスチック類の破砕施設	施設数	4	33	0	37
	処理能力 (t/日)	48	2,274	0	2,323
木くず又はがれき類の破砕施設	施設数	9	174	0	183
	処理能力 (t/日)	3,130	64,341	0	67,471
コンクリート固型化施設	施設数	1	0	0	1
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	16.0	0.0	0.0	16
水銀を含む汚泥のばい焼施設	施設数	0	0	0	0
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	0.0	0.0	0.0	0
シアン化合物の分解施設	施設数	3	4	0	7
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	39.0	508.0	0.0	547
廃石綿等又は石綿含有廃棄物の溶融施設	施設数	0	0	0	0
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	0.0	0.0	0.0	0
PCB廃棄物の分解施設	施設数	0	0	0	0
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	0.0	0.0	0.0	0
PCB廃棄物の洗浄施設又は分解施設	施設数	0	0	0	0
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	0.0	0.0	0.0	0
施設数の計		50	229	3	282

注1 法第15条第1項の許可対象となる施設で、施行令（平成12年政令第493号）附則第2条第2項の規定により、許可を受けたとみなされる施設を含む。

注2 施設数：平成27年3月31日の累積（廃止届出を提出していないもの）の件数。

(2) 中間処理施設数等 (焼却施設：平成27年3月31日現在)

施設の種類		設置主体	事業者	処理業者	公共	計
汚泥の焼却施設	施設数		8	13	2	23
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)		7,619.5	753.9	240	8,613.3
廃油の焼却施設	施設数		9	17	0	26
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)		360.9	699.5	0	1,060.3
廃プラスチック類の焼却施設	施設数		6	21	0	27
	処理能力 (t/日)		565.9	4,110.0	0	4,675.9
PCB廃棄物の焼却施設	施設数		0	0	0	0
	処理能力 (t/日)		0.0	0.0	0.0	0.0
焼却施設 (汚泥、廃油、廃プラ、PCBを除く)	施設数		14	23	0	37
	処理能力 (t/日)		1,301.7	2,422.7	0	3,724.4
焼却施設数の計			23	51	2	76

注1 法第15条第1項の許可対象となる施設であり、同一施設であって2種類以上に該当する場合は、それぞれの施設数を1として計上している。

注2 施設数：平成26年度末の累積（廃止届出を提出していないもの）の件数。

注3 処理能力：処理能力がkg/時間とされている施設については、tとm<sup>3</sup>の換算比を1として、m<sup>3</sup>/日に換算して計上している。

(3) 最終処分場数等 (平成27年3月31日現在)

施設の種類		設置主体	事業者	処理業者	公共	計
遮断型埋立処分場 (A)	施設数		2	0	0	2
	埋立容量 (m <sup>3</sup> )		2,026	0	0	2,026
安定型埋立処分場 (B)	施設数		9	19	0	28
	埋立容量 (m <sup>3</sup> )		513,148	6,970,832	0	7,483,980
管理型埋立処分場 (C)	施設数		15	20	4	39
	埋立容量 (m <sup>3</sup> )		11,430,445	10,243,545	9,858,839	31,532,829
内海面埋立処分場	施設数		0	0	0	0
	埋立容量 (m <sup>3</sup> )		0	0	0	0
計	施設数		26	39	4	69
(A) + (B) + (C)	埋立容量 (m <sup>3</sup> )		11,945,619	17,214,377	9,858,839	39,018,835

注1 施設数：平成26年度末の累積（廃止届出を提出していないもの）の件数。

注2 埋立容量：処理施設（廃止届出を提出していないもの）の許可設置時の数値。一般廃棄物と産業廃棄物を処分できる施設においては産業廃棄物のみの容量。

## 資料 16 産業廃棄物処理業者及び特別管理産業廃棄物処理業者

平成 15 年度以降の許可処理業者数の推移は、表のとおりです。

これを平成 26 年 3 月末日現在で見ると、産業廃棄物処理業にあつては全許可業者 4,395 件のうち、収集運搬が 4,148 件（94%）を占め、特別管理産業廃棄物処理業にあつては全許可業者数 634 件のうち、収集運搬が 612 件（97%）を占めています。

産業廃棄物処理業許可件数の推移

区分 年度	収集・運搬業	中間処理業	最終処分業	中間処理及び 最終処分業	計
平成16年3月末日現在	2,225 (306)	124 (13)	10 (0)	8 (3)	2,367 (322)
平成17年3月末日現在	2,291 (337)	120 (11)	10 (0)	8 (3)	2,429 (351)
平成18年3月末日現在	2,342 (335)	114 (10)	10 (0)	8 (3)	2,474 (348)
平成19年3月末日現在	2,294 (344)	119 (9)	9 (0)	8 (3)	2,430 (356)
平成20年3月末日現在	2,343 (360)	119 (9)	10 (0)	8 (3)	2,480 (372)
平成21年3月末日現在	4,902 (819)	196 (21)	14 (0)	11 (2)	5,123 (842)
平成22年3月末日現在	4,980 (851)	198 (23)	13 (0)	10 (1)	5,201 (875)
平成23年3月末日現在	4,918 (704)	200 (25)	13 (0)	10 (1)	5,141 (730)
平成24年3月末日現在	3,839 (590)	219 (21)	15 (0)	10 (1)	4,083 (612)
平成25年3月末日現在	4,148 (612)	222 (21)	15 (0)	10 (1)	4,395 (634)
平成26年3月末日現在	4,061 (516)	223 (20)	14 (0)	10 (1)	4,308 (537)

注1 ( ) は特別管理産業廃棄物処理業者の内数。

注2 平成 21 年 3 月末日現在からは、郡山市及びいわき市の許可件数を含む。

### 資料 17 産業廃棄物処理業者・処理施設設置者に対する行政処分（許可取消し）件数

許可の種類	産業廃棄物 収集運搬業	特別管理 産業廃棄物 収集運搬業	産業廃棄物 処分業	特別管理 産業廃棄物 処分業	産業廃棄物 処理施設	合 計
平成19年度	7	0	0	0	0	7
平成20年度	4	0	0	0	2	6
平成21年度	6	3	3	1	3	16
平成22年度	7	1	0	0	0	8
平成23年度	6	0	1	0	1	8
平成24年度	2	0	0	0	0	2
平成25年度	2	0	0	0	2	4
平成26年度	0	0	0	0	0	0
合計	34	4	4	1	8	51

注1 平成21年度からは郡山市及びいわき市を含む。

### 資料 18 地域ぐるみ監視体制づくり支援事業実施状況（平成26年度）

番号	事業主体 (市町村)	補助対象事業の概要
1	南林町内会 (福島市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発活動（看板設置、啓発チラシ）</li> <li>監視パトロール活動（月に2, 3回程度）</li> <li>地域環境整備活動（不法投棄物の撤去作業及び未然防止対策等）</li> </ul>
2	弥五島地区不法投棄監視委員会 (下郷町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発活動（看板設置、スローガン入り手袋等の作製）</li> <li>監視パトロール活動（月に2回程度、啓発併行）</li> <li>地域環境整備活動（不法投棄物の撤去作業及び未然防止対策等）</li> </ul>
3	桃曾根地区不法投棄監視委員会 (下郷町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発活動（看板設置、スローガン入り手袋、セーフティキャップの作製）</li> <li>監視パトロール活動（月に2回程度）</li> <li>地域環境整備活動（不法投棄物の撤去作業及び未然防止対策等）</li> </ul>

資料 19 都道府県別不法投棄件数・投棄量

都道府県名	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数	投棄量(t)	件数	投棄量(t)	件数	投棄量(t)	件数	投棄量(t)	件数	投棄量(t)	件数	投棄量(t)	件数	投棄量(t)
北海道	20	7,739	10	1,850	6	263	6	1,030	5	5,935	4	2,566	7	2,603
青森県	24	1,971	7	829	5	2,521	3	102	1	86	13	1,383	10	540
岩手県	11	2,116	15	5,285	11	3,229	3	4,333	9	291	4	440	2	76
宮城県	2	58	5	454	6	2,712	0	0	0	0	0	0	1	21
秋田県	0	0	1	45	1	110	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	2	27,706	0	0	3	176	0	0	1	55	0	0	0	0
福島県	3	123	4	44,018	9	3,957	2	812	3	1,398	0	0	2	173
茨城県	39	15,260	59	35,873	36	5,848	28	3,486	34	8,310	41	3,713	28	4,684
栃木県	21	7,967	13	4,678	7	653	12	5,289	4	8,098	7	3,926	12	610
群馬県	4	201	5	178	5	550	8	565	8	449	5	3,365	6	707
埼玉県	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0
千葉県	40	13,853	16	2,287	39	3,220	35	5,830	34	8,380	16	4,052	13	2,281
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22	0	0
新潟県	8	825	7	854	14	726	4	676	3	665	5	229	2	192
富山県	1	11	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	2	64	5	773	4	88	3	89	5	113	2	230	0	0
福井県	4	473	7	361	8	357	3	126	2	917	2	531	2	73
山梨県	0	0	2	315	5	234	5	163	2	44	2	834	2	160
長野県	0	0	0	0	1	9,220	0	0	1	119	0	0	0	0
岐阜県	1	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	13	796	18	5,649	8	540	5	399	4	84	2	4,058	0	0
愛知県	5	476	5	998	5	540	1	150	0	0	0	0	1	30
三重県	14	507	8	68,005	5	393	4	311	3	390	5	205	3	601
滋賀県	10	1,860	4	250	2	125	2	26,000	2	4,300	2	24	7	2,633
京都府	2	3,055	5	2,495	7	2,248	2	827	0	0	1	60	4	1,209
大阪府	0	0	0	0	0	0	2	190	0	0	0	0	0	0
兵庫県	11	5,995	3	3,591	7	2,716	5	1,358	6	322	5	747	5	454
奈良県	7	1,270	15	3,765	10	10,781	12	600	2	160	8	527	3	2,630
和歌山県	1	88	5	2,859	0	0	1	573	1	1,065	1	1,065	4	1,616
鳥取県	7	1,225	0	0	10	355	0	0	1	182	3	1,241	1	15
島根県	2	122	2	67	2	372	1	20	0	0	2	44	1	15
岡山県	1	20	2	55	3	60	3	103	0	0	3	1,142	1	61
広島県	6	506	5	725	8	1,350	8	233	9	1,957	4	440	2	36
山口県	1	18	2	161	0	0	1	1,000	0	0	0	0	1	82
徳島県	4	80	2	20	0	0	1	59	0	0	1	13	0	0
香川県	0	0	4	5,241	2	602	1	47	0	0	0	0	1	60
愛媛県	10	434	7	342	7	233	1	22	2	237	1	19	0	0
高知県	0	0	1	2,500	0	0	2	150	2	325	3	438	1	108
福岡県	5	103	3	2,182	1	62	1	18	0	0	0	0	3	3,848
佐賀県	1	70	2	704	4	235	9	3,903	5	1,228	5	563	4	227
長崎県	43	1,731	14	515	4	279	10	376	11	409	9	257	7	1,443
熊本県	9	530	0	0	0	0	1	30	2	108	0	0	3	61
大分県	7	807	0	0	0	0	1	30	1	15	0	0	1	34
宮崎県	27	3,072	23	2,329	10	1,226	8	135	14	969	16	10,463	11	1,099
鹿児島県	14	549	17	2,078	15	551	15	1,438	12	1,565	10	754	7	406
沖縄県	0	0	3	358	9	743	6	1,451	3	5,136	4	75	1	27
合計	382	101,718	308	202,730	279	57,274	216	61,944	192	53,311	187	43,875	159	28,840

環境省調べ

## 資料 20 平成26年度認定 うつくしま、エコ・リサイクル製品一覧

更新（14件）

No.	製品名	品目	循環資源	申請事業所		
1	いずみ2号	肥料	下水等汚泥、食品残さ、家畜ふん尿等	株式会社平和物産		
2	ほほえみ小鉢	植木鉢	古紙	山北調査設計株式会社		
3	スーパーテラFR	コンクリート平板	銅スラグ 再生骨材	東開クレテック株式会社		
4	エコスラグMUドレーン	道路用側溝	溶融スラグ	前田製管株式会社		
5	エコスラグMKドレーン	可変勾配型道路用側溝				
6	エコスラグMVドレーン	防音型可変勾配型道路用側溝				
7	エコスラグMLウォール	道路用擁壁				
8	エコスラグエプロン付き歩車道境界ブロック	エプロン付き歩車道境界ブロック				
9	エコスラグベンチフリューム	ベンチフリューム				
10	エコスラグ歩車道境界ブ	歩車道境界ブロック				
11	エコスラグ暗渠型側溝	暗渠型側溝				
12	エコスラグ落ちふた式U型側溝（本体）	道路用側溝			溶融スラグ	株式会社吉田セメント工業
13	エコスラグ落ちふた式U型側溝（ふた）	道路用側溝				
14	エコスラグ歩車道境界ブ	歩車道境界ブロック				



## 資料 2 1 自然公園一覧（平成 27 年 3 月 31 日現在）



公 園 別	面 積 (ha)	特別保護地区	特別地域	普通地域
国立公園	90,107.8	6,083.4	73,406.1	10,618.3
①磐梯朝日	65,538.8	3,280.4	53,683.1	8,575.3
②日光	7,329.0	0.0	5,286.0	2,043.0
③尾瀬	17,240.0	2,803.0	14,437.0	0.0
④国定公園（越後三山只見）	33,665.0	10,623.0	23,042.0	0
県立自然公園	55,323.0 (2,892.2)	—	12,603.4	42,719.6 (2,892.2)
⑤霊山	2,271.0	—	661.0	1,610.0
⑥霞ヶ城	170.4	—	23.9	146.5
⑦南湖	777.0	—	112.3	664.7
⑧奥久慈	4,831.1	—	776.1	4,055.0
⑨磐城海岸	710.2(1,594.4)	—	328.7	381.5(1,594.4)
⑩松川浦	979.0(738.0)	—	842.0	137.0(738.0)
⑪勿来	1,395.6(559.8)	—	314.8	1,080.8(559.8)
⑫只見柳津	15,668.2	—	573.3	15,094.9
⑬大川羽鳥	16,531.0	—	4,543.0	11,988.0
⑭阿武隈高原中部	7,658.5	—	2,765.7	4,892.8
⑮夏井川溪谷	4,331.0	—	1,662.6	2,668.4
合 計	179,095.8 (2,892.2)	16,706.4	109,051.5	53,337.9 (2,892.2)
全 国	5,433,461	344,898	3,503,058	1,930,403

注 1 県立自然公園には、特別保護地区の制度がありません。

注 2 国立・国定公園については、福島県側の面積です。

注 3 面積は陸域の部分であり、( ) 内に海域の部分を示しました。

## 資料 2 2 自然公園の利用状況

公 園 別	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
国 立 公 園	6,847	6,751	6,806	6,365	5,686	6,522	6,272
磐 梯 朝 日	6,455	6,379	6,430	6,001	5,402	6,122	5,960
日 光	263	262	270	253	211	309	216
尾 瀬	129	110	106	111	73	91	96
国 定 公 園 (越後三山只見)	80	65	42	38	4	11	45
県 立 自 然 公 園	9,237	9,238	9,189	8,888	3,081	4,275	4,431
靈 山	174	176	173	159	42	46	64
霞 ケ 城	561	609	653	618	319	642	469
南 湖	511	489	480	473	259	401	437
奥 久 慈	574	522	514	498	316	327	332
磐 城 海 岸	1,363	1,471	1,199	1,373	236	334	407
松 川 浦	1,090	1,045	1,080	1,140	170	100	112
勿 来	502	586	325	293	42	61	77
只 見 柳 津	1,173	1,165	1,589	1,397	894	1,012	1,030
大 川 羽 鳥	1,540	1,592	1,571	1,437	581	933	1,044
阿 武 隈 高 原 中 部	904	799	841	766	131	236	272
夏 井 川 溪 谷	845	784	764	734	91	183	187
計	16,164	16,054	16,037	15,291	8,771	10,808	10,748

単位：千人

## 資料 2 3 県立自然公園指定植物一覧

県 立 自 然 公 園 名	指定種数	指 定 種 名
靈 山 県 立 自 然 公 園	15科23種	イワヒバ、レンゲツツジ、ウスバサイシン、チチッパベンケイ、クモキリソウなど
霞ヶ城県立自然公園	4科5種	ウメバチソウ、ヤマホタルブクロ、キキョウ、レンゲツツジ、ショウジョウバカマ
南湖県立自然公園	7科9種	ミズゴケ、トウゴクミツバツツジ、キキョウ、イワタバコ、ノハナショウブなど
奥久慈県立自然公園	12科17種	マツバラシ、シノブ、サラサドウダン、ダイモンジソウ、シロヤシオなど
磐城海岸県立自然公園	8科17種	ウラジロ、マルバグミ、エゾノコギリソウ、ヤツデ、コハマギク、ハマカキランなど
松川浦県立自然公園	10科13種	フジナデシコ、ハマナス、エゾノレンリソウ、コハマギク、コオニユリ、シュンランなど
勿来県立自然公園	18科31種	カニクサ、キクザキイチリンソウ、ウラジロ、イワタバコ、ダイモンジソウなど
只見柳津県立自然公園	19科49種	オクトリカブト、ムラサキヤシオ、カタクリ、ヒメサユリ、ショウキランなど
大川羽鳥県立自然公園	28科77種	ヒメハナワラビ、オオタカネバラ、アイヅヒメアザミ、アツモリソウ、ナンブソウなど
阿武隈高原中部県立自然公園	20科51種	イワヒバ、ウメバチソウ、アヅマギク、センダイトウヒレン、アカヤシオ、トキソウなど
夏井川溪谷県立自然公園	16科41種	ハコネシダ、ウメガサソウ、ヒロハハナヒリノキ、コアツモリ、シロバナエンレイソウなど

**資料 2 4 自然保護指導員等の配置状況（平成27年3月31日現在）**

職 名	人 員 (人)	配 置 先
自然保護指導員	111	国立、国定公園、県立自然公園及び保全地域
鳥獣保護員	84	各市町村（定員90名、警戒区域等を除き、84名設置）
計	195	

**資料 2 5 自然公園等の許可・届出処理状況（平成26年度）**

公園等	許 可	届 出	公園（保全）事業	合 計
国 立 公 園	307	2	23	332
国 定 公 園	11	0	4	15
県 立 自 然 公 園	80	65	0	145
自然環境保全地域等	9	1	0	10
計	407	68	27	502

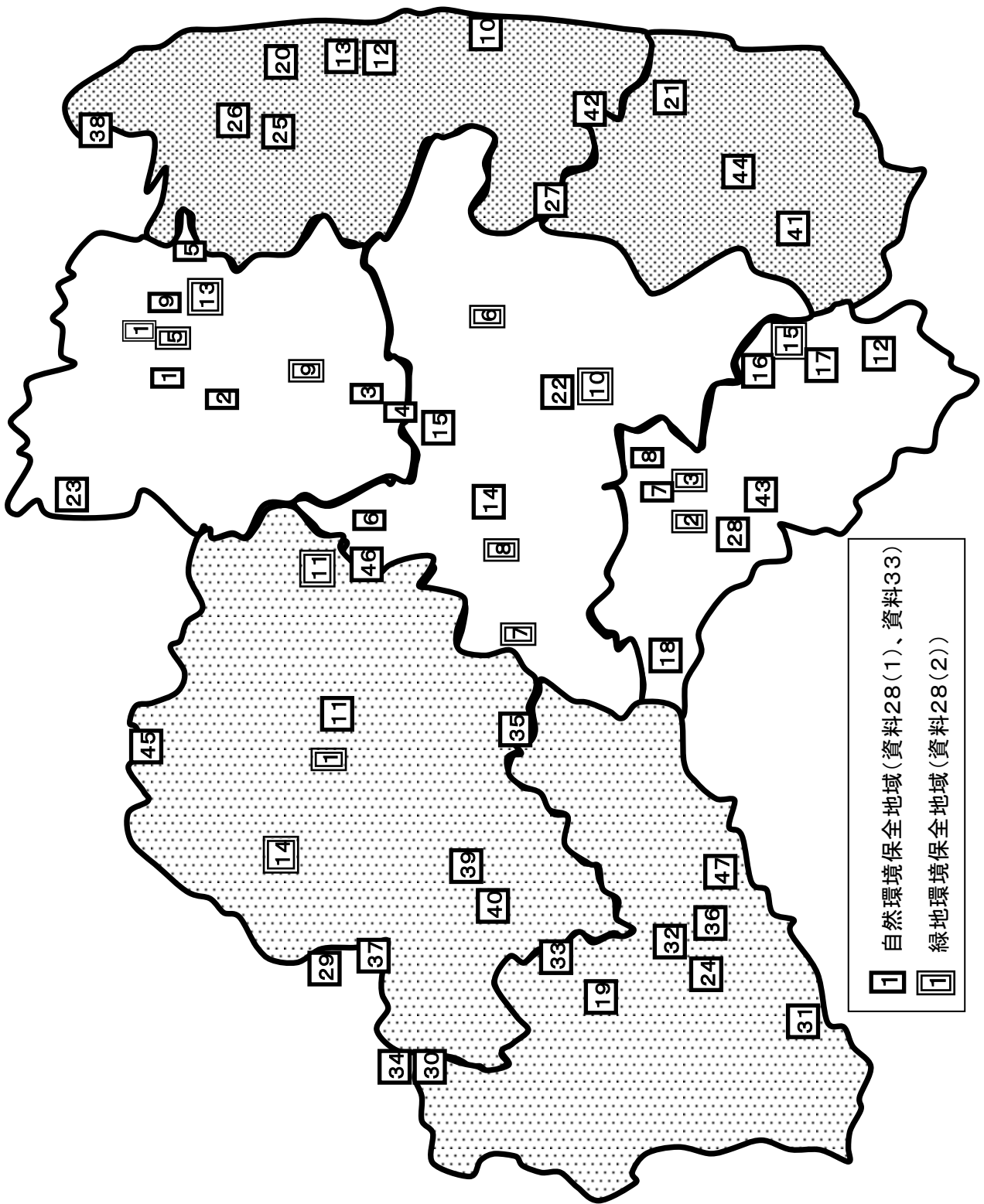
単位：件

**資料 2 6 自然公園等施設整備状況（平成26年度）**

公園名	事業主体	整 備 内 容	事業費	左 の 財 源 内 訳			備 考
				国 費	県 費	市町村費	
磐梯朝日国立公園	県	裏磐梯地区公園施設整備 （手摺撤去設置工）	2,160	1,080	1,080		国庫補助
		鉄山小屋修繕	1,188	594	594		
		雄国沼園地 （公衆便所1棟撤去）	1,812	1,812			
	環境省	浄土平園地・吾妻小富士線設計（木道工）	1,743	1,743			国直轄
		裏磐梯集団施設地区・裏磐梯園地 （木道工）	16,470	16,470			
尾瀬国立公園	県	尾瀬歩道整備 （木道工）	4,100	23,217	23,218		国庫補助
		尾瀬歩道設計 他	2,941	1,470	1,471		
	環境省	赤法華鳩待峠道路 （歩道） （木道工）	60,574	60,574			国直轄
	環境省	尾瀬沼燧ヶ岳線道路 （歩道） （木道工）	14,314	14,314			国直轄

単位：千円

資料27 自然環境保全地域及び緑地環境保全地域位置図



資料 2 8 自然環境保全地域及び緑地環境保全地域一覧（平成26年3月31日現在）

(1) 自然環境保全地域一覧

番号	地 域 名	関係市町村	指定年月日	面積（特別地区面積）(ha)	保 全 対 象
1	信夫文知摺	福島市	S49.3.22	3.60 (1.50)	シラカシ等の巨木、地形、地質
2	黒岩虚空蔵	〃	〃	1.60 (—)	アカマツ等の人工林
3	高松山	本宮市	〃	6.20 (—)	アカマツ等の人工林
4	岩角山	〃	〃	12.50 (—)	ケヤキ等の人工林、岩石の露頭
5	石田ブヨメキ	伊達市	〃	9.50 (0.70)	湿原、湿原植物
6	石 筵	郡山市	〃	51.90 (—)	シダレグリの自生地
7	五本松	西白河郡矢吹町 泉崎村	〃	1.20 (—)	アカマツの並木
8	恩賜林	西白河郡矢吹町	〃	7.80 (—)	アカマツの一斉林
9	茶臼山	伊達市	〃	7.80 (—)	サクラ類の自生地
10	熊川海岸	双葉郡大熊町	〃	1.80 (—)	海蝕地形
11	法正尻湿原	耶麻郡磐梯町	〃	3.60 (3.60)	湿原、湿原植物
12	大悲山	南相馬市	〃	6.10 (—)	ヤマツツジの自生地
13	小高薬師堂	〃	〃	1.10 (—)	スギ等の人工林
14	浄土松	郡山市	S50.2.28	35.00 (11.30)	アカマツ天然林、巨大な奇岩群
15	奥州街道松並木	〃	〃	1.70 (—)	アカマツの並木
16	強 滝	東白川郡鮫川村	〃	8.30 (0.48)	滝、溪谷
17	江 竜 田	〃	〃	4.10 (1.60)	滝、溪谷
18	西 郷 瀬	西白河郡西郷村	〃	57.90 (10.21)	溪谷、柱状節理
19	宮床湿原	南会津郡南会津町	〃	54.10 (8.00)	湿原、湿原植物
20	牛越館山	南相馬市	〃	31.50 (—)	モミ等の天然林
21	高 倉 山	いわき市	〃	99.20 (—)	二畳紀地層の露出、化石
22	宇津峯山	郡山市 須賀川市	〃	355.60 (—)	変成岩類の盆地状構造
23	茂 庭	福島市	S50.6.6	861.58 (110.60)	ブナ等の天然林
24	黒 岩 山	南会津郡南会津町	〃	72.32 (72.32)	ブナ等の天然林
25	新田川溪谷	南相馬市	〃	122.38 (90.64)	溪谷、モミ、ケヤキ等の天然林
26	櫓 原	〃	〃	70.84 (62.34)	モミ、ケヤキ等の天然林
27	平 伏 沼	双葉郡川内村	〃	3.60 (2.14)	モリアオガエル
28	関 山	白 河 市	〃	190.50 (—)	石英安山岩質凝灰岩の急峻な地形
29	安 座	耶麻郡西会津町	〃	280.95 (57.65)	地形、地質、コウヤマキ等の自生地
30	三 条	大沼郡金山町	S51.6.22	24.95 (24.95)	スギの天然林
31	新 道 沢	南会津郡南会津町	〃	76.68 (25.60)	チョウセンゴヨウの自生地
32	黒 岩 湿 原	〃	〃	3.70 (3.70)	湿原、湿原植物
33	矢の原湿原	大沼郡昭和村	〃	54.32 (20.62)	湿原、湿原植物
34	本名御神楽岳	大沼郡金山町	〃	444.82 (444.82)	ブナ、スギ等の天然林、地形
35	大 戸 岳	会津若松市	S52.10.28	115.47 (115.47)	ヒノキアスナロの天然林

番号	地域名	関係市町村	指定年月日	面積(特別地区面積)(ha)	保全対象
36	七ヶ岳	南会津郡南会津町	〃	520.35 (217.19)	ブナ等の天然林、地形
37	木地夜鷹山	耶麻郡西会津町	〃	459.50 (128.75)	ブナ等の天然林、地形
38	鹿狼山	相馬郡新地町	S53.2.28	502.50 (—)	ケヤキ等の天然林、地形、地質
39	明神ヶ岳	大沼郡会津美里町 河沼郡柳津町	S54.3.2	34.12 (34.12)	ブナ等の天然林
40	つむじ倉	河沼郡柳津町	〃	17.25 (17.25)	二段滝、貴重な植物の自生地
41	御斎所山	いわき市	〃	24.81 (24.81)	カシ類等の天然林、御斎所式変成岩
42	木戸川	双葉郡檜葉町	〃	114.73 (114.73)	モミ、ブナ等の天然林
43	金山	白河市	〃	1.40 (0.46)	ビャッコイの自生地
44	好間川溪谷	いわき市	〃	27.75 (8.00)	V字谷、カシ類等の天然林
45	梅峰	喜多方市	S54.8.3	35.70 (35.70)	オオシラビソの天然林
46	深沢	郡山市	S56.7.28	43.81 (43.81)	ヒノキアスナロの天然林
47	萩野	南会津郡南会津町	〃	1.28 (0.36)	風穴、風穴植物群落
計				4867.41 (1,693.42)	

注1 番号は資料27と一致

## (2) 緑地環境保全地域一覧

番号	地域名	関係市町村	指定年月日	区分	面積(ha)	保全対象
1	恵日寺周辺	耶麻郡磐梯町	S49.3.22	第2種	58.90	恵日寺と一体となった自然環境
2	鳥峠山	西白河郡泉崎村	〃	〃	42.40	鳥峠稲荷神社と一体となった自然環境
3	白石山	〃	〃	第1種	2.70	泉崎壁画横穴古墳と一体となった自然環境
4	赤坂	伊達市	S50.2.28	〃	2.40	アカマツ、コナラ等の樹林地
5	花見山	〃	〃	〃	3.30	ヤマツツジの自生地
6	堂山王子	田村市	S50.6.6	〃	0.90	堂山王子神社と一体となった自然環境
7	隠津島神社	郡山市	S52.10.28	〃	12.50	隠津島神社と一体となった自然環境
8	妙見山	〃	〃	〃	5.50	飯豊和気神社と一体となった自然環境
9	稚児舞台・島山	二本松市	S54.8.3	第1種 第2種	10.00	花崗岩の奇岩・怪石、ユキヤナギ
10	古寺山	須賀川市	S55.6.13	第1種	13.44	古寺山白山寺と一体となった自然環境
11	達沢	耶麻郡猪苗代町	S56.7.31	〃	3.64	ミズナラの天然林
12	橋場	東白川郡塙町	〃	〃	6.16	シラカバの天然林
13	御幸山	伊達市	〃	第2種	2.75	五幸山観世音堂と一体となった自然環境
14	堂峰山	喜多方市	S58.6.3	〃	6.94	アカマツ、コナラ等の樹林地
15	天狗橋	東白川郡鮫川村	S59.6.15	第1種	0.87	天狗橋と一体となった自然環境
計					172.40	

注1 番号は資料27と一致

資料 2 9 裏磐梯ビジターセンターの利用者状況

年度 月	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
4	1,270	2,790	2,944	3,323
5	4,627	7,120	7,004	8,345
6	4,007	4,945	5,042	5,198
7	5,552	7,117	6,853	7,585
8	12,584	18,056	18,759	16,583
9	5,748	7,877	6,579	7,572
10	9,822	11,994	8,541	11,140
11	4,667	5,658	5,345	4,920
12	648	775	1,031	1,262
1	1,060	893	1,107	1,415
2	1,212	1,603	1,265	1,893
3	1,331	1,844	2,225	2,316
計	52,528	70,672	66,695	71,550

単位：人

資料30 風致地区一覧表（平成27年3月31日現在）

都市計 区 域 画 名	市町村名	風致地区名称	面 積 (約ha)	内 訳 (約ha)		
				1 種	2 種	3 種
県 北	福 島 市	信夫山風致地区	210.0	164.0	0.0	46.0
		阿武隈川風致地区	673.0	62.0	0.0	611.0
		摺上川風致地区	55.0	49.0	0.0	6.0
		館の山風致地区	16.0	16.0	0.0	0.0
		計	954.0	291.0	0.0	663.0
県 中	郡 山 市	五百淵風致地区	27.0	15.5	0.0	11.5
		開成山風致地区	35.0	0.0	35.0	0.0
		荒池酒蓋風致地区	16.0	0.0	0.0	16.0
		善宝池風致地区	23.5	11.0	9.2	3.3
		計	101.5	26.5	44.2	30.8
会 津	会 津 若 松 市	大塚山風致地区	18.7	18.7	0.0	0.0
		東山風致地区	591.7	43.7	144.0	404.0
		鶴ヶ城風致地区	34.6	34.6	0.0	0.0
		計	645.0	97.0	144.0	404.0
県 南	白 河 市	南湖風致地区	120.1	120.1	0.0	0.0
		中央風致地区	33.2	0.0	33.2	0.0
		小峰城跡風致地区	8.6	8.6	0.0	0.0
		羅漢山風致地区	48.3	33.3	0.0	15.0
		搦目風致地区	46.1	0.0	44.1	2.0
		計	256.3	162.0	77.3	17.0
田村三春小野	田 村 市	片曾根山風致地区	99.1	99.1	0.0	0.0
	三 春 町	城山跡風致地区	12.0	9.0	0.0	3.0
		紫雲寺風致地区	5.0	5.0	0.0	0.0
		北町風致地区	5.4	5.4	0.0	0.0
		天沢寺風致地区	7.6	7.6	0.0	0.0
		新町尼ヶ谷風致地区	27.0	27.0	0.0	0.0
		荒町風致地区	20.0	13.5	0.0	6.5
		馬場風致地区	13.0	13.0	0.0	0.0
		計	90.0	80.5	0.0	9.5
石 川	石 川 町	石尊山風致地区	7.1	0.0	0.0	7.1
		源平山風致地区	5.5	0.0	0.0	5.5
		八幡山風致地区	17.1	0.0	0.0	17.1
		計	29.7	0.0	0.0	29.7
合 計		27 地 区	2,175.6	756.1	265.5	1,154.0

まちづくり推進課調べ



資料 3 1 緑地協定締結状況表（平成26年3月31日現在）

市町村名	協 定 名	面積	45条	54条
福 島 市	ネオシティー森合Ⅱ 緑地協定	0.29ha		○
	都季の杜「御山」分譲緑地協定	0.61ha		○
	メンバーズタウン東桜瀬 [ I I Z A K A ] 分譲地緑地協定	1.19ha		○
郡 山 市	宝沢レイクタウン緑化協定	19.54ha	○	
	ウッディーパーク善宝池緑化協定	0.98ha	○	
	開成緑化協定区域	3.27ha	○	
	酒蓋緑化協定区域	0.57ha	○	
いわき市	いわき市中央台飯野一丁目緑化協定	17.33ha		○
	いわき市中央台飯野二丁目緑化協定	11.37ha		○
	いわき市中央台飯野三丁目第一地区緑化協定	1.73ha		○
	いわき市中央台鹿島一丁目緑化協定	19.81ha		○
	スパタウン草木台緑化協定	47.29ha		○
	いわき市中央台鹿島三丁目A、B地区緑化協定	19.77ha		○
	いわき市中央台鹿島三丁目C、D地区緑化協定	1.84ha		○
	いわきニュータウン業務地区緑化協定	5.91ha	○	
	いわき市中央台鹿島二丁目A、B地区緑化協定	12.33ha		○
	いわきニュータウン鹿島サブセンター地区緑化協定	0.87ha		○
	いわき市中央台鹿島木のまち地区緑化協定	1.40ha		○
	いわき市中央台高久三丁目第一地区緑地協定	3.53ha		○
	いわき市中央台高久三丁目第二地区緑地協定	4.08ha		○
	いわき市中央台高久三丁目第三地区緑地協定	3.33ha		○
	いわき市中央台高久三丁目第四地区緑地協定	5.36ha		○
	平成ニュータウン第一地区緑地協定	2.45ha		○
	いわきタウンズヴィル第一協定区緑地協定	3.45ha		○
	いわきタウンズヴィル第二協定区緑地協定	3.51ha		○
	平成ニュータウン第二地区緑地協定	0.80ha		○
	いわき市中央台飯野三丁目第二地区飯野四丁目緑地協定	6.10ha		○
	いわき市中央台高久二丁目緑地協定	4.90ha		○
	平成ニュータウン第三地区緑地協定	4.12ha		○
	平成ニュータウン第四地区緑地協定	0.35ha		○
	石森二丁目9街区緑地協定	0.15ha		○
	いわき市中央台高久一丁目第一地区緑地協定	7.47ha		○
	いわき市中央台高久一丁目第二地区緑地協定	3.13ha		○
いわき市中央台高久四丁目緑地協定	4.90ha		○	
須賀川市	あおば町緑化協定	20.62ha		○
	牡丹台ニュータウン緑化協定	5.10ha	○	
	森宿南ニュータウン緑化協定	2.39ha		○
	翠ヶ丘ニュータウン緑化協定	6.20ha		○
	柏城ニュータウン緑化協定	6.90ha		○
	宮ノ杜ニュータウン緑化協定	9.63ha		○
白 河 市	新白河ニュータウン緑化協定	17.23ha	○	
伊 達 市	諏訪野緑化景観協定	11.63ha		○
矢 吹 町	一本木地区緑地協定	0.64ha		○
猪苗代町	ロイヤルシティ猪苗代ヒルズ緑地協定	6.02ha		○

まちづくり推進課調べ

資料3 2 都市公園整備状況表（平成26年3月31日現在）

都市計画区域名	市町村名	都市計画区域内人口1人当り公園面積(m <sup>2</sup> /人)	住 区 基 幹 公 園						都 市 基 幹 公 園				大規模公園	
			街区公園		近隣公園		地区公園		総合公園		運動公園		広域公園	
			箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
合 計		12.70	740	183.96	87	163.07	21	96.27	27	523.09	15	248.31	5	299.21
県 北	福 島 市	11.25	116	24.75	18	21.27	6	23.84	2	51.71	1	13.06	1	98.22
	桑 折 町	0.09	1	0.12										
	伊 達 市	2.14	4	0.95					1	10.80				
	国 見 町	0.00												
県 中	郡 山 市	10.93	188	38.79	14	24.91	2	9.50	6	104.70				
	須賀川市	20.15	27	6.97	7	10.45	1	4.50	1	28.34	1	18.10	1	37.44
	鏡 石 町	16.11	5	1.23					1	18.10				
いわき	いわき市	14.74	200	60.00	17	33.34	3	15.20	1	60.55	1	29.00	1	71.30
会 津	会津若松市	19.60	43	9.93	2	2.83	1	2.80	1	37.30	1	28.80	1	42.60
	会津美里町	21.43	3	0.68	1	1.41								
県 南	白 河 市	20.51	7	2.28	1	3.81			1	9.50	5	62.71		
	西 郷 村	2.47	5	1.70	2	2.99								
	泉 崎 村	24.33							1	14.60				
	中 島 村	26.90							1	13.45				
	矢 吹 町	11.25	5	0.85					1	19.40				
	棚 倉 町	5.59	12	1.75	1	4.87								
	塙 町	0.30	1	0.12										
原 町	南相馬市	11.95	25	5.79	7	16.16			1	14.18	1	8.72	1	35.00
小 高	喜多方市	7.65	19	5.54	1	1.11	1	4.00			1	11.60		
相 馬	相 馬 市	6.85	11	3.54	1	1.98	1	4.91	1	14.70				
	新 地 町	19.75							1	15.80				
二本松岩代	二本松市	15.65	24	4.97	8	20.18			1	35.64				
川 俣	川 俣 町	5.69	1	0.04					1	5.65				
本 宮	本 宮 市	22.56	9	4.54	2	4.54	2	10.36			2	43.17		
	大 玉 村	0.00												
南会津	南会津町	40.49												
塩 川	湯 川 村	0.00												
西会津	西会津町	19.14							1	9.57				
猪苗代	猪苗代町	11.88	2	0.36					1	17.30				
	磐 梯 町	0.00												
会津坂下	会津坂下町	14.91	14	3.23			2	11.56						
石 川	石 川 町	8.95							1	13.42				
	浅 川 町	0.00												
	玉 川 村	29.30											0	14.65
	平 田 村	0.00												
田 三 小	三 春 町	5.82	7	1.52	1	4.92								
	小 野 町	18.60									1	16.74		
	田 村 市	23.75	5	1.56	3	5.90	1	5.60	1	19.73	1	16.40		
広 野 葉	広 野 町	0.00												
	檜 葉 町	0.00												
富 岡	富 岡 町	6.39	3	1.18	1	2.40								
	大 熊 町	0.00												
双 葉	双 葉 町	13.47	2	0.79					1	8.64				
浪 江	浪 江 町	2.40	1	0.80			1	4.00						

都市 計画 区域名	市町村名	特 殊 公 園						緩 衝 緑 地		都 市 緑 地		緑 道		都 市 公 園 合 計	
		風 致 公 園		歴 史 公 園		墓 園		箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
		箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)								
合 計		31	400.10	3	7.60	10	128.08	0	0.00	170	164.16	21	11.34	1,130	2,225.19
県 北	福 島 市	8	33.16	1	5.23	2	5.16			37	37.22	3	1.46	195	315.08
	桑 折 町													1	0.12
	伊 達 市													5	11.75
	国 見 町													0	0.00
県 中	郡 山 市	11	44.35			1	71.00			92	41.71	5	2.76	319	337.72
	須 賀 川 市					1	11.08							39	116.88
	鏡 石 町													6	19.33
いわき	いわき市	5	171.60			2	17.50			7	4.60	9	5.78	246	468.87
会 津	会津若松市	2	82.49	1	0.13	1	8.44			19	23.10	1	0.74	73	239.16
	会津美里町									4	25.77			8	27.86
県 南	白 河 市	1	44.40			1	6.50							16	129.20
	西 郷 村													7	4.69
	泉 崎 村													1	14.60
	中 島 村													1	13.45
	矢 吹 町													6	20.25
	棚 倉 町									3	0.04	2	0.05	18	6.71
	塙 町													1	0.12
原 町	南相馬市			1	2.23	1	1.57							37	83.65
喜多方	喜多方市					1	6.83			1	2.30			24	31.38
相 馬	相 馬 市									2	0.20			16	25.33
	新 地 町													1	15.80
二本松 岩 代	二本松市									1	0.24			34	61.03
川 俣	川 俣 町													2	5.69
本 宮	本 宮 市											1	0.55	16	63.16
	大 玉 村														0.00
南会津	南会津町	1	9.14							1	19.20			2	28.34
塩 川	湯 川 村													0	0.00
西会津	西会津町													1	9.57
猪苗代	猪苗代町									1	0.16			4	17.82
	磐 梯 町													0	0.00
会津坂下	会津坂下町									1	9.06			17	23.85
石 川	石 川 町													1	13.42
	浅 川 町													0	0.00
	玉 川 村													0	14.65
	平 田 村													0	0.00
田村 三春 小野	三 春 町	1	1.16							1	0.55			10	8.15
	小 野 町													1	16.74
	田 村 市	1	7.80											12	56.99
広野檜葉	広 野 町													0	0.00
	檜 葉 町													0	0.00
富 岡	富 岡 町	1	6.00											5	9.58
	大 熊 町													0	0.00
双 葉	双 葉 町													3	9.43
浪 江	浪 江 町													2	4.80

※東日本大震災の影響により一部地域は平成21年度末の数値を使用。

資料33 野生動植物保護地区一覧（平成27年3月31日 現在）

番号	地区名	面積 (ha)	保護対象	番号	地区名	面積 (ha)	保護対象
5	石田ブヨメキ	0.70	ミズバショウなどの湿原植物	36	七ヶ岳	217.19	キャラボクなどの高山・亜高山植物
11	法正尻湿原	3.60	サギソウなどの湿原植物とモリアオガエル	37	木地夜鷹山	52.25	希産植物のトガクシソウ
19	宮床湿原	8.00	ミズバショウなどの湿原植物とハッチョウトンボ	43	金山	0.46	希産植物のビャッコイ
29	安座	57.65	ヒメサユリなどの貴重な植物とギフチョウ	47	萩野	0.36	オオタカネイバラ等の亜高山植物
32	黒岩湿原	3.70	ワタスゲなどの湿原植物	計	9地区	343.91	

注1 番号は資料27と一致

### 資料34 鳥獣の保護

#### (1) 鳥獣保護区等の指定（平成27年3月31日現在）

平成26年度は、鳥獣保護区15か所（期間更新13、区域変更1、指定解除1）、特定猟具使用禁止区域41か所（新規指定1、再指定40）の指定等を行いました。

鳥獣保護区		特別保護地区		特定猟具使用禁止区域		指定猟法禁止区域	
箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
139	146,012ha	19	12,797ha	215	55,069ha	4	308ha

（注）特別保護地区は鳥獣保護区に含まれます。

#### (2) 傷病鳥獣の保護

傷病鳥獣の治療とその野生復帰を行うなど、県内唯一の野生動物救護専門施設である福島県鳥獣保護センターが安達郡大玉村の「県民の森」内に設置されています。昭和57年に開設されて以来、約30%の高い野生復帰率を維持していますが、開設から30年が経過して、自然環境や野生動物に対する県民意識が変化していることや、一部の野生動物の生息域が拡大し、農林水産業や生活環境への被害の増加がみられること等もあり、今後は人との共生や生物多様性の保全に向けた取組を充実します。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
救護数	321	336	321	274	262	270	238	240	166	169
野生復帰率	35.5	30.1	31.5	33.6	27.1	30.7	32.3	35.0	31.3	29.6

（単位：頭・羽、％）

#### (3) ERドクターによる救護件数

野生動物の救急救命体制の充実を図るため、民間の獣医師が野生動物の初期治療を行う福島県野生動物救命救急ドクター（ERドクター）制度が平成15年9月に発足しました。平成27年3月末現在、58施設、63名がERドクターとして登録しており、傷病鳥獣の救命率の向上に貢献しています。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
救護件数	95	95	75	47	33	31	19

（単位：頭・羽）

**資料35 狩猟者登録件数の推移**

居住地別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
県内居住者	4,665	4,593	4,440	4,290	4,086	2,906	3,116	3,191	3,247
県外居住者	889	856	811	774	693	422	429	390	369
合計	5,554	5,449	5,251	5,064	4,779	3,328	3,545	3,581	3,616

単位:件

**資料36 主な鳥獣の有害・個体数調整捕獲数**

	スズメ類	カラス類	カモ類	ヒヨドリ	ムクドリ	カワウ	イノシシ (イノブ タを含む)	ツキノワグマ	ニホンザル	ハクビシン	合計
平成22年度	1,151	3,586	1,038	76	287	10	931	302	100	294	7,775
平成23年度	926	2,291	720	231	311	268	1,027	55	564	160	6,553
平成24年度	539	2,939	971	230	298	234	2,876	300	620	433	9,440
平成25年度	443	2,055	815	244	3	391	6,259	160	443	203	11,016

資料37 大気監視測定局一覧（平成26年度）

(1) 一般環境大気測定局

市町村名	No.	測定局	設置場所	用途地域	二氧化硫	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	窒素酸化物	光化学オキシダント	一酸化炭素	炭化水素	風向・風速	温度・湿度	日射量	紫外線	放射線	テレメータ化	設置機関
福島市	1	南町	市立福島第一中学校	住	○	○		○	○			○	○				S55	県
	2	森合	市立森合小学校	住	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	S55	県
	3	古川	市立福島第三中学校	住		○		○	○			○	○				S55	県
二本松市	4	二本松	福島県二本松合同庁舎	住		○		○				○	○				H13	県
郡山市	5	芳賀	芳賀地域公民館	住	○	○	○	○	○			○	○				S53	郡山市
	6	朝日	郡山市環境保全センター3階	住	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	S53	郡山市
	7	堤下	市立橘小学校	住					○			○	○				S53	郡山市
	8	日和田	市立日和田小学校	住					○			○	○				S53	郡山市
	9	安積	桧ノ下公園	住					○			○	○				S55	郡山市
須賀川市	10	須賀川	須賀川市役所脇	住	○	○		○	○		○	○	○	○	○		S54	県
矢吹町	11	矢吹	矢吹町役場	住		○			○			○	○				H13	県
白河市	12	白河	県立白河旭高等学校	住	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		S54	県
棚倉町	13	棚倉	棚倉森林管理署	未		○			○		○	○	○				H22	県
会津若松市	14	会津若松	県立葵高等学校	住	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	H3	県
喜多方市	15	喜多方	県立喜多方高等学校	住		○			○			○	○				H23	県
南会津町	16	南会津	県職員天道沢公舎	住		○	○		○		○	○	○	○	○		H23	県
新地町	17	新地	町立尚英中学校脇	未	○	○		○	○			○	○				H4	県
相馬市	18	相馬	高池前公園	住	○	○		○	○			○	○				H4	県
南相馬市	19	原町	仲町児童センター	住	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	H5	県
	20	小高	旧東町児童公園	住		○			○			○	○				H5	県
双葉町	21	双葉	町立双葉南小学校	住		○			○			○	○				S55	県
富岡町	22	富岡	町立富岡第二中学校	住		○			○			○	○				S55	県
檜葉町	23	檜葉	町立檜葉南小学校	未	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		S55	県
広野町	24	広野	町立広野小学校	未	○	○		○	○			○	○				S55	県
いわき市	25	上中田	勿来授産所	準工	○	○		○	○			○	○				S47	いわき市
	26	花ノ井	錦町字鬼越下 私有地	住	○							○					S47	いわき市
	27	下川	下川公民館	準工	○							○					S47	いわき市
	28	金山	金山公園	未	○	○		○	○			○	○				S48	いわき市
	29	滝尻	泉町滝尻字高見坪 私有地	住	○	○						○					S47	いわき市
	30	大原	いわき市環境監視センター	住	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	S47	いわき市
	31	中原	小名浜字中原 私有地	工	○							○					S49	いわき市
	32	揚土	市立平第一小学校	住	○	○	○	○	○			○	○				S51	いわき市
	33	中央台	走熊公園	住	○	○		○	○			○	○				H24	いわき市
	34	常磐	市立湯本第一小学校	住	○	○		○	○			○	○				H24	いわき市
	35	四倉	市立大浦小学校	未	○	○		○	○			○	○				H24	いわき市

(注) 「テレメータ化」の欄の数字はテレメータ化された年です。

(2) 自動車排出ガス測定局

市町村名	No.	測定局	設置場所	用途地域	二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	窒素酸化物	光化学オキシダント	一酸化炭素	二酸化炭素	風向・風速	温度・湿度	日射量	紫外線	放射収支	テレメータ化	設置機関
福島市	1	杉妻町	福島県庁東分庁舎	住	○	○	○	○	○	○	○	○	○				H23	福島市
郡山市	2	台新	台新公園	住	○	○	○	○	○	○	○	○	○				H8	郡山市
いわき市	3	平	平市民運動場	商	○	○	○	○	○	○	○	○	○				H3	いわき市

(注) 1 「テレメータ化」の欄の数字はテレメータ化された年です。

2 平成26年度は原子力災害対策特別措置法に基づく帰還困難区域及び居住制限区域内の2局(双葉及び富岡局)は測定を休止しています。

(3) 環境大気測定車

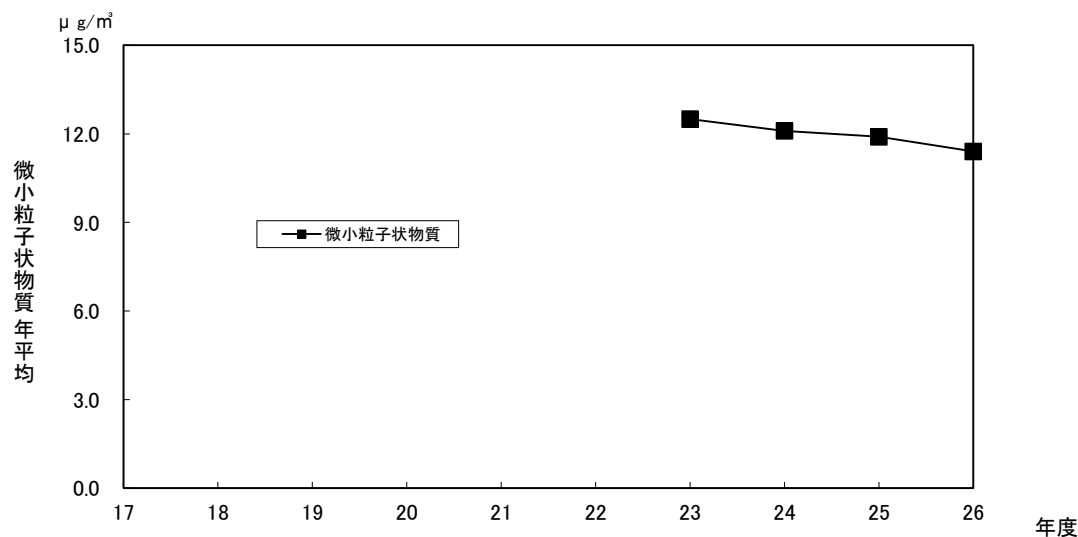
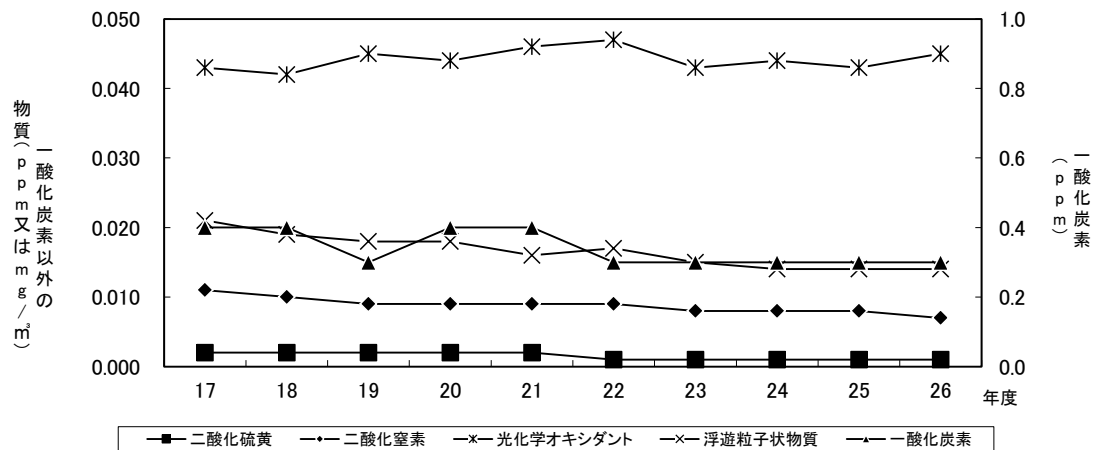
所	管名	称	二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	窒素酸化物	光化学オキシダント	一酸化炭素	二酸化炭素	ベンゼン・トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	水銀	風向・風速	温度・湿度	携帯電話による監視
環境センター	環境大気測定車		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



資料38 主な大気汚染物質年平均濃度の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
二酸化硫黄 (ppm)	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
二酸化窒素 (ppm)	0.011	0.010	0.009	0.009	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008	0.007
光化学オキシダント (ppm)	0.043	0.042	0.045	0.044	0.046	0.047	0.043	0.044	0.043	0.045
一酸化炭素 (ppm)	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.021	0.019	0.018	0.018	0.016	0.017	0.015	0.014	0.014	0.014
微小粒子状物質 (μg/m <sup>3</sup> )	—	—	—	—	—	—	12.5	12.1	11.9	11.4

(注) 光化学オキシダントは、昼間(5~20時)の日最高1時間値の年平均値を示す。  
 なお、ここでの年平均値は各測定局の年平均値合計を全測定局数で除したものである。



資料 3 9 有害大気汚染物質モニタリング測定地点(平成26年度)

地域分類 (地点数)	市 町 村	測 定 地 点	用 途 地 域	測 定 機 関
一 般 環 境 (6)	白 河 市	大気測定局(白河局)	第一種住居地域	福 島 県
	南相馬市	南相馬合同庁舎	第二種住居地域	福 島 県
	郡 山 市	開 成 山 公 園	第一種低層住居専用地域	郡 山 市
	いわき市	大気測定局(揚土局)	第二種住居地域	い わ き 市
	いわき市	大気測定局(中央台局)	第一種居住地域	い わ き 市
	いわき市	大気測定局(大原局)	第一種居住地域	い わ き 市
発生源周辺 (2)	郡 山 市	大気測定局(芳賀局)	第一種住居地域	郡 山 市
	いわき市	大気測定局(中原局)	工 業 地 域	い わ き 市
沿 道 (2)	福 島 市	大気測定局(杉妻町局付近)	第二種住居地域	福 島 県
	いわき市	大気測定局(平局)	商 業 地 域	い わ き 市

資料40 有害大気汚染物質モニタリングの結果(平成26年度)

物質名(単位)	地域分類	測定値(年平均値)					全国の状況 <sup>※1</sup>			環境基準(指針値) ※2
		地点数				平均	測定値の範囲	年平均値	測定値の最大	
		福島県	郡山市	いわき市	計					
ベンゼン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	2	5	0.89	0.60~1.1	0.95	1.8	3
	発生源周辺		1		1	1.3	1.3	1.2	5.7	
	沿道	1		1	2	1.2	0.87~1.5	1.3	2.8	
トリクロロエチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	2	5	0.18	0.052~0.27	0.45	7.8	200
	発生源周辺		1		1	0.35	0.35	0.75	16	
テトラクロロエチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	2	5	0.046	0.014~0.085	0.14	1.3	200
	発生源周辺		1		1	0.094	0.094	0.16	1.0	
ジクロロメタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	2	5	0.86	0.48~1.2	1.5	8.5	150
	発生源周辺		1		1	0.87	0.87	1.8	14	
アクリロニトリル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境			2	2	0.064	0.063~0.065	0.064	0.93	(2)
塩化ビニルモノマー ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境		1	2	3	0.023	0.014~0.033	0.027	0.55	(10)
	発生源周辺		1		1	0.022	0.022	0.054	0.43	
クロロホルム ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境			2	2	1.0	0.15~1.9	0.18	0.77	(18)
1,2-ジクロロエタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	2	5	0.17	0.096~0.38	0.16	1.1	(1.6)
	発生源周辺		1		1	0.14	0.14	0.21	1.2	
水銀及びその化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	1	4	2.8	1.6~4.9	2.0	5.4	(40)
	発生源周辺		1		1	1.6	1.6	2.1	3.7	
ニッケル化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1	2	5	2.2	1.3~3.7	3.6	22	(25)
	発生源周辺		1		1	1.7	1.7	6.5	28	
ヒ素及びその化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	一般環境		1	3	4	7.4	0.85~26	1.3	19	(6)
	発生源周辺		1	1	2	16	0.73~31	3.0	47	
1,3-ブタジエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境			1	1	0.061	0.061	0.089	0.51	(2.5)
	沿道	1		1	2	0.13	0.091~0.17	0.16	0.53	
マンガン及びその化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	一般環境		1		1	8.8	8.8	20	97	(140)
	発生源周辺		1		1	9.6	9.6	36	150	
アセトアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1		3	1.4	1.2~1.5	2.1	5.8	-
	発生源周辺		1		1	3.4	3.4	2.0	5.8	
	沿道	1		1	2	1.6	1.6	2.4	10	
塩化メチル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2			2	1.3	1.3	1.5	6.3	-
	沿道	1		1	2	9.7	6.4~13	9.1	34	-
ベンゾ[a]ピレン ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	一般環境		1		1	0.067	0.067	0.18	1.2	-
	発生源周辺		1		1	0.079	0.079	0.36	4.8	
	沿道	1		1	2	0.11	0.09~0.13	0.22	1.2	
ホルムアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	一般環境	2	1		3	2.1	1.6~3.2	2.6	8.1	-
	発生源周辺		1		1	2.9	2.9	2.5	6.4	
	沿道	1		1	2	2.1	1.9~2.2	3.0	7.2	

※1 出典：平成25年度大気汚染状況について(有害大気汚染物質モニタリング調査結果報告)(環境省)

※2 ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンについては環境基準  
アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物、  
ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、1,3-ブタジエン、マンガン及びその化合物については指針値

## 資料 4 1 一般環境アスベスト濃度調査の結果（平成26年度）

### (1) 各地域におけるアスベスト濃度調査結果

市町村名	福島市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	郡山市	いわき市 <sup>※3</sup>	
調査地点	大気測定局 (森合局)	大気測定局 (白河局)	会津保健福 祉事務所	南会津合同 庁舎	南相馬合同 庁舎	郡山市環境 保全セン ター	大気測定局 (大原局)	大気測定局 (常磐局)
調査時期	アスベスト濃度（下段の（ ）内はアスベスト以外を含む総繊維数濃度）（本/L） <sup>※1※2</sup>							
4月	— (0.48)	— (0.49)	— (0.41)	— (0.48)	— (0.33)	— (0.47)	0.23 (0.25)	0.20 (0.27)
5月	— (0.73)	— (0.89)	— (0.75)	— (0.52)	— (0.88)	/	0.05 (0.64)	0.06 (0.29)
6月	— (0.61)	— (0.73)	— (0.82)	— (0.40)	— (0.66)	/	0.16 (0.27)	0.23 (0.38)
7月	— (0.69)	— (0.52)	— (0.73)	— (0.37)	— (0.49)	/	0.11 (0.17)	0.32 (0.37)
8月	— (0.66)	— (0.58)	— (0.73)	— (0.43)	— (0.49)	/	0.17 (0.88)	0.08 (1.5)
9月	— (0.63)	— (0.53)	— (0.61)	— (0.42)	— (0.52)	— (0.18)	0.13 (0.20)	0.25 (0.25)
10月	— (0.65)	— (0.59)	— (0.56)	— (0.42)	— (0.46)	/	0.16 (0.32)	0.20 (0.20)
11月	— (0.68)	— (0.56)	— (0.64)	— (0.37)	— (0.58)	/	0.06 (0.27)	0.09 (0.39)
12月	— (0.57)	— (0.46)	— (0.57)	— (0.39)	— (0.46)	— (0.20)	0.13 (0.16)	0.11 (0.13)
1月	— (0.52)	— (0.46)	— (0.59)	— (0.53)	— (0.54)	/	0.17 (0.27)	0.11 (0.25)
2月	— (0.40)	— (0.50)	— (0.63)	— (0.61)	— (0.65)	/	0.07 (0.15)	0.05 (0.13)
3月	— (0.56)	— (0.48)	— (0.50)	— (0.52)	— (0.52)	— (0.36)	0.11 (0.17)	0.17 (0.34)
幾何平均値 (本/L <sup>※2</sup> )	—	—	—	—	—	—	0.12	0.13

### (2) アスベスト濃度調査結果の比較

	アスベスト濃度(本/L <sup>※1</sup> )	幾何平均値 (本/L <sup>※1</sup> )
平成26年度調査結果	0.05～0.32	0.12～0.13
平成25年度調査結果	ND～0.44	0.12～0.36
大気汚染防止法の敷地 境界基準 (参考)	10	

※1 アスベスト濃度の単位は、大気1リットルあたりのアスベスト繊維数である。

※2 総繊維数濃度（アスベスト以外を含む）が1本/Lを超えたものについて、アスベストを定量した（いわき市以外）。「-」は、総繊維数濃度が1本/Lを超えなかったため、アスベストモニタリングマニュアルに基づき、電子顕微鏡法によるアスベストの同定を行わなかったもの。「ND」は、アスベストを定量したが検出されなかったことを表す。

※3 いわき市は、総繊維数濃度（アスベスト以外を含む）にかかわらず、アスベスト（クリソタイル）の計数を行い測定値としている。

## 資料 4 2 ばい煙発生施設届出件数等（平成26年度）

### (1) ばい煙発生施設届出件数等

施設の番号	施設の種類	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	計
1	ボイラー	794 (2)	220	312	476 (5)	61	314 (21)	486	524 (24)	3187 (52)
2	ガス発生炉・ガス加熱炉	0	0	0	0	0		0	0	0
3	焙焼炉・焼結炉・煨焼炉	0	0	0	0	0	0	0	8	8
5	金属溶解炉	49	9	27	36	4	12	1	7	145
6	金属加熱炉・圧延加熱・熱処理炉	36	20	26	25	0	14	0	6	127
9	窯業焼成炉・溶融炉	7	4	4	13	8	1	39	27	103
10	反応炉・直火炉	0	0	0	0	0	0	11	6	17
11	乾燥炉	15	9	6	22 (1)	4	14	23	22	115 (1)
12	電気炉	4	0	0	3	0	0	0	0	7
13	廃棄物焼却炉	13	14	9	12	7	36 (1)	8	22	121 (1)
14	銅・鉛・亜鉛の精錬用焙焼炉等	1	0	0	2	0	0	0	13	16
17	溶解槽（塩化第二鉄製造用）	0	0	0	0	0	0	5	0	5
19	塩素・塩化水素反応施設	0	1	0	3	0	21	15	27	67
21	磷酸質肥料等製造施設	0	0	0	0	0	0	0	3	3
25	溶解炉（鉛蓄電池製造用）	0	0	0	0	0	0	0	9	9
27	硝酸製造用施設	0	0	0	0	0	0	0	1	1
29	ガスタービン	1 (29)	0 (5)	0 (14)	0 (8)	0 (1)	1 (11)	0 (19)	3 (9)	5 (96)
30	ディーゼル機関	4 (136)	0 (42)	3 (24)	15 (84)	0 (4)	17 (110)	12 (81)	21 (77)	72 (558)
31	ガス機関	0 (1)	0 (3)	0 (9)	0 (2)	0	0	0 (3)	0	0 (18)
施設数	合計	921 (168)	277 (50)	387 (47)	607 (100)	84 (5)	430 (143)	600 (103)	699 (110)	4005 (726)
	構成比(%)	23.0	6.9	9.7	15.2	2.1	10.7	15.0	17.5	100
工場・事業場数	合計	388 (108)	125 (34)	173 (19)	251 (36)	53 (5)	166 (50)	206 (53)	193 (73)	1555 (378)
	構成比(%)	25.0	8.0	11.1	16.1	3.4	10.7	13.2	12.4	100

（注）上表中（ ）内の数字は、電気事業法、ガス事業法及び鉱山保安法に基づく施設及び工場・事業場数を示し、届出件数等には含まれません。

## (2) 福島県生活環境の保全等に関する条例に基づくばい煙指定施設届出件数等

施設の種類の	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	計	
1. ばいじんに係るばい煙指定施設	4	6	6	0	0	7	59	24	106	
(1) 金属の精製又は鑄造の用に供する溶解炉	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
(2) 無機化学工業製品の製造の用に供する焼成炉	0	0	0	0	0	0	52	23	75	
(3) 製鉄、製鋼又は合金鉄の製造の用に供する電気炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4) 廃棄物焼却炉	4	6	6	0	0	7	6	1	30	
(5) 活性炭の原料の製造の用に供する炭化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 指定有害物質に係るばい煙指定施設	0	8	2	20	0	40	5	56	131	
(1) ボイラー（石炭燃料）	0	0	0	0	0	10	0	5	15	
(2) ボイラー（プラスチック燃料）	0	0	0	2	0	3	0	1	6	
(3) 窯業製品の製造の用に供する焼成炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4) 燐、燐酸、燐酸質肥料又は複合肥料の製造の用に供する反応施設、濃縮施設、焼成炉及び溶解炉並びに燐化合物の製造の用に供する電気炉及び反応施設	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
(5) 化学製品の製造の用に供する食塩電解施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(6) 廃棄物焼却炉	0	8	2	11	0	27	5	16	69	
(7) 銅、鉛又は亜鉛の精錬の用に供する焙焼炉、焼結炉、溶鋳炉、転炉、溶解炉及び乾燥炉	0	0	0	2	0	0	0	17	19	
(8) 銅、鉛若しくは亜鉛の第二次精錬又は銅、鉛若しくは亜鉛の管、板若しくは線の製造の用に供する溶解炉	0	0	0	5	0	0	0	5	10	
(9) 鉛蓄電池の製造の用に供する溶解炉	0	0	0	0	0	0	0	9	9	
(10) コークス炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設数	合計	4	14	8	20	0	47	64	80	237
	構成比(%)	1.7	6.1	3.4	8.4	0.0	19.8	27.0	33.8	100
工場・事業場数	合計	4	11	17	8	0	27	11	20	98
	構成比(%)	4.1	11.2	17.3	8.2	0.0	27.6	11.2	20.4	100

## (3) ばい煙等の立入検査実施状況

			県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	計
調査数	事業 場 数	煙道排ガス 調査	3	2	1	1	1	2	2	3	15
		届出状況等 確認調査	24	36	34	43	7	30	2	63	239
	施設 数	煙道排ガス 調査	3	3	1	5	1	2	2	15	32
		届出状況等 確認調査	153	116	112	65	8	86	2	288	830
煙道 排 ガ ス 調 査 目 録	硫黄酸化物		2	1	1	1	1	1	2	2	11
	ばいじん		2	1	1	1	1	1	2	2	11
	窒素酸化物		2	1	0	1	1	1	2	2	10
	有害物質		1	1	0	0	1	1	1	18	23
	合計		7	4	2	3	4	4	7	24	55

資料 4 3 揮発性有機化合物排出施設・一般粉じん発生施設届出件数等（平成26年度）

(1) 揮発性有機化合物排出施設届出件数等

施設の 項 番号	施設の名称	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	計
1	揮発性有機化合物を溶剤として使用する化学製品の製造の用に供する乾燥施設	1	3	0	0	0	2	0	5	11
2	塗装施設	0	0	0	0	0	0	2	0	2
3	塗装の用に供する乾燥施設	8	1	0	0	0	0	1	0	10
4	印刷回路用銅張積層板、粘着テープ若しくは粘着シート、はく離紙又は包装材料の製造に係る接着の用に供する乾燥施設	1	3	19	0	0	0	13	1	37
5	接着の用に供する乾燥施設	1	0	0	0	0	0	0	3	4
6	印刷の用に供する乾燥施設（オフセット輪転印刷）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	印刷の用に供する乾燥施設（グラビア印刷）	0	0	9	0	0	0	0	0	9
8	工業の用に供する揮発性有機化合物による洗浄施設	0	0	1	0	0	0	0	0	1
9	ガソリン、原油、ナフサその他の温度37.8度において蒸気圧が20キロパスカルを超える揮発性有機化合物の貯蔵タンク	0	0	0	0	0	0	3	0	3
施設数	合計	11	7	29	0	0	2	19	9	77
	構成比(%)	14.3	8.9	37.7	0.0	0.0	2.6	24.7	11.7	100.0
工場・事業場数	合計	4	2	4	0	0	2	5	3	20
	構成比(%)	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	25.0	15.0	100.0

(2) 一般粉じん発生施設届出件数等

施設の 項 番号	施設の名称	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	計
2	堆積場	29	20 (9)	20	23	11	39 (14)	33	85 (8)	260 (31)
3	コンベア	116	51 (9)	132	52	13	195 (82)	46	152 (46)	757 (137)
4	破碎機・摩砕機	43	37 (10)	38	35	6	81 (4)	36	34 (5)	310 (19)
5	ふるい	29	47 (15)	26	11	0	50 (4)	17	20 (4)	200 (23)
施設数	合計	217	155 (43)	216	121	30	365 (104)	132	291 (63)	1,527 (210)
	構成比(%)	14.2	10.2	14.1	7.9	2.0	23.9	8.6	19.1	100.0
工場・事業場数	合計	36	34 (4)	34	34	12	42 (3)	31	61 (2)	284 (9)
	構成比(%)	12.7	12.0	12.0	12.0	4.2	14.8	10.9	21.5	100.0

(注)上表中( )内の数字は、電気事業法等に基づく施設数等を示し、届出件数等には含まれません。



## 資料 4 4 公共用水域の水質監視

### (1) 水質測定計画に基づく調査対象水域及び測定地点数（平成 26 年度）

公共用水域の水質汚濁の状況の監視は、水質汚濁防止法第 16 条の定めによる水質測定計画に基づいて、県内の主要河川、湖沼、海域について、国（国土交通省東北地方整備局、北陸地方整備局）、県、福島市、郡山市及びいわき市（3 市は、同法第 28 条に定める政令市）が分担して昭和 46 年から行っています。

平成 26 年度の水質測定計画に基づく水質調査は、76 河川、18 湖沼、13 海域の 127 水域 191 地点で実施しました。

水域区分	環境基準の 類型指定の状況	調査対象水域数等			水域区分	環境基準の 類型指定の状況	調査対象水域数等		
		河川数等	水域数	地点数			河川数等	水域数	地点数
河川	類型指定有	40 (40)	58 (46)	91 (53)	合計	類型指定有	13 ( 5)	13 ( 5)	31 ( 7)
	類型指定無	36 (10)	36 (10)	38 (10)		類型指定有	68 (48)	86 (54)	150 (67)
	小計	76 (50)	94 (56)	129 (63)		類型指定無	39 (12)	39 (12)	41 (12)
湖沼	類型指定有	15 ( 3)	15 ( 3)	28 ( 7)	合計	小計	107 (60)	125 (66)	191 (79)
	類型指定無	3 (2)	3 (2)	3 (2)					
	小計	18 (5)	18 (5)	31 (9)					

(注) 1 「環境基準の類型指定の状況」の欄の類型指定の有無は、「生活環境の保全に関する環境基準」の類型にあてはめの有無を示しています。

2 「調査対象水域数等」の欄の ( ) 内の数値は、調査対象水域数等の内数で健康項目の測定対象水域数等を示しています。

### (2) 健康項目に係る環境基準の達成状況（平成 26 年度）

平成 26 年度に、河川、湖沼及び海域の合計 79 地点でカドミウム等の健康項目(27 項目)について測定したところ、すべての項目について環境基準を達成しました。

測定項目	河川		湖沼		海域		合計		
	測定地点数	環境基準超過地点数	測定地点数	環境基準超過地点数	測定地点数	環境基準超過地点数	測定地点数	環境基準超過地点数	
健康項目	① カドミウム	53	0	5	0	5	0	63	0
	② 全シアン	49	0	3	0	5	0	57	0
	③ 鉛	53	0	5	0	5	0	63	0
	④ 六価クロム	47	0	3	0	5	0	55	0
	⑤ 砒素	52	0	5	0	5	0	62	0
	⑥ 総水銀	51	0	5	0	5	0	61	0
	⑦ アルキル水銀	15	0	1	0	0	0	16	0

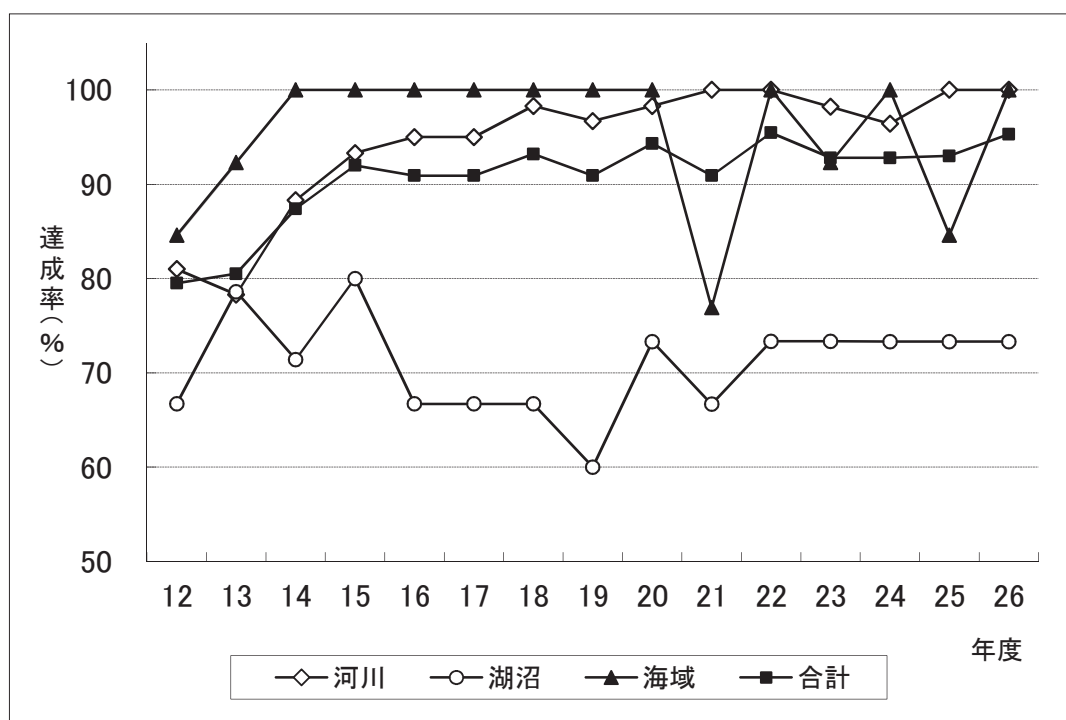
測定項目		河川		湖沼		海域		合計	
		測定地点数	環境基準 超過地点数	測定地点数	環境基準 超過地点数	測定地点数	環境基準 超過地点数	測定地点数	環境基準 超過地点数
健康項目	⑧ PCB	38	0	3	0	5	0	46	0
	⑨ ジクロロメタン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑩ 四塩化炭素	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑪ 1, 2-ジクロロエタン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑫ 1, 1-ジクロロエチレン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑬ シス-1, 2-ジクロロエチレン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑭ 1, 1, 1-トリクロロエタン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑮ 1, 1, 2-トリクロロエタン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑯ トリクロロエチレン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑰ テトラクロロエチレン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑱ 1, 3-ジクロロプロペン	50	0	5	0	5	0	60	0
	⑲ チウラム	48	0	5	0	5	0	58	0
	⑳ シマジン	48	0	5	0	5	0	58	0
	㉑ チオベンカルブ	48	0	5	0	5	0	58	0
	㉒ ベンゼン	50	0	5	0	5	0	60	0
	㉓ セレン	48	0	5	0	5	0	58	0
	㉔ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	59	0	9	0	4	0	72	0
	㉕ ふっ素	49	0	9	0	0	0	58	0
	㉖ ほう素	42	0	6	0	0	0	48	0
㉗ 1, 4-ジオキサン	52	0	5	0	5	0	62	0	
合 計		63	0	9	0	7	0	79	0

### (3) 健康項目に係る環境基準達成状況の推移

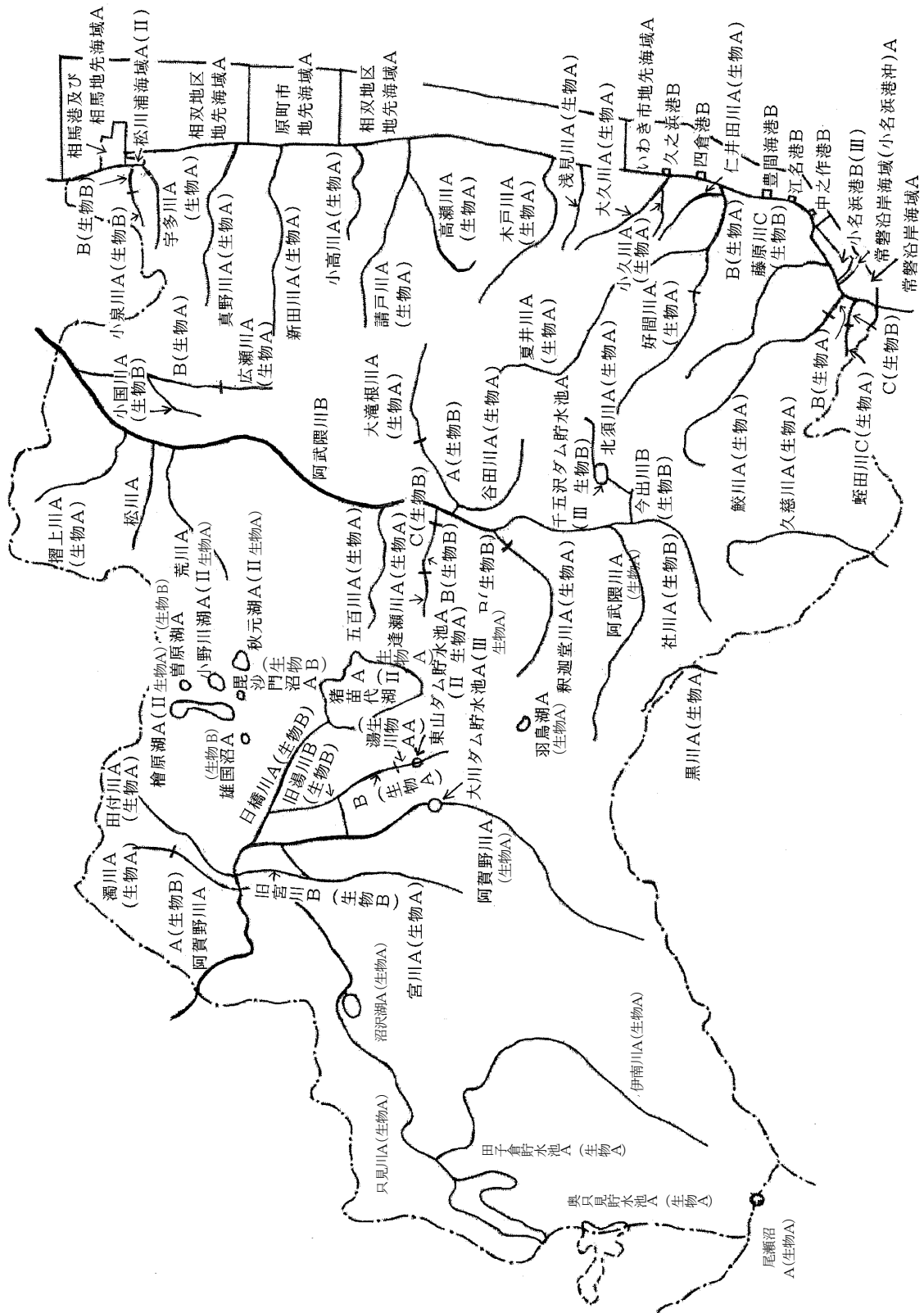
測定項目		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
		環境基準を 超える地点 数  測定 地点数	環境基準を 超える地点 数  測定 地点数	環境基準を 超える地点 数  測定 地点数	環境基準を 超える地点 数  測定 地点数	環境基準を 超える地点 数  測定 地点数
健 康 項 目	① カドミウム	0/64	0/60	0/61	0/63	0/63
	② 全シアン	0/57	0/53	0/55	0/57	0/57
	③ 鉛	0/65	0/60	0/61	0/63	0/63
	④ 六価クロム	0/56	0/52	0/53	0/55	0/55
	⑤ 砒素	0/62	0/58	0/60	0/62	0/62
	⑥ 総水銀	0/62	0/58	0/59	0/61	0/61
	⑦ アルキル水銀	0/19	0/19	0/20	0/16	0/16
	⑧ PCB	0/48	0/44	0/44	0/46	0/46
	⑨ ジクロロメタン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑩ 四塩化炭素	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑪ 1, 2-ジクロロエタン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑫ 1, 1-ジクロロエチレン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑬ シス-1, 2-ジクロロエチレン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑭ 1, 1, 1-トリクロロエタン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑮ 1, 1, 2-トリクロロエタン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑯ トリクロロエチレン	0/64	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑰ テトラクロロエチレン	0/64	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑱ 1, 3-ジクロロプロペン	0/60	0/56	0/57	0/60	0/60
	⑲ チウラム	0/60	0/56	0/56	0/58	0/58
	⑳ シマジン	0/60	0/56	0/56	0/58	0/58
	㉑ チオベンカルブ	0/60	0/56	0/56	0/58	0/58
	㉒ ベンゼン	0/60	0/56	0/57	0/61	0/60
	㉓ セレン	0/59	0/55	0/56	0/59	0/58
	㉔ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0/73	0/55	0/65	0/72	0/72
	㉕ ふっ素	0/59	0/56	0/57	0/59	0/58
	㉖ ほう素	0/49	0/46	0/47	0/49	0/48
	㉗ 1, 4-ジオキサン	0/62	0/54	0/55	0/61	0/62

### 資料45 生活環境項目（BOD又はCOD）に係る環境基準達成状況の推移

年 度	河 川			湖 沼			海域			合計		
	指定 水域数	達成 水域数	達成率 (%)	指定 水域数	達成 水域数	達成率 (%)	指定 水域数	達成 水域数	達成率 (%)	指定 水域数	達成 水域数	達成率 (%)
12	58	47	81.0	12	8	66.7	13	11	84.6	83	66	79.5
13	60	47	78.3	14	11	78.6	13	12	92.3	87	70	80.5
14	60	53	88.3	14	10	71.4	13	13	100.0	87	76	87.4
15	60	56	93.3	15	12	80.0	13	13	100.0	88	81	92.0
16	60	57	95.0	15	10	66.7	13	13	100.0	88	80	90.9
17	60	57	95.0	15	10	66.7	13	13	100.0	88	80	90.9
18	60	59	98.3	15	10	66.7	13	13	100.0	88	82	93.2
19	60	58	96.7	15	9	60.0	13	13	100.0	88	80	90.9
20	60	59	98.3	15	11	73.3	13	13	100.0	88	83	94.3
21	60	60	100.0	15	10	66.7	13	10	76.9	88	80	90.9
22	60	60	100.0	15	11	73.3	13	13	100.0	88	84	95.5
23	55	54	98.2	15	11	73.3	13	12	92.3	83	77	92.8
24	55	53	96.4	15	11	73.3	13	13	100.0	83	77	92.8
25	58	58	100.0	15	11	73.3	13	11	84.6	86	80	93.0
26	58	58	100.0	15	11	73.3	13	13	100.0	86	82	95.3



資料 4 6 河川、湖沼、海域の水質環境基準の水域類型の指定状況 (平成 27 年 3 月 31 日)



資料 4 7 窒素及び<sup>りん</sup>燐の排水規制対象湖沼・海域（平成27年3月31日現在）

(1) 窒素の規制対象湖沼

No.	湖 沼 名	所 在 地
1	千五沢ダム貯水池 (母畑湖)	石川町、玉川村及び平田村
2	四時ダム貯水池 (四時湖)	いわき市

(2) 燐の排水規制対象湖沼

No.	湖 沼 名	所 在 地	No.	湖 沼 名	所 在 地
1	大笹生ダム貯水池	福島市	29	藤倉ダム貯水池	桑折町
2	摺上川ダム貯水池 (茂庭っ湖)	福島市	30	羽鳥ダム貯水池 (羽鳥湖)	天栄村
3	東山ダム貯水池 (湯の入り湖)	会津若松市	31	龍生ダム貯水池	天栄村
4	吉ヶ平ダム貯水池	会津若松市	32	大内ダム貯水池	下郷町
5	猪苗代湖	会津若松市、郡山市及び猪苗代町	33	尾瀬沼	檜枝岐村及び群馬県片品村
6	大川ダム貯水池 (若郷湖)	会津若松市及び下郷町	34	奥只見ダム貯水池 (奥只見湖)	檜枝岐村及び新潟県魚沼市
7	深田ダム貯水池	郡山市	35	大鳥ダム貯水池	只見町及び新潟県魚沼市
8	小玉ダム貯水池 (こだま湖)	いわき市	36	田子倉ダム貯水池 (田子倉湖)	只見町
9	四時ダム貯水池 (四時湖)	いわき市	37	田島ダム貯水池 (舟鼻湖)	南会津町
10	千軒平ダム貯水池 (千軒平ため池)	いわき市	38	雄国沼	北塩原村
11	高柴ダム貯水池 (たかしぼ湖)	いわき市	39	小野川湖	北塩原村
12	犬神ダム貯水池	白河市	40	曾原湖	北塩原村
13	南湖ため池 (南湖)	白河市	41	檜原湖	北塩原村
14	笠松ダム貯水池	須賀川市	42	毘沙門沼	北塩原村
15	藤沼ダム貯水池 (藤沼貯水池)	須賀川市	43	秋元湖	北塩原村及び猪苗代町
16	滑川ダム貯水池	須賀川市	44	沼沢沼 (沼沢湖)	金山町
17	大深沢ダム貯水池 (大深沢調整池)	喜多方市	45	宮川ダム貯水池	会津美里町
18	関柴ダム貯水池	喜多方市	46	堀川ダム貯水池	西郷村
19	大平沼 (大平沼堤)	喜多方市	47	赤坂ダム貯水池	西郷村
20	日中ダム貯水池 (ひざわ湖)	喜多方市	48	西郷ダム貯水池 (西郷貯水池)	西郷村
21	玉野ため池	相馬市	49	千五沢ダム貯水池 (母畑湖)	石川町、玉川村及び平田村
22	中富ため池 (中富堤)	相馬市	50	三春ダム貯水池 (さくら湖)	三春町
23	高の倉ダム貯水池	南相馬市	51	長久保ダム貯水池	小野町
24	鉄山ダム貯水池	南相馬市	52	館山ため池	富岡町
25	唐神ため池	南相馬市	53	坂下ダム貯水池	富岡町及び大熊町
26	横川ダム貯水池	南相馬市	54	岩部ダム貯水池	飯館村
27	横峰ため池	南相馬市	55	真野ダム貯水池 (はやま湖)	飯館村
28	大柿ダム貯水池	南相馬市及び浪江町			

(3) 窒素及び<sup>りん</sup>燐の排水規制対象海域

No.	海域名	所在地	範囲
1	松川浦	相馬市	相馬市尾浜字棚脇西端と松川浦漁港囲堤先端を結んだ線。同囲堤及び陸岸により囲まれた海域
2	小名浜港	いわき市	小名浜港三崎防波堤、同防波堤先端と三崎波除堤先端を結ぶ線、三崎波除堤、第一西防波堤、第二西防波堤の延長線と第一西防波堤との交点と第二西防波堤東端を結ぶ線、第二西防波堤、大剣防波堤の延長線と第二西防波堤との交点と大剣防波堤先端を結ぶ線、大剣防波堤及び陸岸により囲まれた海域

資料 4 8 水系・河川の水質測定結果（平成26年度）

(1) 阿賀野川水系の水質測定結果

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	B O D			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
阿賀野川	◎ 田島橋	A	イ	6.9 ~ 7.5	11	0.9	0.0	1.1	1	2,200
	大川橋上流			7.0 ~ 7.5	11	0.9	0.0	1.0	1	760
	馬越橋	A	イ	6.8 ~ 7.2	10	0.7	0.0	0.8	2	510
	◎ 宮古橋			6.8 ~ 8.0	10	0.8	0.0	0.9	2	3,100
	山科地先	A	ハ	6.9 ~ 7.4	10	0.8	0.0	0.8	5	5,000
	◎ 新郷ダム			6.9 ~ 7.2	11	1.0	0.0	1.2	3	4,300
只見川	◎ 西谷橋	A	イ	6.8 ~ 7.2	12	0.8	0.0	0.9	4	3,400
	◎ 藤橋			6.9 ~ 7.1	11	0.9	0.0	1.0	5	2,000
伊南川	◎ 青柳橋	A	イ	7.0 ~ 7.5	11	0.7	0.0	0.8	2	1,300
	◎ 黒沢橋			7.1 ~ 7.6	11	0.7	0.0	0.7	2	1,500
田付川	◎ 大橋	A	ロ	7.0 ~ 9.0	11	0.8	0.0	0.9	2	5,100
	◎ 下川原橋	A	イ	7.0 ~ 7.9	11	1.3	8.3	1.4	2	11,000
宮川	◎ 細工名橋	A	イ	7.0 ~ 7.3	11	1.2	8.3	1.4	2	9,900
旧宮川	◎ 丈助橋	B	イ	7.1 ~ 7.3	10	1.5	8.3	1.6	3	21,000
濁川	◎ 濁川橋	A	イ	7.1 ~ 7.5	11	1.6	8.3	1.6	2	9,300
	◎ 山崎橋	A	イ	7.1 ~ 7.7	11	0.9	0.0	0.9	3	4,600
押切川	押切川橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日橋川	◎ 南大橋	A	イ	6.6 ~ 7.2	11	0.7	0.0	0.7	3	3,100
湯川	◎ 滝見橋	A	イ	7.1 ~ 7.5	11	1.1	0.0	1.3	1	1,500
	◎ 新湯川橋	B	ロ	6.7 ~ 7.8	11	2.1	16.7	2.6	7	23,000
	阿賀野川合流前			7.1 ~ 7.4	10	2.3	0.0	2.9	3	51,000
旧湯川	◎ 栗ノ宮橋	B	ロ	7.0 ~ 7.5	11	1.1	0.0	1.5	2	9,500
大塩川	東栄橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
溷川	館ノ内橋	-	-	7.2 ~ 7.3	11	1.5	-	1.6	3	11,000
高橋川	新橋	-	-	7.2 ~ 7.4	9.6	1.0	-	1.1	2	14,000
小黒川	梅の橋	-	-	7.2 ~ 7.8	10	1.8	-	2.6	3	16,000
長瀬川	小金橋	-	-	3.7 ~ 6.2	10	0.7	-	0.6	3	63
酸川	酸川野	-	-	3.0 ~ 3.2	11	0.5	-	<0.5	1	0.75
舟津川	舟津橋	-	-	7.1 ~ 7.3	10	0.6	-	<0.5	1	3,500
管川	三浜橋上流	-	-	7.2 ~ 7.4	11	0.6	-	0.6	2	1,200
常夏川	大作橋上流	-	-	7.0 ~ 7.3	10	0.6	-	0.6	3	5,300
大江川	尾瀬沼流入前の橋	-	-	6.6 ~ 6.8	9.3	1.3	-	1.9	<1	410

(注) ◎印は環境基準点を示します。(以下同じ。)

結果は特にことわりのない限り年平均値です。(以下同じ。)

押切川(押切川橋)、大塩川(東栄橋)、溷川(館ノ内橋)、産ヶ沢川(新川橋)、滝川(富士見橋)、移川(小瀬川橋)、鯉川(阿武隈川合流前)、六角川(阿武隈川合流前)、杉田川(落合橋)、牧野川(大滝根川合流前)、滑川(旧4号国道下)、藤野川(社川合流前)、堀川(阿武隈川合流前)、泉川(阿武隈川合流前)、川上川(久慈川合流前)、地蔵川(旧山崎前橋)、太田川(丸山橋)、前田川(中浜橋)、熊川(三熊橋)、富岡川(小浜橋)、井出川(本釜橋)の21河川については、平成21年度から毎年7河川ずつ3年周期で調査することとなりました。

達成期間の「イ」は直ちに達成、「ロ」は5年以内で可及的速やかに達成、「ハ」は5年を超える期間で可及的速やかに達成、「ニ」は段階的に暫定目標値を達成しつつ、環境基準の可及的速やかな達成に努めることを示す。

類型：P.62【参考】生活環境の保全に関する環境基準 参照



## (2) 阿武隈川水系の水質測定結果

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	BOD			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
阿武隈川	◎羽太橋	A	イ	7.3 ~ 7.9	10	0.8	0	0.9	1	2,000
	田町大橋上流 400m	B	イ	7.3 ~ 8.2	11	1.1	0	1.3	2	4,800
	川ノ目橋			7.5 ~ 7.9	11	1.6	0	1.9	3	10,000
	江持橋			7.2 ~ 7.6	10	1.0	0	1.0	7	7,500
	◎阿久津橋	B	ロ	7.3 ~ 8.2	10	1.2	0	1.5	6	6,600
	高田橋			7.3 ~ 8.1	9.8	1.8	0	2.0	6	8,600
	蓬萊橋			7.3 ~ 7.8	10	1.4	0	1.6	5	3,900
◎大正橋	7.1 ~ 7.7			10	1.2	0	1.3	6	9,500	
広瀬川	◎館ノ腰橋上流	A	イ	7.4 ~ 7.9	11	1.1	8.3	1.4	4	13,000
	地藏川原橋	B	イ	7.5 ~ 8.5	11	1.1	0	1.2	2	27,000
	◎阿武隈川合流前			7.2 ~ 8.6	11	1.2	8.3	1.4	11	28,000
小国川	◎広瀬川合流前	A	イ	7.5 - 8.5	11	1.6	25	1.8	2	22,000
産ヶ沢川	新川橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川	富士見橋	-	-	7.3 - 7.7	11	1.5	-	1.9	6	97,000
	十綱橋	A	イ	6.8 ~ 7.3	11	0.8	0	0.8	2	6,600
◎阿武隈川合流前	6.9 ~ 7.4			11	0.8	0	1.0	3	9,200	
松川	◎阿武隈川合流前	A	イ	5.5 ~ 6.8	10	0.5	0	0.5	4	1,000
荒川	◎日ノ倉橋上流	A	イ	7.2 ~ 7.8	11	<0.5	0	<0.5	2	800
	◎阿武隈川合流前	A	イ	6.0 ~ 6.6	10	0.5	0	<0.5	11	1,300
鯉川	阿武隈川合流前	-	-	-	-	-	-	-	-	-
杉田川	落合橋	-	-	7.5 - 9.1	11	1.1	-	1.3	2	3600
五百川	石筵川合流後	A	イ	7.2 ~ 7.6	11	0.6	0	0.8	3	2,000
	上関下橋			7.3 ~ 9.4	11	0.9	0.0	1.1	1	4,000
	◎阿武隈川合流前			7.3 ~ 9.3	11	1.2	17	1.0	2	43,000
逢瀬川	◎馬場川合流点前	A	イ	7.2 ~ 7.6	11	0.8	0	1.0	4	6,200
	◎幕ノ内橋上流	B	イ	7.3 ~ 7.8	11	1.9	8.3	2.3	6	12,000
	◎阿武隈川合流前	C	イ	7.4 ~ 8.3	11	2.0	0	2.5	8	13,000
大滝根川	船引橋	A	イ	7.3 ~ 8.0	10	1.2	8.3	1.6	2	9,600
	◎阿武隈川合流前			7.4 ~ 8.3	10	1.3	8.3	1.5	3	3,700
谷田川	谷田川橋	A	イ	7.3 - 8.0	10	1.3	8.3	1.6	5	15,000
牧野川	大滝根川合流前	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釈迦堂川	◎須賀川市水道 取水点	A	イ	7.6 ~ 8.5	11	1.2	0	1.4	2	11,000
	◎阿武隈川合流前	B	イ	7.3 ~ 7.8	11	1.1	0	1.3	8	7,300
社川	社川橋	A	イ	7.3 ~ 7.6	11	1.0	8.3	0.9	2	8,300
	◎王子橋			7.5 ~ 7.8	10	1.4	0	1.5	3	19,000
東根川	阿武隈川合流前	-	-	7.1 ~ 7.4	9.5	2.3	-	2.7	5	20,000
佐久間川	阿武隈川合流前	-	-	7.3 ~ 7.6	11	1.5	-	1.5	3	21,000
八反田川	八反田橋	-	-	6.7 ~ 7.1	11	1.2	-	1.5	6	52,000
濁川	大森川合流前	-	-	7.0 ~ 7.4	10	1.9	-	2.1	6	26,000
須川	須川橋	-	-	3.5 ~ 3.7	10	0.5	-	<0.5	1	190
水原川	下藤内橋	-	-	7.0 ~ 8.6	11	1.2	-	1.3	5	11,000
女神川	新鶴巻橋	-	-	7.3 ~ 8.9	12	2.6	-	2.9	5	26,000
移川	小瀬川橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
油井川	油井川橋	-	-	7.1 ~ 7.9	11	1.1	-	1.5	3	12,000
六角川	阿武隈川合流前	-	-	-	-	-	-	-	-	-

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	BOD			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
藤田川	阿武隈川合流前	—	—	7.4 ~ 7.7	10	1.6	—	2.0	7	7,100
桜川	小泉橋	—	—	7.9 ~ 8.1	9.8	2.3	—	2.7	3	20,000
亀田川	逢瀬川合流前	—	—	7.5 ~ 8.0	10	2.7	—	3.2	8	9,100
笹原川	新橋	—	—	7.3 ~ 7.6	10	1.4	—	1.6	4	14,000
滑川	旧4号国道下	—	—	—	—	—	—	—	—	—
今出川	◎猫啼橋	B	ハ	7.5 ~ 7.8	11	1.6	0	1.8	3	19,000
北須川	◎やなぎ橋	A	イ	7.6 ~ 7.9	10	1.3	8.3	1.7	1	6,500
藤野川	社川合流前	—	—	7.6 ~ 8.0	11	1.7	—	1.3	2	3,300
谷津田川	阿武隈川合流前	—	—	7.7 ~ 7.9	10	1.0	—	0.9	<1	8,000
堀川	阿武隈川合流前	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泉川	阿武隈川合流前	—	—	7.4 ~ 8.5	11	1.8	—	2.1	4	13,000

### (3) 久慈川水系、那珂川水系の水質測定結果

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	BOD			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
久慈川	◎松岡橋	A	ロ	7.5 ~ 8.5	11	1.1	17	1.3	2	5,900
	◎高地原橋			7.6 ~ 8.0	11	0.9	0	1.2	2	4,600
黒川	◎栃木県境	A	イ	7.5 ~ 8.0	11	0.7	0	0.8	1	4,400
川上川	久慈川合流前	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### (4) 相双地区河川の水質測定結果

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	BOD			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
地藏川	旧山崎前橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小泉川	◎小泉橋	A	イ	7.2 ~ 7.7	10	0.9	0	1.0	2	13,000
	◎百間橋	B	イ	7.3 ~ 7.9	8.3	1.5	18	2.2	6	20,000
宇多川	◎堀坂橋	A	イ	7.5 ~ 7.9	11	0.7	0	0.7	1	2,600
	◎百間橋	A	イ	7.4 ~ 8.1	10	1.0	0	1.4	2	3,900
真野川	◎落合橋	A	イ	7.0 ~ 7.4	11	1.0	0	1.3	1	6,900
	◎真島橋	A	イ	7.3 ~ 8.0	9.5	0.8	0	0.9	4	3,800
新田川	◎木戸内橋	A	イ	7.3 ~ 7.7	11	0.7	0	0.8	1	6,300
	◎鮭川橋	A	イ	7.2 ~ 7.4	11	0.9	0	1.1	2	3,900
太田川	丸山橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小高川	◎善丁橋	A	イ	7.3 ~ 8.0	11	0.7	0	0.9	2	11,000
	◎白金橋	A	イ	7.2 ~ 7.6	10	1.0	0	1.1	3	28,000
請戸川	室原橋	A	イ	—	—	—	—	—	—	—
	◎請戸橋			—	—	—	—	—	—	—
高瀬川	◎慶応橋	A	イ	—	—	—	—	—	—	—
前田川	中浜橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富岡川	小浜橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
井出川	本釜橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	BOD			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
木戸川	西山橋	A	イ	6.9 ~ 7.2	11	0.7	0	0.8	<1	3,000
	◎長瀬橋			7.2 ~ 7.7	11	0.7	0	0.7	1	2,500
	◎木戸川橋			7.1 ~ 7.6	11	0.6	0	0.7	1	4,300
浅見川	◎坊田橋	A	イ	7.2 ~ 7.6	11	0.7	0	0.9	1	4,200
	広野町水道取水点上流			7.2 ~ 7.4	11	0.6	0	0.6	1	4,700
熊川	三熊橋	—	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 太田川は橋の破損のため、請戸川、高瀬川、富岡川については、原子力災害対策特別措置法に基づく帰還困難区域内又は避難解除準備区域内であるため測定を見合わせています。

#### (5) いわき地区河川の水質測定結果

河川名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	BOD			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
夏井川	◎北ノ内橋	A	ロ	7.3 ~ 7.7	10	1.0	8.3	1.0	3	14,000
	◎久太夫橋			7.2 ~ 8.0	11	0.9	0	1.1	3	3,000
	◎六十枚橋	A	イ	7.3 ~ 7.9	10	1.0	8.3	1.2	5	3,000
好間川	◎岩穴つり橋	A	イ	7.5 ~ 7.9	11	0.8	8.3	0.7	2	1,600
	◎夏井川合流前	B	イ	7.4 ~ 7.8	11	1.5	0	1.8	2	14,000
藤原川	◎愛谷川橋	C	ハ	7.4 ~ 8.0	9.9	1.0	0	1.0	3	—
	島橋			7.5 ~ 7.7	8.4	3.3	0	3.7	10	—
	◎みなと大橋			7.1 ~ 7.7	6.9	3.5	17	3.4	6	—
蛭田川	◎小埜橋	C	ハ	7.5 ~ 7.7	11	1.5	0	1.8	3	—
	◎蛭田橋			7.1 ~ 7.6	8.9	3.0	8.3	3.4	3	—
大久川	◎蔭磯橋	A	イ	7.0 ~ 7.9	11	1.0	0	1.1	3	4,300
小久川	連郷橋	A	イ	7.0 ~ 7.8	11	0.7	0	1.0	4	1,700
仁井田川	霞田橋	A	イ	7.5 ~ 7.8	11	0.6	0	0.6	5	2,000
	◎松葉橋			7.4 ~ 7.8	9.9	0.9	8.3	0.9	6	5,800
鮫川	◎井戸沢橋	A	イ	7.8 ~ 8.2	11	0.9	0	1.1	4	1,700
	◎鮫川橋	B	イ	7.4 ~ 7.9	11	1.0	0	1.2	3	3,600
新川	古川橋	—	—	7.2 ~ 7.3	8.7	1.1	—	0.9	5	8,900
	一之矢橋	—	—	7.3 ~ 7.4	9.5	1.1	—	1.4	3	5,000
滑津川	高久橋	—	—	7.3 ~ 7.7	9.2	2.6	—	3.1	7	—
矢田川	矢田川橋	—	—	7.4 ~ 8.2	8.7	4.2	—	4.1	7	—
宝珠院川	藤原川合流前	—	—	7.2 ~ 7.6	7.6	3.3	—	3.5	8	—
四時川	小室橋	—	—	7.4 ~ 7.8	11	0.9	—	1.0	4	3,500
	鮫川合流前	—	—	7.9 ~ 8.4	11	0.9	—	1.1	2	1,400
境川	6号国道下	—	—	7.3 ~ 7.6	5.9	5.3	—	5.4	5	160,000
神白川	下神白橋	—	—	7.4 ~ 8.4	11	4.3	—	5.5	6	61,000
湯本川	藤原川合流前	—	—	7.8 ~ 8.0	11	1.4	—	1.7	4	51,000
渋川	植田橋	—	—	7.4 ~ 7.8	9.6	1.2	—	1.4	3	50,000

**【参考】 生活環境の保全に関する環境基準（昭和46年12月環境庁告示第59号「水質汚濁に係る環境基準について」（最終改定 平成21年11月環境省告示第78号））**

○海域

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)
A	水産1級・水浴・自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	2 mg/L以下	7.5 mg/L 以上	1,000 MPN/100mL以下	検出されないこと
B	水産2級・工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	3 mg/L以下	5 mg/L以上	—	検出されないこと
C	環境保全	7.0 以上 8.3 以下	8 mg/L以下	2 mg/L以上	—	—
<p>備考</p> <p>1 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100mL以下とする。</p> <p>2 アルカリ性法とは次のものをいう。</p> <p>試料50mLを正確に三角フラスコにとり、水酸化ナトリウム溶液（10w/v%）1mLを加え、次に過マンガン酸カリウム溶液（2mmol/L）10mLを正確に加えたのち、沸騰した水浴中に正確に20分放置する。その後よう化カリウム溶液（10w/v%）1mLとアジ化ナトリウム溶液（4w/v%）1滴を加え、冷却後、硫酸（2+1）0.5mLを加えてよう素を遊離させて、それを力価の判明しているチオ硫酸ナトリウム溶液（10mmol/L）ででんぷん溶液を指示薬として滴定する。同時に試料の代わりに蒸留水を用い、同様に処理した空試験値を求め、次式によりCOD値を計算する。</p> $\text{COD (O}_2\text{mL/L)} = 0.08 \times [ (B) - (A) ] \times f\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3 \times 1,000/50$ <p>(A) : チオ硫酸ナトリウム溶液（10mmol/L）の滴定値（mL）            (B) : 蒸留水について行った空試験値（mL）  <math>f\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3</math> : チオ硫酸ナトリウム溶液（10mmol/L）の力価</p>						

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全  
 2 水産 1級：マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用  
 // 2級：ボラ、ノリ等の水産生物用  
 3 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全リン
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの。(水産2種及び3種を除く。)	0.2 mg/L以下	0.02 mg/L以下
Ⅱ	水産1種・水浴及び以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	0.3 mg/L以下	0.03 mg/L以下
Ⅲ	水産2種及びⅣの欄に掲げるもの(水産3種を除く。)	0.6 mg/L以下	0.05 mg/L以下
Ⅳ	水産3種・工業用水・生物生息環境保全	1 mg/L以下	0.09 mg/L以下
備考			
1 基準値は、年間平均値とする。			
2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。			

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- 2 水産 1種：底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される  
 // 2種：一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される  
 // 3種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される
- 3 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度

資料 4 9 湖沼・海域・水浴場の水質測定結果（平成26年度）

(1) 湖沼の水質測定結果

1) COD等に係るもの

湖沼名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	C O D			SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)			
大川ダム貯水池	◎湖	心	A	イ	6.4～8.1	9.6	1.9	0	2.1	3	180
尾瀬沼	◎湖	心	A	イ	6.5～7.4	8.4	3.3	53	3.8	2	210
奥只見貯水池	◎湖	心	A	イ	6.8～8.0	9.1	2.0	0	2.2	1	120
田子倉貯水池	◎湖	心	A	イ	6.7～9.0	9.4	2.0	8	2.3	1	2,300
沼沢湖	◎湖	心	A	イ	7.1～8.8	10	1.8	0	2.4	1	660
猪苗代湖	◎湖	心	A	イ	6.6～7.0	11	0.9	0	1.0	1	1,200
	小石ヶ浜水門	6.7～6.9			9.3	1.0	0	1.2	<1	1,100	
	天神浜	6.6～8.5			9.6	1.7	0	2.3	1	470	
	安積疏水取水口	6.6～7.2			9.6	1.1	0	1.2	1	1,600	
	浜路浜	6.8～7.0			9.7	1.0	0	1.2	<1	1,100	
	舟津港	6.8～7.0			9.5	1.0	0	1.2	<1	2,000	
	青松ヶ浜	6.8～7.0			9.5	1.0	0	1.1	<1	2,400	
	高橋川河口付近	6.8～7.3			9.9	1.3	0	1.4	1	500	
檜原湖	◎湖	心	A	ロ	6.5～7.5	8.4	1.8	0	2.1	1	2,000
	湖北部	7.0～7.4			9.0	2.0	0	2.3	1	250	
	湖南部	7.1～7.5			9.0	2.0	0	2.2	1	1,300	
小野川湖	◎湖	心	A	ロ	7.1～7.5	9.1	2.0	0	2.3	1	1,200
	湖東部	7.1～7.7			9.1	2.1	0	2.3	1	1,800	
	湖西部	7.1～7.4			8.9	2.0	0	2.3	1	1,100	
秋元湖	◎湖	心	A	ロ	6.9～7.9	8.7	2.7	7	3.0	1	1,000
	湖東部	7.1～7.9			9.2	2.5	0	2.8	1	1,900	
	湖西部	7.0～7.8			9.1	2.5	14	2.9	1	260	
曾原湖	◎湖	心	A	ロ	7.0～7.4	8.4	2.6	0	3.0	1	12,000
雄国沼	◎湖	心	A	ロ	6.8～7.5	9.1	4.2	86	4.9	2	140
毘沙門沼	◎湖	心	A	ロ	6.7～6.9	9.0	1.5	0	1.6	1	1,200
羽鳥湖	◎湖	心	A	イ	6.9～8.1	9.2	2.0	0	2.2	1	83
東山ダム貯水池	◎東山ダムサイト		A	イ	6.5～9.1	7.3	3.3	59	3.7	1	110
千五沢ダム貯水池	◎千五沢ダムサイト		A	ニ	7.0～10	9.3	5.2	93	6.5	5	87
四時ダム貯水池	四時ダムサイト		—	—	6.9～8.9	8.3	2.5	—	2.7	3	1,100
三春ダム貯水池	三春ダムサイト		—	—	6.5～7.9	8.9	3.5	—	4.6	4	1,400
摺上川ダム貯水池	摺上川ダムサイト		—	—	6.5～7.5	9.7	2.0	—	2.2	1	74

※暫定目標値

千五沢ダム貯水池：COD5.0mg/L（平成27年度まで）

2) 全窒素及び全<sup>りん</sup>燐に係るもの

湖沼名	測定地点	類型	達成期間	全燐 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	
大川ダム貯水池	◎湖	心 III	イ	0.010	0.42	
尾瀬沼	湖	心 -	-	0.006	0.21	
奥只見貯水池	湖	心 -	-	0.005	0.12	
田子倉貯水池	湖	心 -	-	0.007	0.17	
沼沢湖	湖	心 -	-	0.003	0.12	
猪苗代湖	◎湖	心	II	イ	0.003	0.24
	小石ヶ浜水門				<0.003	0.21
	天神浜				0.007	0.17
	安積疏水取水口				0.003	0.20
	浜路浜				0.005	0.24
	舟津港				0.005	0.23
	青松ヶ浜				0.005	0.24
	高橋川河口付近				0.005	0.22
檜原湖	◎湖	心	II	イ	0.006	0.13
	湖北部				0.006	0.15
	湖南部				0.007	0.13
小野川湖	◎湖	心	II	イ	0.006	0.15
	湖東部				0.006	0.16
	湖西部				0.007	0.15
秋元湖	◎湖	心	II	イ	0.006	0.15
	湖東部				0.006	0.14
	湖西部				0.006	0.13
曾原湖	湖	心 -	-	0.008	0.14	
雄国沼	湖	心 -	-	0.013	0.28	
毘沙門沼	湖	心 -	-	0.006	0.07	
羽鳥湖	湖	心 -	-	0.005	0.15	
東山ダム貯水池	◎東山ダムサイト	II	ニ	0.014	0.32	
千五沢ダム貯水池	◎千五沢ダムサイト	III	ニ	0.066	0.74	
四時ダム貯水池	四時ダムサイト	-	-	0.021	0.54	
三春ダム貯水池	三春ダムサイト	-	-	0.031	0.70	
摺上川ダム貯水池	摺上川ダムサイト	-	-	0.008	0.21	

(注) 全燐、全窒素の測定結果は、表層の年平均値です。

※暫定目標値

東山ダム貯水池：全燐0.014mg/L (平成27年度まで)

千五沢ダム貯水池：全窒素0.96mg/L (平成27年度まで)

全燐 0.052mg/L (平成27年度まで)

**【参考】 生活環境の保全に関する環境基準（昭和46年12月環境庁告示第59号「水質汚濁に係る環境基準について」（最終改定 平成21年11月環境省告示第78号））**

○湖沼（天然湖沼及び貯水量が1,000万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上である人工湖）

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級・水産1級・自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	1 mg/L以下	1 mg/L以下	7.5 mg/L以上	50 MPN/ 100mL以下
A	水道2、3級・水産2級・水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3 mg/L以下	5 mg/L以下	7.5 mg/L以上	1,000 MPN/ 100mL以下
B	水産3級・工業用水1級・農業用水及びCの欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/L以下	15 mg/L以下	5 mg/L以上	—
C	工業用水2級・環境保全	6.0 以上 8.5 以下	8 mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L以上	—
備考 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質量の項目の基準値は適用しない。						

(注)

- 1 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
- 2 水道 1級 : ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
   〃 2・3級 : 沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産 1級 : ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用  
   〃 2級 : サケ科魚類およびアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産3級の水産生物用  
   〃 3級 : コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
- 4 工業用水1級 : 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの  
   〃 2級 : 薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
- 5 環境保全 : 国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度



b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全りん 燐
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの	0.1 mg/L以下	0.005 mg/L以下
Ⅱ	水道1、2、3級（特殊なものを除く。）、水産1種、水浴及びⅢ以下の欄に掲げるもの	0.2 mg/L以下	0.01 mg/L以下
Ⅲ	水道3級（特殊なもの）及びⅣ以下の欄に掲げるもの	0.4 mg/L以下	0.03 mg/L以下
Ⅳ	水産2種及びⅤの欄に掲げるもの	0.6 mg/L以下	0.05 mg/L以下
Ⅴ	水産3種、工業用水、農業用水、環境保全	1 mg/L以下	0.1 mg/L以下
備考 1 基準値は、年間平均値とする。 2 水域類型の指定は、湖沼植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある湖沼について行うものとし、全窒素の項目の基準値は、全窒素が湖沼植物プランクトンの増殖の要因となる湖沼について適用する。 3 農業用水については、全燐の項目の基準値は適用しない。			

(注)

- 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- 2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
 〃 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの  
 〃 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの（「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）
- 3 水産 1種：サケ科魚類およびアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用  
 〃 2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用  
 〃 3種：コイ、フナ等の水産生物用
- 4 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

## (2) 海域の水質測定結果

## 1. COD等に係るもの

海域名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	C O D			油分 (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
相双地区 地先海域	◎ 釣師浜漁港沖 約 2,000 m 付近	A	イ	8.1 ~ 8.2	8.6	1.9	17	2.0	N.D.	84
	◎ 真野川沖 約 2,000 m 付近			8.1 ~ 8.2	8.8	1.5	17	1.7	N.D.	270
	◎ 請戸川沖 約 2,000 m 付近			-	-	-	-	-	-	-
	東京電力(株)第一原子力発電所沖 約 1,000 m 付近			-	-	-	-	-	-	-
	東京電力(株)第二原子力発電所沖 約 1,000 m 付近			-	-	-	-	-	-	-
	東京電力(株)広野火力発電所沖 約 1,000 m 付近			8.1 ~ 8.1	8.9	1.6	17	1.9	N.D.	3.6
松川浦 海域	◎ 漁業権区域区 1号中央付近	A	イ	7.9 ~ 8.3	8.6	0.8	0	0.8	N.D.	410
	◎ 漁業権区域区 3号中央付近			7.9 ~ 8.3	8.8	0.7	0	0.9	N.D.	1100
	浦の出入口付近			8.0 ~ 8.2	8.7	0.7	0	0.8	N.D.	680
相馬港及 び相馬地 先海域	◎ 地蔵川沖 約 2,500 m 付近	A	イ	8.1 ~ 8.2	8.6	1.8	17	1.9	N.D.	130
	◎ 相馬港南防波堤 屈曲部西 約 200 m 付近			8.1 ~ 8.2	8.7	1.7	25	1.9	N.D.	84
原町市地 先海域	◎ 原町市特別 都市下水路沖 約 1,000 m 付近	A	イ	8.1 ~ 8.1	8.7	1.6	17	1.9	N.D.	1500
	◎ 新田川沖 約 1,000 m 付近			8.1 ~ 8.1	8.7	1.7	17	1.9	N.D.	620
	◎ 新田川沖 約 5,000 m 付近			8.1 ~ 8.2	8.7	1.8	17	1.9	N.D.	220
いわき市 地先海域	◎ 中之作港沖 約 1,000 m 付近	A	イ	8.1 ~ 8.2	8.9	1.3	0	1.8	N.D.	15
	◎ 豊間漁港沖 約 1,500 m 付近			8.1 ~ 8.2	8.9	1.1	0	1.6	N.D.	60
	◎ 夏井川沖 約 1,500 m 付近			8.1 ~ 8.2	9.0	1.1	0	1.6	N.D.	63
久之浜港	◎ A及びB防波堤 の接部から 西約 150 m 付近	B	イ	8.0 ~ 8.2	9.0	1.4	0	1.7	N.D.	-
四倉港	◎ 埠頭先東 約 30 m 付近	B	イ	8.0 ~ 8.2	9.0	1.3	0	1.7	N.D.	-
豊間漁港	◎ 中防波堤先端から 西約 30 m 付近	B	イ	8.0 ~ 8.2	9.5	1.3	0	1.4	N.D.	-
	◎ 漁港内中央付近			8.0 ~ 8.2	9.2	1.4	0	2.2	N.D.	-
江名港	◎ 東内防波堤 先端から北西 約 50 m 付近	B	イ	8.0 ~ 8.2	8.9	1.4	0	1.8	N.D.	-

海域名	測定地点	類型	達成期間	pH	DO (mg/L)	C O D			油分 (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
						年平均値 (mg/L)	超過率 (%)	75%値 (mg/L)		
中之作港	◎ 西防波堤先端から 南約200m付近	B	イ	8.1 ~ 8.2	9.2	1.4	0	1.9	N.D	—
小名浜港	◎ 四号埠頭先	B	イ	8.0 ~ 8.3	8.7	1.4	0	1.8	N.D	—
	西防波堤の北 第2の北約400m付近			8.0 ~ 8.3	8.7	1.6	0	2.3	—	—
	漁港区内			8.1 ~ 8.2	8.8	1.8	0	2.6	—	—
常磐沿岸 海	◎ 蛭田川沖南南東 約2,500m付近	A	イ	8.1 ~ 8.2	8.7	1.4	0	1.6	N.D	2300
	◎ 鮫川沖南 約2,000m付近			8.1 ~ 8.2	8.5	1.3	0	1.7	N.D	650
	◎ 照島の東南東 約800m付近			8.1 ~ 8.2	8.6	1.4	0	1.8	—	—
	◎ 蛭田川沖東 約1,000m付近			8.1 ~ 8.2	8.8	1.4	0	1.8	—	—
	◎ 勿来港外の 漁港区内			8.1 ~ 8.2	8.9	1.3	0	1.6	—	—
	◎ 小浜港外の 漁港区内			8.1 ~ 8.2	8.3	1.3	0	1.8	—	—
常磐沿岸 海 (小名浜港沖)	◎ 番所灯台から 真方位245度 線上2,000m付近	A	イ	8.1 ~ 8.2	8.9	1.3	0	1.7	N.D	510
	◎ 八崎灯台から 真方位115度 線上1,500m付近			8.1 ~ 8.2	8.9	1.2	0	1.7	N.D	2400

(注) 相双地区地先海域の測定地点のうち3地点については、原子力災害対策特別措置法に基づく旧警戒区域であるため測定を見合わせています。

2. 全窒素及び全燐に係るもの

海 域 名	測 定 地 点	類 型	達 成 期 間	全 燐 (mg/L)	全 窒 素 (mg/L)
相 双 地 区 地 先 海 域	釣 師 浜 漁 港 沖 約 2,000 m 付 近	-	-	0.019	0.22
	真 野 川 沖 約 2,000 m 付 近			0.013	0.15
	請 戸 川 沖 約 2,000 m 付 近			-	-
松 川 浦	◎ 漁 業 権 区 域 区 1 号 中 央 付 近	Ⅱ	イ	0.023	0.29
	◎ 漁 業 権 区 域 区 3 号 中 央 付 近			0.022	0.24
	浦 の 出 入 口 付 近			0.020	0.24
相 馬 港 及 び 相 馬 地 先 海 域	地 蔵 川 沖 約 2,500 m 付 近	-	-	0.012	0.16
	相 馬 港 南 防 波 堤 屈 曲 部 西 約 200 m 付 近			0.015	0.15
原 町 市 地 先 海 域	原 町 市 特 別 都 市 下 水 路 沖 約 1,000 m 付 近	-	-	0.012	0.19
	新 田 川 沖 約 1,000 m 付 近			0.012	0.14
	新 田 川 沖 約 5,000 m 付 近			0.010	0.16
い わ き 市 地 先 海 域	中 之 作 港 沖 約 1,000 m 付 近	-	-	0.020	0.25
	豊 間 漁 港 沖 約 1,500 m 付 近			0.019	0.22
	夏 井 川 沖 約 1,500 m 付 近			0.016	0.22
久 之 浜 港	A 及 び B 防 波 堤 の 接 部 か ら 西 約 150 m 付 近	-	-	0.016	0.22
四 倉 港	埠 頭 先 東 約 30 m 付 近	-	-	0.024	0.28
豊 間 漁 港	中 防 波 堤 先 端 か ら 西 約 30 m 付 近	-	-	0.025	0.26
	漁 港 内 中 央 付 近			0.021	0.26
江 名 港	東 内 防 波 堤 先 端 か ら 北 西 約 50 m 付 近	-	-	0.031	0.32
中 之 作 港	西 防 波 堤 先 端 か ら 南 約 200 m 付 近	-	-	0.023	0.24
常 磐 沿 岸 海 域	蛭 田 川 沖 南 南 東 約 2,500 m 付 近	-	-	0.027	0.31
	鮫 川 沖 南 約 2,000 m 付 近			0.025	0.30
	照 島 の 東 南 東 約 800 m 付 近			0.026	0.37
常 磐 沿 岸 海 域 (小 名 浜 港 沖)	番 所 灯 台 か ら 真 方 位 245 度 線 上 2,000 m 付 近	-	-	0.021	0.27
	八 崎 灯 台 か ら 真 方 位 115 度 線 上 1,500 m 付 近			0.021	0.29
小 名 浜 港	◎ 四 号 埠 頭 先	Ⅲ	ニ	0.030	0.44
	西 防 波 堤 第 2 の 北 約 400 m 付 近			0.039	0.65
	漁 港 区 内			0.032	0.40

(注) 全燐、全窒素の測定結果は、表層の年平均値です。

**【参考】 生活環境の保全に関する環境基準（昭和46年12月環境庁告示第59号「水質汚濁に係る環境基準について」（最終改定 平成21年11月環境省告示第78号））**

○海域

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)
A	水産1級・水浴・自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	2 mg/L以下	7.5 mg/L 以上	1,000 MPN/100mL以下	検出されないこと
B	水産2級・工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	3 mg/L以下	5 mg/L以上	—	検出されないこと
C	環境保全	7.0 以上 8.3 以下	8 mg/L以下	2 mg/L以上	—	—

備考

1 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100mL以下とする。

2 アルカリ性法とは次のものをいう。

試料50mLを正確に三角フラスコにとり、水酸化ナトリウム溶液（10w/v%）1mLを加え、次に過マンガン酸カリウム溶液（2mmol/L）10mLを正確に加えたのち、沸騰した水浴中に正確に20分放置する。その後よう化カリウム溶液（10w/v%）1mLとアジ化ナトリウム溶液（4w/v%）1滴を加え、冷却後、硫酸（2+1）0.5mLを加えてよう素を遊離させて、それを力価の判明しているチオ硫酸ナトリウム溶液（10mmol/L）ででんぷん溶液を指示薬として滴定する。同時に試料の代わりに蒸留水を用い、同様に処理した空試験値を求め、次式によりCOD値を計算する。

$$\text{COD (O}_2\text{mL/L)} = 0.08 \times [ (B) - (A) ] \times f\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3 \times 1,000/50$$

(A) : チオ硫酸ナトリウム溶液（10mmol/L）の滴定値（mL）

(B) : 蒸留水について行った空試験値（mL）

$f\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3$  : チオ硫酸ナトリウム溶液（10mmol/L）の力価

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
- 2 水産 1級 : マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用  
 // 2級 : ボラ、ノリ等の水産生物用
- 3 環境保全 : 国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全リン
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの。(水産2種及び3種を除く。)	0.2 mg/L以下	0.02 mg/L以下
Ⅱ	水産1種・水浴及び以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	0.3 mg/L以下	0.03 mg/L以下
Ⅲ	水産2種及びⅣの欄に掲げるもの(水産3種を除く。)	0.6 mg/L以下	0.05 mg/L以下
Ⅳ	水産3種・工業用水・生物生息環境保全	1 mg/L以下	0.09 mg/L以下
備考			
1 基準値は、年間平均値とする。			
2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。			

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全  
 2 水産 1種：底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される  
 // 2種：一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される  
 // 3種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される  
 3 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度

### (3) 水浴場の水質測定結果

#### 1) 遊泳期間前における水浴場の水質測定結果

番号	(ふりがな) 水浴場名	市町村名	調査 月日	水 質										判定	(参考) 平成25 年度
				ふん便性大腸菌 群数(個/100mL)			COD(mg/L)			pH		透明度 (m)	油 膜		
				最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最大 (平均)			
1	よつくら倉	いわき市	5/19 5/20	<2	56	21	1.6	2.3	1.9	8.2	8.2	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
2	なこそ来	〃	5/19 5/20	<2	<2	<2	1.5	2.3	2.0	8.1	8.3	>1 (>1)	無	水質 AA	水質A
3	ながはま浜	猪苗代町	5/16 5/19	<2	4	2	0.7	1.0	0.8	6.7	6.8	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
4	てんじんはま浜	〃	5/15 5/30	<2	<2	<2	0.8	0.9	0.9	5.7	6.6	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
5	しだはま浜	〃	5/15 6/2	<2	<2	<2	0.7	1.2	1.0	6.6	6.8	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
6	じょうこはま浜	〃	5/15 5/19	<2	<2	<2	0.8	0.9	0.9	6.6	6.8	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
7	きつかはま浜	会津若松市	5/16 5/30	<2	4	<2	1.0	1.6	1.2	6.6	6.7	>1 (>1)	無	水質 AA	水質A
8	なかだはま浜	〃	5/15 5/16	<2	<2	<2	0.8	1.0	0.9	6.7	6.7	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
9	こいしがはま浜	〃	5/15 5/16	<2	<2	<2	0.8	1.0	0.9	6.7	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
10	はまじはま浜	郡山市	5/13 5/20	<2	<2	<2	0.8	1.1	1.0	6.8	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
11	よこざわはま浜	〃	5/13 5/20	<2	<2	<2	1.0	1.7	1.4	6.6	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
12	たてはま浜	〃	5/13 5/20	<2	4	<2	0.7	1.5	1.1	6.8	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
13	ふなつはま浜	〃	5/13 5/20	<2	2	<2	0.7	1.6	1.2	6.8	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質A
14	ふなつこうえん	〃	5/13 5/20	<2	<2	<2	1.1	1.6	1.3	6.8	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
15	せいしょうひん	〃	5/13 5/20	<2	3	<2	1.0	1.3	1.2	6.9	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質A
16	あきやまはま浜	〃	5/13 5/20	<2	2	<2	0.5	1.5	1.1	6.8	6.9	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA

(注) 調査の実施主体は、1, 2がいわき市、10～16が郡山市、それ以外は福島県です。

## 2)遊泳期間中における水浴場の水質測定結果

番号	(ふりがな) 水浴場名	市町村名	調査 月日	水 質										判定	(参考) 平成25 年度
				ふん便性大腸菌 群数(個/100mL)			COD(mg/L)			pH		透明度 (m)	油 膜		
				最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最大 (平均)			
1	よつくら倉	いわき市	7/22 7/23	10	260	77	1.4	3.0	2.2	8.1	8.2	>1 (>1)	無	水質 B	水質A
2	なこそ来	〃	7/22 7/23	4	6	5	1.1	2.0	1.7	8.1	8.1	>1 (>1)	無	水質 A	水質 AA
3	ながはま浜	猪苗代町	7/29 7/30	2	52	31	1.1	1.9	1.5	6.9	6.9	>1 (>1)	無	水質 A	水質B
4	てんじんはま浜	〃	7/29 7/30	<2	8	5	1.3	1.8	1.7	6.8	7.0	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
5	しだはま浜	〃	7/29 7/30	<2	6	3	1.1	1.5	1.4	6.7	6.9	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
6	じょうこはま浜	〃	7/29 7/30	<2	4	3	1.3	1.5	1.5	6.7	6.9	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
7	きつかはま浜	会津若松市	7/29 7/30	<2	6	3	1.4	1.5	1.5	6.7	6.9	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
8	なかだはま浜	〃	7/29 7/30	<2	2	2	1.3	1.5	1.5	6.7	6.9	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
9	こいしがはま浜	〃	7/29 7/30	<2	8	4	1.3	1.7	1.5	6.7	7.0	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
10	はまじはま浜	郡山市	7/29 8/14	<2	2	<2	1.3	1.8	1.7	7.0	7.1	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
11	よこぎわはま浜	〃	7/29 8/14	<2	8	5	1.3	1.9	1.7	7.0	7.1	>1 (>1)	無	水質 A	水質 AA
12	たてはま浜	〃	7/29 8/14	<2	6	3	1.5	1.7	1.7	6.9	7.1	>1 (>1)	無	水質 A	水質 AA
13	ふなつはま浜	〃	7/29 8/14	<2	27	12	1.6	1.8	1.8	7.0	7.0	>1 (>1)	無	水質 A	水質A
14	ふなつこうえん	〃	7/29 8/14	<2	20	7	1.2	1.9	1.6	7.1	7.2	>1 (>1)	無	水質 A	水質 AA
15	せいしょうひん	〃	7/29 8/14	<2	2	<2	1.1	1.7	1.5	7.1	7.1	>1 (>1)	無	水質 AA	水質 AA
16	あきやまはま浜	〃	7/29 8/14	<2	3	2	1.3	2.0	1.7	7.0	7.1	>1 (>1)	無	水質 A	水質 AA

(注) 調査の実施主体は、1, 2がいわき市、10～16が郡山市、それ以外は福島県です。



**【参考】 水浴場水質判定基準（平成 26 年 3 月 25 日付け環水大水発第 1403253 号環境省  
水・大気環境局水環境課長通知）**

1. 判定については、下記の表に基づいて以下のとおりとする。

- (1) ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD 又は透明度のいずれかの項目が「不適」であるものを、「不適」な水浴場とする。
- (2) 「不適」でない水浴場について、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD及び透明度によって、「水質 AA」、「水質 A」、「水質 B」あるいは「水質 C」を判定し、「水質 AA」及び「水質 A」であるものを「適」、「水質 B」及び「水質 C」であるものを「可」とする。
  - ・ 各項目の全てが「水質 AA」である水浴場を「水質 AA」とする。
  - ・ 各項目の全てが「水質 A」以上である水浴場を「水質 A」とする。
  - ・ 各項目の全てが「水質 B」以上である水浴場を「水質 B」とする。
  - ・ これら以外のものを「水質 C」とする。

項目 区分		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA	不 検 出 (検出下限 2 個/100mL)	油膜が認められない	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	全透 (1m 以上)
	水質 A	100 個/100mL 以下	油膜が認められない	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	全透 (1m 以上)
可	水質 B	400 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	5mg/L 以下	1m 未満 ～50cm 以上
	水質 C	1,000 個/100ml 以下	常時は油膜が認められない	8mg/L 以下	1m 未満 ～50cm 以上
不適		1,000 個/100ml を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L 超	50cm 未満*

(注) 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

透明度(\*の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。

2. 「改善対策を要するもの」については以下のとおりとする。

- (1) 「水質 C」と判定されたもののうち、ふん便性大腸菌群数が、400 個/100mL を超える測定値が 1 以上あるもの。
- (2) 油膜が認められたもの。

資料50 管内別・業種別特定事業場数及び排水規制対象特定事業場数（平成26年度）

(1) 管内別特定事業場数及び排水規制対象特定事業場数

号番号	業種及び施設	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	福島市	郡山市	いわき市	計
1	鉱業・水洗炭業	— (—)	2 (1)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	2 (1)
1の2	豚房・牛房・馬房	178 (1)	117 (—)	186 (—)	212 (—)	4 (—)	135 (2)	34 (—)	132 (—)	38 (1)	1,036 (4)
2	畜産食料品	19 (3)	4 (—)	2 (1)	8 (—)	1 (—)	10 (2)	5 (3)	4 (1)	5 (—)	58 (10)
3	水産食料品	5 (1)	1 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	28 (—)	3 (—)	1 (—)	39 (2)	77 (3)
4	農産保存食料品	19 (5)	17 (7)	9 (2)	96 (4)	32 (1)	8 (2)	8 (4)	3 (—)	4 (2)	196 (27)
5	みそ・しょうゆ・調味料	25 (2)	33 (—)	6 (—)	36 (1)	4 (—)	7 (—)	10 (1)	10 (—)	6 (—)	137 (4)
6	小麦粉	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
7	砂糖	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
8	パン・菓子・製あん	2 (—)	4 (—)	2 (—)	1 (—)	— (—)	6 (—)	3 (—)	— (—)	1 (—)	19 (0)
9	米菓・こうじ	3 (—)	1 (—)	1 (1)	1 (1)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	6 (2)
10	飲料	15 (3)	30 (—)	11 (2)	45 (8)	6 (—)	5 (—)	4 (—)	8 (—)	3 (—)	127 (13)
11	動物系飼料・有機肥料	2 (—)	4 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	2 (—)	— (—)	2 (—)	— (—)	10 (0)
12	動植物油脂	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)	1 (—)	— (—)	1 (—)	2 (1)	— (—)	5 (1)
13	イースト	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
14	でん粉・化工でん粉	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
15	ぶどう糖・水あめ	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
16	めん類	2 (1)	7 (—)	— (—)	19 (—)	2 (—)	6 (—)	5 (2)	4 (—)	2 (—)	47 (3)
17	豆腐・煮豆	83 (—)	144 (—)	32 (—)	151 (—)	26 (—)	49 (—)	95 (1)	35 (2)	7 (—)	622 (3)
18	インスタントコーヒー	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
18の2	冷凍調理食品	5 (1)	4 (4)	1 (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	1 (1)	1 (—)	1 (—)	14 (7)
18の3	たばこ	— (—)	1 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (0)
19	紡績・繊維製品	6 (4)	15 (3)	1 (1)	8 (1)	— (—)	3 (1)	3 (1)	2 (—)	6 (—)	44 (11)
20	洗毛業	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
21	化学繊維	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
21の2	一般製材・木材チップ	— (—)	2 (—)	2 (1)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)	— (—)	— (—)	5 (1)
21の3	合板	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)	— (—)	1 (0)
21の4	パーティクルボード	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
22	木材薬品処理	1 (—)	7 (—)	— (—)	2 (2)	— (—)	5 (1)	2 (—)	3 (—)	13 (1)	33 (4)
23	パルプ・紙・紙加工品	1 (—)	1 (—)	3 (1)	— (—)	— (—)	1 (1)	— (—)	— (—)	3 (2)	9 (4)
23の2	新聞・出版・印刷・製版	4 (—)	5 (—)	1 (—)	2 (—)	— (—)	2 (—)	17 (—)	9 (1)	5 (—)	45 (1)
24	化学肥料	— (—)	— (—)	6 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	3 (2)	10 (3)
25	水銀電解か性ソーダ・カリ	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0 (0)
26	無機顔料	— (—)	1 (1)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (3)	4 (4)

号番号	業種及び施設	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	福島市	郡山市	いわき市	計
27	その他の無機化学工業製品	(-)	7 (6)	(-)	3 (3)	(-)	6 (2)	(-)	4 (2)	8 (5)	28 (18)
28	アセチレン誘導品	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
29	コールタール製品	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
30	発酵工業	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
31	メタン誘導品	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
32	有機顔料・合成染料	1 (1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (1)	(-)	2 (2)	4 (4)
33	合成樹脂	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	3 (3)	(-)	(-)	1 (1)	4 (4)
34	合成ゴム	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
35	有機ゴム薬品	(-)	2 (2)	(-)	(-)	(-)	1 (1)	(-)	(-)	(-)	3 (3)
36	合成洗剤	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
37	その他の石油化学工業	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (1)	1 (1)
38	石けん	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
38の2	界面活性剤	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
39	硬化油	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
40	脂肪酸	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
41	香料	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2 (1)	(-)	1 (1)	(-)	3 (2)
42	ゼラチン・にかわ	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
43	写真感光材料	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (1)	(-)	(-)	(-)	1 (1)
44	天然樹脂	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
45	木材化学工業	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
46	その他の有機化学工業製品	(-)	9 (6)	1 (1)	1 (1)	(-)	4 (4)	(-)	4 (4)	9 (9)	28 (25)
47	医薬品	(-)	8 (5)	1 (1)	1 (1)	(-)	3 (3)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	18 (14)
48	火薬	(-)	(-)	1 (1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (1)
49	農薬	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(-)	(-)	1 (-)	(-)	2 (-)	(-)	6 (3)
50	有害物質含有試薬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
51	石油精製	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
51の2	タイヤ・工業用ゴム	1 (-)	2 (2)	(-)	1 (-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	4 (2)
51の3	医療・衛生用ゴム	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (-)	(-)	(-)	(-)	1 (0)
52	皮革	1 (-)	1 (-)	(-)	1 (-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	3 (0)
53	ガラス・ガラス製品	4 (1)	30 (25)	9 (2)	8 (7)	(-)	1 (1)	2 (1)	6 (4)	2 (2)	62 (43)
54	セメント製品	12 (-)	19 (1)	10 (1)	11 (-)	4 (-)	11 (-)	5 (-)	11 (1)	12 (1)	95 (4)
55	生コンクリート	16 (-)	18 (1)	4 (-)	22 (1)	12 (-)	18 (6)	13 (4)	5 (-)	18 (1)	126 (13)
56	有機質砂壁材	(-)	2 (-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2 (0)
57	人造黒船電極	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0 (0)
58	窯業原料の精製	(-)	(-)	(-)	4 (1)	(-)	(-)	(-)	2 (-)	(-)	6 (1)
59	砕石	3 (-)	7 (-)	9 (2)	3 (-)	5 (-)	8 (-)	(-)	(-)	4 (2)	39 (4)

号番号	業種及び施設	県北地方 振興局	県中地方 振興局	県南地方 振興局	会津地方 振興局	南会津地 方振興局	相双地方 振興局	福島市	郡山市	いわき市	計
60	砂利採取	3 (-)	11 (-)	7 (-)	22 (3)	6 (-)	2 (1)	1 (-)	4 (-)	12 (-)	68 (4)
61	鉄鋼	3 (-)	1 (-)	-	1 (1)	-	-	1 (1)	1 (-)	-	7 (2)
62	非鉄金属	-	3 (3)	3 (-)	7 (6)	-	2 (1)	-	2 (1)	7 (6)	24 (17)
63	金属製品・機械器具	21 (10)	41 (20)	15 (4)	5 (4)	-	5 (-)	3 (3)	4 (2)	19 (11)	113 (54)
63の2	空きびん卸売業	-	-	-	1 (-)	-	-	-	1 (-)	-	2 (0)
63の3	石炭燃料火力発電施設	-	-	-	-	-	3 (3)	-	-	-	3 (3)
64	ガス供給・コークス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0 (0)
64の2	水道・工業用水道	1 (-)	3 (2)	1 (1)	4 (3)	-	4 (3)	1 (1)	3 (-)	8 (4)	25 (14)
65	酸・アルカリ表面処理	38 (10)	50 (27)	23 (15)	18 (10)	3 (-)	22 (10)	9 (2)	9 (5)	12 (9)	184 (88)
66	電気めっき	4 (2)	11 (10)	4 (4)	7 (7)	-	6 (5)	3 (3)	9 (9)	10 (9)	54 (49)
66の2	エチレンオキサイド又は 1, 4-ジオキサンの混合施設	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	-	1 (1)
66の3	旅館	104 (25)	345 (53)	123 (27)	683 (59)	384 (10)	226 (4)	186 (51)	181 (21)	142 (36)	2374 (286)
66の4	共同調理場	8 (2)	2 (-)	3 (1)	6 (-)	-	1 (-)	4 (3)	2 (2)	6 (4)	32 (12)
66の5	弁当仕出屋等	1 (1)	1 (1)	-	1 (1)	-	1 (1)	2 (-)	7 (5)	3 (1)	16 (10)
66の6	飲食店等	12 (2)	15 (8)	4 (1)	25 (4)	6 (6)	2 (1)	9 (3)	9 (-)	10 (4)	92 (29)
66の7	そば・うどん・すし店等	-	-	-	1 (-)	-	-	-	-	-	1 (0)
66の8	料亭・バー・キャバレー等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0 (0)
67	洗たく	51 (3)	64 (8)	40 (6)	107 (20)	8 (1)	54 (1)	46 (7)	56 (7)	52 (6)	478 (59)
68	写真現像	6 (1)	9 (-)	5 (5)	27 (1)	4 (-)	15 (3)	13 (3)	16 (4)	5 (1)	100 (18)
68の2	病院	1 (-)	6 (6)	2 (2)	4 (4)	-	1 (-)	-	7 (4)	3 (1)	24 (17)
69	と畜・へい獣取扱	-	2 (-)	1 (1)	4 (1)	-	-	-	1 (1)	-	8 (3)
69の2	中央卸売市場	-	-	-	-	-	-	1 (-)	-	1 (-)	2 (0)
69の3	地方卸売市場	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	2 (2)	3 (3)
70	廃油処理施設	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	1 (1)
70の2	自動車分解整備事業	-	1 (-)	-	2 (-)	-	-	2 (-)	7 (-)	1 (-)	13 (0)
71	自動式車両洗淨施設	64 (-)	67 (1)	59 (3)	97 (-)	12 (-)	77 (-)	111 (1)	161 (1)	67 (2)	715 (8)
71の2	科学技術の試験・研究機関	2 (-)	14 (9)	4 (2)	10 (5)	1 (-)	16 (7)	18 (8)	17 (12)	11 (8)	93 (51)
71の3	一般廃棄物の焼却処理施設	2 (-)	7 (4)	2 (1)	1 (-)	3 (-)	3 (-)	3 (2)	2 (1)	2 (2)	25 (10)
71の4	産業廃棄物処理施設	-	1 (1)	4 (1)	1 (-)	-	2 (1)	-	4 (2)	1 (-)	13 (5)
71の5	TCE・PCE・DCMの洗淨施設	19 (19)	34 (34)	7 (6)	5 (5)	3 (1)	4 (3)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	79 (75)
71の6	TCE・PCE・DCMの蒸留施設	2 (2)	3 (3)	-	-	-	-	-	-	-	5 (5)
72	し尿処理施設	44 (25)	69 (62)	73 (69)	46 (44)	13 (12)	36 (31)	24 (22)	39 (38)	41 (37)	385 (340)
73	下水道終末処理施設	4 (4)	6 (6)	4 (4)	25 (12)	3 (3)	15 (15)	2 (2)	2 (2)	4 (4)	65 (52)
74	特定事業場排水の処理施設	-	4 (3)	-	4 (4)	-	1 (-)	1 (1)	4 (4)	1 (-)	15 (12)
合計		799 (130)	1,276 (326)	683 (171)	1,751 (225)	543 (34)	826 (122)	656 (134)	807 (145)	622 (190)	7,963 (1,477)

(注) 排水規制対象特定事業場数は( )内数値です。水質汚濁防止法政令市：福島市、郡山市、いわき市

(2) 業種別特定事業場数及び排水規制対象特定事業場数

1. 特定事業場数

順位	業種（又は施設）名	事業所数	構成比 (%)	順位	業種（又は施設）名	事業所数	構成比 (%)
1	旅館業	2,374	29.8	7	窯業・土石製品製造業	336	4.2
2	食料品・たばこ製造業	1,319	16.6	8	表面処理・電気めっき施設	238	3.0
3	豚房・牛房・馬房	1,036	13.0	9	共同調理場・飲食店等	141	1.8
4	車両洗浄・自動車分解整備	728	9.1	10	金属・機械器具製造業	113	1.4
5	洗濯業	478	6.0		その他	815	10.2
6	し尿処理施設	385	4.8		合計	7,963	100

(注) 水質汚濁防止法政令市（福島市、郡山市、いわき市）分を含む

2. 規制対象特定事業場数

順位	業種（又は施設）名	事業所数	構成比 (%)	順位	業種（又は施設）名	事業所数	構成比 (%)
1	し尿処理施設	340	23.0	7	洗濯業	59	4.0
2	旅館業	286	19.4	8	金属・機械器具製造業	54	3.7
3	表面処理・電気めっき施設	137	9.3	9	下水道終末処理施設	52	3.5
4	化学工場	83	5.6	10	共同調理場・飲食店等	51	3.5
5	TCE・PCE・DCMの洗浄施設	75	5.1		その他	267	18.1
6	食料品・たばこ製造業	73	4.9		合計	1,477	100

(注) 水質汚濁防止法政令市（福島市、郡山市、いわき市）分を含む

3. 排水規制対象特定事業場の立入検査数の推移

	平成 21 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度
立入検査数	589	589	293	669	653	593

(注) 水質汚濁防止法政令市（福島市、郡山市、いわき市）分を含む

## 資料 5 1 浄化槽の設置状況

し尿処理施設は、平成 25 年度末現在で 23 施設 2,106kL/日の処理能力を有し、このほかコミュニティ・プラントとして 2 施設 5,540 人の処理能力があります。

また、処理状況は、排出量が 612,357kL で、このうち 610,876kL が収集され、し尿処理施設で 564,493kL、下水道投入で 46,383kL が処理されています。

平成 21 年度の水洗化人口は、1,787,668 人で、水洗化率は 87.1% となり、年々増加しています。

(※水洗化人口については、東日本大震災の影響により、平成 22 年度以降の統計がとれない市町村があるため、平成 21 年度における言及をしています。)

一方、浄化槽設置基数は、平成 25 年度末で 271,131 基で、平成 14 年をピークに減少傾向にあり、そのうち、単独処理浄化槽が、166,749 基 (61.5%)、合併処理浄化槽が、104,382 基 (38.5%) となっています。

また、人槽別では、10 人槽以下が 238,618 基と全体の 88% を占めています。

### (1) 浄化槽の設置状況の推移

年度	設置基数(基)			増加基数(基)		
	単独処理	合併処理	計	単独処理	合併処理	計
平成 2 年度	187,183	5,430	192,613	9,205	1,366	10,571
平成 3 年度	196,843	7,339	204,182	9,660	1,909	11,569
平成 4 年度	206,038	9,735	215,773	9,195	2,396	11,591
平成 5 年度	214,787	13,242	228,029	8,749	3,507	12,256
平成 6 年度	222,965	17,419	240,384	8,178	4,177	12,355
平成 7 年度	230,299	22,023	252,322	7,334	4,604	11,938
平成 8 年度	237,607	27,917	265,524	7,308	5,894	13,202
平成 9 年度	246,635	32,455	279,090	9,028	4,538	13,566
平成 10 年度	253,293	36,483	289,776	6,658	4,028	10,686
平成 11 年度	257,421	42,022	299,443	4,128	5,539	9,667
平成 12 年度	259,037	47,355	306,392	1,616	5,333	6,949
平成 13 年度	255,162	54,694	309,856	-3,875	7,339	3,464
平成 14 年度	250,030	60,957	310,987	-5,132	6,263	1,131
平成 15 年度	228,431	66,518	294,949	-21,599	5,561	-16,038
平成 16 年度	215,641	72,275	287,916	-12,790	5,757	-7,033
平成 17 年度	196,915	75,480	272,395	-18,726	3,205	-15,521
平成 18 年度	190,947	80,266	271,213	-5,968	4,786	-1,182
平成 19 年度	187,916	84,262	272,178	-3,031	3,996	965
平成 20 年度	184,988	87,271	272,259	-2,928	3,009	81
平成 21 年度	180,519	90,508	271,027	-4,469	3,237	-1,232
平成 22 年度	176,165	92,821	268,986	-4,354	2,313	-2,041
平成 23 年度	173,160	96,139	269,299	-3,005	3,318	313
平成 24 年度	168,618	99,489	268,107	-4,542	3,350	-1,192
平成 25 年度	166,749	104,382	271,131	-1,869	4,893	3,024

## (2) 地方振興局及び郡山市・いわき市別浄化槽設置状況（平成26年3月31日現在）

管 轄	人槽 区分	5～20	21～100	101～200	201～300	301～500	501～	合計
県 北	単 独	42,305	2,596	79	18	6	2	45,006
	合 併	25,716	1,374	280	119	103	77	27,669
	計	68,021	3,970	359	137	109	79	72,675
県 中	単 独	18,906	1,233	36	6	1	0	20,182
	合 併	11,992	743	177	65	45	59	13,081
	計	30,898	1,976	213	71	46	59	33,263
県 南	単 独	11,593	836	26	1	3	1	12,460
	合 併	7,163	434	73	49	33	76	7,828
	計	18,756	1,270	99	50	36	77	20,288
会 津	単 独	16,319	1,766	39	6	7	0	18,137
	合 併	11,643	662	173	105	73	62	12,718
	計	27,962	2,428	212	111	80	62	30,855
南 会 津	単 独	2,360	305	5	1	2	0	2,673
	合 併	1,905	141	43	21	17	18	2,145
	計	4,265	446	48	22	19	18	4,818
相 双	単 独	13,414	801	15	3	0	0	14,233
	合 併	13,400	751	141	51	50	30	14,423
	計	26,814	1,552	156	54	50	30	28,656
いわき市	単 独	36,346	2,550	47	5	2	3	38,953
	合 併	15,582	1,058	215	82	62	40	17,039
	計	51,928	3,608	262	87	64	43	55,992
郡 山 市	単 独	13,562	1,520	18	3	2	0	15,105
	合 併	8,377	821	138	59	35	49	9,479
	計	21,939	2,341	156	62	37	49	24,584
合 計	単 独	154,805	11,607	265	43	23	6	166,749
	合 併	95,778	5,984	1,240	551	418	411	104,382
	計	250,583	17,591	1,505	594	441	417	271,131

## 資料5 2 騒音規制法及び振動規制法に基づく地域別の特定施設設置等状況

### (1) 騒音規制法に基づく地域別の騒音特定施設設置状況（平成27年3月31日現在）

特定施設の種類の	県北	県中	県南	会津	相双	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	合計
1 金属加工機械	412	261	281	61	8	310	200	1,533
2 空気圧縮機及び送風機	2,138	357	608	812	202	1,256	751	6,124
3 土石、鉱物用破砕機等	34	13	42	19	0	39	35	182
4 織機	819	12	0	51	0	0	5	887
5 建設用資材製造機械	8	10	12	4	4	9	11	58
6 穀物用製粉機	2	0	0	0	0	14	0	16
7 木材加工機械	84	166	96	121	40	107	201	815
8 抄紙機	0	0	0	0	5	1	2	8
9 印刷機械	308	27	89	41	18	216	145	844
10 合成樹脂用射出成形機	188	46	136	115	0	52	93	630
11 鋳造機	36	0	4	0	1	10	19	70
施設数合計	4,029	892	1,268	1,224	278	2,014	1,462	11,167
工場数合計	377	111	169	162	81	313	220	1,433

### (2) 振動規制法に基づく地域別の振動特定施設設置状況（平成27年3月31日現在）

特定施設の種類の	県北	県中	県南	会津	相双	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	合計
1 金属加工機械	380	243	148	85	24	299	172	1,351
2 圧縮機	762	187	242	174	72	407	284	2,128
3 土石、鉱物用破砕機等	15	14	3	12	0	36	12	92
4 織機	663	12	0	19	0	1	0	695
5 コンクリートブロック マシン等	9	5	17	0	1	6	7	45
6 木材加工機械	5	0	2	11	4	2	21	45
7 印刷機械	118	27	19	6	4	80	54	308
8 ゴム練用又は 合成樹脂練用ロール機	31	0	24	0	0	0	3	58
9 合成樹脂用射出成形機	307	46	103	101	0	69	93	719
10 鋳造機	58	0	3	0	1	6	0	68
施設数合計	2,348	534	561	408	106	906	646	5,509
工場数合計	179	83	78	82	39	154	138	753



(3) 騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業の実施状況（平成26年度）

1. 騒音

特定施設作業の種類	県北	県中	県南	会津	相双	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	合計
1 くい打機・くい抜機等を使用する作業	1	1	1	1	2	2	5	13
2 錨打ち機を使用する作業	0	0	0	0	0	0	0	0
3 削岩機を使用する作業	25	2	4	2	5	34	31	103
4 空気圧縮機を使用する作業	0	1	0	0	1	1	0	3
5 コンクリートプラント等を設けて行う作業	0	0	0	0	0	0	0	0
6 バックホウを使用する作業	2	0	3	5	4	1	0	15
7 トラクターショベルを使用する作業	0	0	0	1	0	0	0	1
8 ブルドーザーを使用する作業	0	0	0	0	0	0	3	3
届出件数合計	28	4	8	9	12	38	39	138

2. 振動

特定施設作業の種類	県北	県中	県南	会津	相双	郡山市 (中核市)	いわき市 (中核市)	合計
1 くい打機を使用する作業	4	1	1	4	2	1	3	16
2 鋼球を使用して破壊する作業	0	0	0	0	0	0	0	0
3 舗装版破砕機を使用する作業	0	0	0	0	0	0	0	0
4 ブレーカーを使用する作業	21	2	4	4	6	24	20	81
届出件数合計	25	3	5	8	8	25	23	97

### 資料53 酸性雨モニタリング調査結果

ろ過式酸性雨採取装置による降雨のpHの推移(通年(4月～翌年3月))

調査地点 年度	福島 一降水全量	会津若松 一降水全量	郡山 一降水全量	いわき 一降水全量	羽鳥 一降水全量
平成10年度	4.4～6.9 5.4	4.6～6.4 5.1	5.0～6.6 5.3	4.3～7.8 4.7	4.6～5.7 5.0
平成11年度	—	4.5～6.8 5.1	4.8～6.2 5.3	4.3～6.9 5.1	4.4～5.5 4.9
平成12年度	—	4.4～6.5 5.0	4.2～6.3 4.8	4.0～5.7 4.7	4.3～5.7 4.7
平成13年度	—	4.1～7.1 4.6	4.7～5.7 4.6	4.1～6.4 4.7	4.3～5.1 4.6
平成14年度	—	4.2～7.1 4.9	4.3～6.4 4.7	4.4～6.6 4.7	4.1～5.2 4.6
平成15年度	—	4.4～6.5 4.8	4.4～6.9 4.7	4.2～6.3 4.8	4.5～6.0 4.8
平成16年度	—	4.3～6.0 4.7	4.2～6.0 4.7	4.2～6.4 4.7	4.4～6.1 4.7
平成17年度	—	4.2～5.6 4.9	4.2～6.1 4.6	4.0～5.5 4.5	4.2～5.0 4.5
平成18年度	—	4.2～6.3 4.9	4.5～6.6 5.0	4.1～6.0 4.8	4.4～5.6 4.8
平成19年度	—	4.2～6.4 4.7	4.4～6.4 4.9	4.1～5.7 4.6	4.3～5.2 4.6
平成20年度	—	4.5～7.2 4.8	4.6～6.1 5.0	4.2～6.1 4.8	4.4～5.7 4.7
平成21年度	—	4.4～5.9 4.8	4.5～6.1 4.9	4.3～6.3 5.1	5.6～4.5 4.8
平成22年度	—	4.5～6.5 4.9	4.7～6.4 5.1	4.5～6.6 5.1	4.7～6.5 5.0
平成23年度	—	4.5～6.7 4.9	4.4～5.8 5.2	4.6～5.9 5.1	4.5～5.8 5.0
平成24年度	—	4.3～6.2 5.0	4.4～6.5 5.1	4.2～5.8 5.1	4.4～6.7 4.9
平成25年度	—	4.6～6.2 4.9	4.7～6.3 5.1	4.3～6.6 5.0	4.8～6.1 4.9
平成26年度	—	4.4～5.9 4.8	4.3～6.2 5.1	4.5～6.2 5.0	4.7～5.7 5.2

(注) 1 調査場所 福島:衛生研究所屋上(福島市)、会津若松:会津保健福祉事務所屋上(会津若松市)、郡山:環境センター屋上(郡山市)、いわき:いわき市環境監視センター屋上(いわき市)  
羽鳥:羽鳥湖付近(天栄村)

2 調査主体 「いわき」の値はいわき市が、平成12年度以降の「郡山」の値は郡山市が調査したものです。

3 ろ過式酸性雨採取装置の採取期間は、原則として2週間です。羽鳥の採取期間は、原則として1ヶ月です。

4 ろ過式酸性雨採取装置は、雨水の長期モニタリングの装置で、DG(デポジットゲージ)にろ紙によるろ過機能を取り付け、原則として2週間に1回の割合で雨水を採取しています。

## 資料5 4 PRTR データの集計結果（平成 25 年度）

### (1) 集計結果の概要

平成 25 年度の届出のあった事業所は県内で 924 件（全国ベース：35,974 件 2.6%）であり、事業者から届出のあった当該事業者から環境への排出量は、全県・全事業所・全物質の総計で 3,404t（全国ベース：160,178t 2.1%）、廃棄物などとして事業所から移動した量の総計は、4,676t（全国ベース：215,491t 2.2%）で、これらの合計は 8,080t（全国ベース：375,668t 2.2%）でした。

国が推計を行った届出対象外の排出量（法対象以外の業種を営む事業者からの排出量や法対象業種でも届出要件に達しない量の化学物質の取扱いを行っている事業者からの排出量、さらには農地における農薬使用量や家庭からの排出量、及び自動車などの移動体からの排出量）の、県内の総計は、8,000t（全国ベース：400,728t 2.0%）でした。

### (2) 排出量等の集計結果

平成 25 年度（届出期間：平成 26 年 4 月 1 日から 6 月 30 日）に県内では 924 の事業所から届出がありましたが、地域別及び業種別の届出状況は、以下のとおりです。

#### 1) 地域・あて先別

あて先	県北地方振興局	県中地方振興局	県南地方振興局	会津地方振興局
防 衛 大 臣	1	1		
財 務 大 臣		2		
文部科学大臣	1			
厚生労働大臣	1	5	2	
農林水産大臣	3	4	1	3
経済産業大臣	175	210	88	105
国土交通大臣	4	5	2	21
環 境 大 臣	12	13	5	9
合 計	197	240	98	138

あて先	南会津地方振興局	相双地方振興局	いわき地方振興局	合 計
防 衛 大 臣				2
財 務 大 臣				2
文部科学大臣				1
厚生労働大臣			5	13
農林水産大臣		1	1	13
経済産業大臣	14	54	143	789
国土交通大臣	3	7	6	48
環 境 大 臣	3	8	6	56
合 計	20	70	161	924

## 2) 業種別

あて先名	届出数	該当する主な業種	主な届出事業者
防 衛 大 臣	2	国の機関または地方公務	自衛隊 2
財 務 大 臣	2	製造業(酒類製造業・たばこ製造業・塩製造業)	たばこ製造業 2
文部科学大臣	1	自然科学研究所、高等教育機関	県立医科大学 1
厚生労働大臣	13	製造業(医薬品・電子応用装置(医用)・医療用機械器具・医療用品)、洗濯業	医薬品製造業 9、医療業 2、医療用機械器具・医療用品製造業 1、洗濯業 1
農林水産大臣	13	製造業(食料品・飲料・飼料・農薬・木材・木製品)	食料品製造業 4、農薬製造業 4、自然科学研究所 4、木材・木製品製造業 1
経済産業大臣	789	金属鉱業、製造業(上記を除く)、電気業、ガス業、燃料小売業	燃料小売業 436、化学工業 48、電気機械器具製造業 47、金属製品製造業 28、輸送用機械器具製造業 29、窯業・土石製品製造業 24、非鉄金属製造業 20、石油卸売業 19、ゴム製品製造業 19、プラスチック製品製造業 18
国土交通大臣	48	下水道業、鉄道業、倉庫業、自動車整備業	下水道業(区市町村等)43、鉄道業 2、倉庫業 2、船舶製造・修理業、船用機関製造業 1
環 境 大 臣	56	一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る)、(特別管理)産業廃棄物処分業	一般廃棄物処理業(市町村・組合)46 産業廃棄物処分業 10
合 計	924		

※PRTR (Pollutant Release and Transfer Register : 化学物質排出移動量届出制度) とは、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組みです。

PRTRによって、毎年どんな化学物質が、どの発生源から、どれだけ排出されているかを知ることができるようになります。

**資料55 ダイオキシン類対策特別措置法などによる大気・水質基準適用施設**  
(平成27年3月31日現在)

(1) ダイオキシン類対策特別措置法などによる規制の概要

ダイオキシン類対策特別措置法（以下「特別措置法」という。）においては、廃棄物焼却炉など排出ガスを排出する施設及びパルプ製造用の塩素による漂白施設などの汚水又は廃液を排出する施設が特定施設として規制対象となり、ダイオキシン類の排出基準が設定されています。

また、福島県生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）においては、アルミニウム溶解炉などのばい煙指定施設のうち、燃料としてプラスチック又は廃棄物固形化燃料を使用するボイラーに、ダイオキシン類の排出基準が設定されています。

(2) 特定施設数及び事業場数の概要

1) 特別措置法による大気基準適用施設

自治体名 施設名	福島県 (除中核市)		郡山市		いわき市		合計	
	事業場数	施設数	事業場数	施設数	事業場数	施設数	事業場数	施設数
亜鉛回収施設	1	2	0	0	1	4	2	6
アルミニウム合金製造施設	4	27	0	0	1	1	5	28
廃棄物焼却炉	88	122	13	17	19	27	120	166
合計(注)	93	151	13	17	21	32	127	200

(注) 重複している事業所を除いた数。

2) 特別措置法による水質基準適用施設

自治体名 施設名	福島県(除中核市)		郡山市		いわき市		合計	
	事業場数	施設数	事業場数	施設数	事業場数	施設数	事業場数	施設数
クロロベンゼンまたはジクロロベンゼンの製造用の水洗施設等	0	0	0	0	1	2	1	2
2,3-ジクロロ-1,4-ナフトキノンの製造用のろ過施設等	1	3	0	0	0	0	1	3
アルミニウム合金製造用の施設の廃ガス洗浄施設等	2	2	0	0	0	0	2	2
亜鉛回収の施設の廃ガス洗浄施設等	1	4	0	0	1	6	2	10
廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設等	30	56	3	4	9	24	42	84
下水道終末処理施設	0	0	1	1	1	1	2	2
水質基準適用施設を有する事業場からの排水処理施設	1	1	0	0	1	1	2	2
合計(注)	34	66	4	5	10	34	48	105

(注) 重複している事業所を除いた数。

### 3) 条例による大気基準適用施設

施設名	自治体名		郡山市		いわき市		合計	
	事業場数	施設数	事業場数	施設数	事業場数	施設数	事業場数	施設数
ボイラー（燃料としてプラスチック又は廃棄物固形化燃料で廃棄物でないものを使用するものに限る。）	3	5	0	0	1	1	4	6
合計 <sup>(注)</sup>	3	5	0	0	1	1	4	6

(注) 事業所数の合計は実数。

## 資料56 ダイオキシン類調査（平成26年度）

### (1) 行政機関調査の検体数

区分	調査項目	福島県	福島市	郡山市	いわき市	国交省	計
1 環境モニタリング調査等	一般環境大気	20	—	2	4	—	26
	発生源周辺環境大気	36	—	—	—	—	36
	公共用水域(水質・底質)	36	10	6	21	8	81
	地下水	5	—	2	4	—	11
	一般環境土壌	5	—	1	2	—	8
	発生源周辺土壌	54	—	2	—	—	56
2 排出状況調査	煙道排ガス	11	—	2	8	—	21
	特定施設等設置事業場排水	3	—	1	1	—	5
3 廃棄物最終処分場調査	一般廃棄物最終処分場	周縁地下水	1	—	—	—	1
		放流水	1	—	—	1	2
	産業廃棄物最終処分場放流水等	22	—	—	3	—	25
合計		194	10	16	44	8	272

### (2) 行政機関調査の結果

区分	調査項目	検体数	測定値	評価※1	
1 環境モニタリング調査等	一般環境大気	26	0.0061～0.034 pg-TEQ/m <sup>3</sup> (年平均値)	大気環境基準を達成 (0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	
	発生源周辺環境大気	36	0.0081～0.048 pg-TEQ/m <sup>3</sup> (年平均値)	同上	
	公共用水域(水質・底質)		81	0.026～0.51pg-TEQ/L	水質環境基準を達成 (1pg-TEQ/L)
				0.090～9.4pg-TEQ/g	底質の環境基準を達成 (150pg-TEQ/g)
	地下水	11	0.023～0.056pg-TEQ/L	地下水の水質環境基準を達成 (1pg-TEQ/L)	
	一般環境土壌	8	0.000033～2.7pg-TEQ/g	土壌環境基準を達成 (1,000pg-TEQ/g)	
発生源周辺土壌	56	0.018～55pg-TEQ/g	同上		
2 排出状況調査	煙道排ガス	21	0～5.3ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	20施設で排出基準以下 1施設で排出基準超過	
	特定施設等設置事業場排水	5	0.000018～1.3pg-TEQ/L	排出基準以下 (10pg-TEQ/L)	
3 廃棄物最終処分場調査	一般廃棄物最終処分場	周縁地下水	1	0pg-TEQ/L	水質環境基準を達成 (1pg-TEQ/L)
		放流水	2	0～0.000046pg-TEQ/L	放流水の維持管理基準値以下 (10pg-TEQ/L)
	産業廃棄物最終処分場放流水等	25	0～1.3pg-TEQ/L	同上 21施設が基準適用	
合計		272			

※1 ( )内は基準値

(3) 事業者の自主測定結果

1) 排出ガス

(施設数)

自治体名	報告対象	報告	未報告	基準超過
福島県	117	116	1※ <sup>1</sup>	0
郡山市	15	15	0	0
いわき市	32	32	0	0
合計	164	163	1	0

2) 排水

(工場・事業場数)

自治体名	報告対象	報告	未報告	基準超過
福島県	7	7	0	0
郡山市	3	3	0	0
いわき市	10	10	0	0
合計	20	20	0	0

3) ばいじん及び焼却灰

ア ばいじん

(施設数)

自治体名	報告対象	報告	未報告	基準超過
福島県	72	71	1※ <sup>1</sup>	0
郡山市	9※ <sup>2</sup>	9	0	0
いわき市	16	16	0	0
合計	97	96	1	0

イ 焼却灰

(施設数)

自治体名	報告対象	報告	未報告	基準超過
福島県	89	88	1※ <sup>1</sup>	0
郡山市	14※ <sup>2</sup>	14	0	0
いわき市	17	17	0	0
合計	120	119	1	0

※1 未報告の事業者に対しては、既に施設の使用を廃止しているとのことから、試用廃止届出書を提出するよう指導しています。

※2 震災の影響により測定ができない状況である1施設は報告対象施設に計上していません。



## 資料57 化学物質排出実態調査（平成26年度）

### （1） 調査結果（大気）

N,N-ジメチルホルムアミド（A社）

調査地点	一般環境大気		周辺環境大気	
	いわき市環境 監視センター (住居地域)	いわき市役所 三和支所 (郊外)	A社（いわき市） 風上	A社（いわき市） 風下
調査年月日	H26.10.15～10.16		H26.10.16～10.17	
N,N-ジメチルホルムアミド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	0.05	0.05	0.35	1.6

N,N-ジメチルホルムアミド（B社）

調査地点	一般環境大気		周辺環境大気	
	常磐公民館 (住居地域)	いわき市役所 三和支所 (郊外)	B社（いわき市） 風上	B社（いわき市） 風下
調査年月日	H26.12.10～12.11		H26.12.9～12.10	
N,N-ジメチルホルムアミド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	<0.02	0.02	0.02	0.04

### （2） 調査結果（水質）

N,N-ジメチルホルムアミド（A社）

調査地点	公共用水域	放流水
	(小名浜港)	A社（いわき市）
調査年月日	H26.10.17	
pH	8.0	6.9
SS (mg/L)	<1	6
N,N-ジメチルホルムアミド ( $\mu\text{g}/\text{L}$ )	<0.05	0.10

N,N-ジメチルホルムアミド（B社）

調査地点	公共用水域		放流水
	水野谷川上流	藤原側下流	B社（いわき市）
調査年月日	H26.12.9		
pH	7.6	7.5	7.6
SS (mg/L)	2	4	6
N,N-ジメチルホルムアミド ( $\mu$ g/L)	<0.05	0.38	0.06

チオ尿素（C社）

調査地点	公共用水域		放流水
	藤原川上流	藤原川下流	C社（いわき市）
調査年月日	H26.8.26		
pH	7.1	7.1	6.8
SS (mg/L)	9	9	20
チオ尿素 (mg/L)	<0.1	0.3	5.5

資料58 公害苦情

(1) 市町村別公害苦情件数（平成26年度）

市町村名		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	7公害以外	合計
県北	福島市	1	10		18			6		(0) 35
	二本松市				2			4	5	(0) 11
	伊達市				4			3		(0) 7
	川俣町		2							(0) 2
小計		(0) 1	(0) 12	(0) 0	(0) 24	(0) 0	(0) 0	(0) 13	(0) 5	(0) 55
県中	郡山市	21	4		36	1		15	93	(0) 170
	須賀川市	8	13		4	1	1	8	99	(0) 134
	田村市				1					(0) 1
	天栄村								1	(0) 1
	石川町				1					(0) 1
	玉川村							1		(0) 1
	平田村				1					(0) 1
	浅川町				1					(0) 1
小計		(0) 29	(0) 17	(0) 0	(0) 44	(0) 2	(0) 1	(0) 24	(0) 193	(0) 310
県南	白河市		2		4			5	1	(0) 12
	中島村							1		(0) 1
	矢吹町				5					(0) 5
	棚倉町							3		(0) 3
小計		(0) 0	(0) 2	(0) 0	(0) 9	(0) 0	(0) 0	(0) 9	(0) 1	(0) 21
会津	会津若松市	12	(1) 2		10			(3) 11	6	(4) 41
	喜多方市		(1) 1							(1) 1
小計		(0) 12	(2) 3	(0) 0	(0) 10	(0) 0	(0) 0	(3) 11	(0) 6	(5) 42
相双	相馬市	(2) 6	2		6			(1) 3	2	(3) 19
	南相馬市	(2) 3	(3) 4		2	(1) 1	1	3	117	(6) 131
小計		(4) 9	(3) 6	(0) 0	(0) 8	(1) 1	(0) 1	(1) 6	(0) 119	(9) 150
いわき市		28	15		30	3		49	1	(0) 126
計		(4) 79	(5) 55	(0) 0	(0) 125	(1) 6	(0) 2	(4) 112	(0) 325	(14) 704

(注) 1 ( )は各地方振興局で受け付けた件数です。(内数)  
 2 苦情がなかった市町村は掲載していません。

(2) 公害の発生源別苦情件数(平成26年度)

	典 型 7 公 害								典 型 7 公 害 以 外	合 計	構 成 比 (%)
	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 盤 沈 下	悪 臭	計			
農 業	1	5	-	2	-	-	12	20	1	21	3.0%
林 業	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0.1%
漁 業	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	0.1%
鉱 業	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	0.1%
建設業	14	2	-	35	4	-	4	59	10	69	9.8%
製造業	13	12	-	15	1	-	34	75	2	77	10.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	0.1%
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0.1%
運輸業	4	1	-	4	-	-	1	10	1	11	1.6%
卸売・小売業	-	1	-	5	-	-	1	7	6	13	1.8%
金融・保険業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
不動産業	-	-	-	1	-	-	-	1	5	6	0.9%
飲食店・宿泊業	-	-	-	12	-	-	5	17	3	20	2.8%
医療・福祉	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0.1%
教育・学習支援業	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	0.4%
複合サービス事業	-	-	-	1	-	-	1	2	1	3	0.4%
サービス業	4	5	-	13	-	-	6	28	1	29	4.1%
公 務	-	1	-	3	-	-	-	4	7	11	1.6%
分類不能の産業	1	-	-	1	-	-	2	4	2	6	0.9%
発生源が「個人」、「不明」	42	27	-	31	1	2	46	149	280	429	60.9%
合 計	79	55	-	125	6	2	112	379	325	704	100.0%

(3) 公害の種類別苦情件数の推移及び構成比

年度	種類	典 型 7 公 害								典 型 以 外 7 公 害	合 計	前 年 比 %
		大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 盤 沈 下	悪 臭	計			
苦 情 件 数	平成22年度	73	61	3	120	7	0	127	391	134	525	△9.8
	平成23年度	65	59	1	75	9	0	95	304	198	502	△4.4
	平成24年度	90	50	1	125	15	0	105	386	383	769	53.2
	平成25年度	91	61	2	117	6	1	92	370	368	738	△4.0
	平成26年度	79	55	0	125	6	2	112	379	325	704	△4.6
構 成 比 %	平成22年度	13.9	11.6	0.6	22.9	1.3	0.0	24.2	74.5	25.5	100	
	平成23年度	12.9	11.8	0.2	14.9	1.8	0.0	18.9	60.6	39.4	100	
	平成24年度	11.7	6.5	0.1	16.3	2.0	0.0	13.7	50.2	49.8	100	
	平成25年度	12.3	8.3	0.2	15.9	0.8	0.1	12.5	50.1	49.9	100	
	平成26年度	11.2	7.8	0.0	17.8	0.9	0.3	15.9	53.8	46.2	100	

(4) 典型7公害に係る被害の種類別苦情件数の推移及び構成比

種類 年度		健康被害	財産被害	動・植物被害	感覚的・ 心理的被害	その他	典型7公害 の苦情件数
苦 情 件 数	平成22年度	23	7	2	342	17	391
	平成23年度	17	10	4	250	23	304
	平成24年度	23	3	6	323	31	386
	平成25年度	6	6	4	316	38	370
	平成26年度	12	2	1	325	39	379
構 成 比 %	平成22年度	5.9	1.8	0.5	87.5	4.3	100
	平成23年度	5.6	3.3	1.3	82.2	7.6	100
	平成24年度	6.0	0.8	1.6	83.7	8.0	100
	平成25年度	1.6	1.6	1.1	85.4	10.3	100
	平成26年度	3.2	0.5	0.3	85.8	10.3	100

(5) 公害苦情処理係属件数の推移

区分 年度	公害苦情処 理係属件数 (A)=(B)+ (C)-(E)	受 理 件 数		処 理 件 数				処理率 (D)÷(A)× 100(%)
		新規直接受 理件数 (B)	前年度 から繰越 (C)	直接処理 (D)	他へ移送 (E)	翌年度へ 繰越 (F)	その他 (G)	
平成22年度	554	525	37	497	8	36	21	89.7
平成23年度	535	502	44	483	11	34	18	90.3
平成24年度	793	769	34	744	10	27	22	93.8
平成25年度	746	738	19	606	11	22	118	81.2
平成26年度	727	717	19	568	9	17	142	78.1

(注) 1 (G)欄の「その他」の主なもの、「原因又は加害行為をした者が不明のとき」などです。

2 前年度の(F)欄の「翌年度へ繰越」と翌年度の(C)欄の「前年度からの繰越」の件数の差は、繰越で処理していたが、その後の苦情が発生しないため既に解決したこととして取り扱うものなどがあるからです。

(6) 地区別公害苦情件数の推移及び構成比

年度	件 数								構 成 比 (%)							
	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	合計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	合計
平成22年度	32	208	20	64	2	95	104	525	6.1	39.6	3.8	12.2	0.4	18.1	19.8	100
平成23年度	49	235	10	44	3	83	78	502	9.8	46.8	2.0	8.8	0.6	16.5	15.5	100
平成24年度	70	301	18	45	4	228	103	769	9.1	39.1	2.3	5.9	0.5	29.6	13.4	100
平成25年度	44	353	16	44	-	162	119	738	6.0	47.8	2.2	6.0	0.0	22.0	16.1	100
平成26年度	55	310	21	42	-	150	126	704	7.8	44.0	3.0	6.0	0.0	21.3	17.9	100

資料59 工場・事業場における環境汚染事故の発生件数の推移

(内容) (振興局) \ (年度)	大気汚染					水質汚濁					悪臭					合計				
	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26
北 北						4	5	3	4	0						4	5	3	4	
中 中		1				5	2	1	1	2						5	3	1	1	
南 南							4	3	2	2						0	4	3	2	
津 津							3	5	13	4						0	3	5	13	
会 津							2	0	0	1						0	2	0	0	
相 双						1	6	0	0	7						1	6	0	0	
い わ						3		0	0	0						3	0	0	0	
郡 山 市									0	0						0	0	0	0	
計	0	1	0	0	0	13	22	12	20	16	0	0	0	0	0	13	23	12	20	0

資料60 公害防止管理者等選任届出の状況(平成27年3月31日現在)

業種	項目 選任特定工場	公害防止統括者	主任管理者	合計	公害防止管理者															
					計	大気関係				計	水質関係				騒音関係	振動関係	特定粉じん関係	一般粉じん関係	ダイオキシン類関係	
						第1種	第2種	第3種	第4種		第1種	第2種	第3種	第4種						
製造業	388	289	22	512	165	24	18	32	91	180	29	128	5	18	32	28	0	98	9	
電気供給業	8	7	2	15	9	2	0	7	0	4	3	0	1	0	0	0	0	2	0	
ガス供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計	396	296	24	527	174	26	18	39	91	184	32	128	6	18	32	28	0	100	9	

【参考】 工場立地件数

業種	H25.1~12			業種	H26.1~12		
	特定工場	その他工場	計		特定工場	その他工場	計
食料品	1	9	10	食料品	2	1	3
飲料		1	1	飲料	0	0	0
繊維	2		2	繊維	0	2	2
木材	2	1	3	木材	1	0	1
家具	1		1	家具	0	1	1
パルプ・紙	3		3	パルプ・紙	1	0	1
印刷			0	印刷	0	2	2
化学	3	1	4	化学	7	3	10
石油・石炭	1	1	2	石油・石炭	0	0	0
プラスチック	5	1	6	プラスチック	1	0	1
ゴム			0	ゴム	2	0	2
皮革		1	1	皮革	0	0	0
窯業・土石	2	4	6	窯業・土石	1	1	2
鉄鋼	1	1	2	鉄鋼	1	0	1
非鉄		1	1	非鉄	1	0	1
金属	7	7	14	金属	5	4	9
はん用機械	2	3	5	はん用機械	2	0	2
生産用機械	5	9	14	生産用機械	4	4	8
業務用機械	4	4	8	業務用機械	5	2	7
電子・デバイス	1		1	電子・デバイス	0	1	1
電気機械	5	4	9	電気機械	0	5	5
情報通信機械		1	1	情報通信機械	2	0	2
輸送機械	7		7	輸送機械	4	3	7
その他	1		1	その他	0	2	2
計	53	49	102		39	31	70

企業立地課調べ

## 資料 6 1 警察における公害苦情処理状況 環境事犯の取締り

### (1) 警察における公害苦情処理状況

公害苦情処理状況は表のとおりであり、総数は 1,960 件で前年対比 54 件増加しました。態様別では騒音の苦情件数が 1,795 件で、全体の 91.5%を占めました。

警察に寄せられた苦情のうち、法令違反が認められるものについては、検挙または警告を行い、また、行政措置を必要とするものについては、市町村、振興局等の関係機関に引き継いで処理しました。

#### 1. 受理状況

項目	年別件数 態様別	平成 25 年中		平成 26 年中		比較増減 (件)
		件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	
受理 状 況	大 気 汚 染	0	0	0	0	0
	水 質 汚 染	2	0.1	5	0.3	3
	土 壌 汚 染	0	0	0	0	0
	騒 音	1,797	94.3	1,795	91.5	△2
	地 盤 沈 下	0	0	0	0	0
	振 動	0	0	0	0	0
	悪 臭	0	0	2	0.1	2
	廃 棄 物	107	5.6	158	8.1	51
	計	1,906	100	1,960	100	54

#### 2. 処理状況

項目	年別件数 態様別	平成 25 年中		平成 26 年度中		比較増減 (件)
		件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	
処理 状 況	話 し 合 い 等	58	3.0	84	4.3	1
	警 告	1,002	52.6	1067	54.4	△33
	検 挙	7	0.4	15	0.8	8
	他 機 関 移 送	25	1.3	7	0.4	△18
	措 置 不 能	801	42.0	786	40.1	△43
	検 討 中	13	0.7	1	0.0	△12
	計	1,906	100	1,960	100	△97

(注) △印は減少を示します。

## (2) 環境事犯の取締り

警察では、県民生活の環境保全に寄与する立場から、悪質な産業廃棄物事犯に重点を指向して取締りを推進しました。

その結果、平成 26 年の検挙件数は 56 件でした。

### 1. 態様別検挙状況

態様別	平成 25 年中		平成 26 年中		比較増減 (件)
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	
廃棄物	73	100	56	100	△17
大気汚染	0	0	0	0	0
水質汚染	0	0	0	0	0
悪臭	0	0	0	0	0
合計	73	100	56	100	△17

### 2. 法令別検挙状況

態様別	平成 25 年中		平成 26 年中		比較増減 (件)
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	
廃棄物処理法	73	100	56	100	△17
大気汚染防止法	0	0	0	0	0
水質汚濁防止法	0	0	0	0	0
県生活環境の保全等に関する条例	0	0	0	0	0
郡山市廃棄物の適正処理・再利用及び環境美化に関する条例	0	0	0	0	0
放射性物質汚染対処特措法	0	0	0	0	0
合計	73	100	56	100	△17

### 3. 公害事犯の今後の取組

公害問題が逐次改善されている中で、産業廃棄物の不法投棄や有害廃棄物事案などが社会問題化し、県民の生活環境に重大な影響を与えています。

そのため、警察では、産業廃棄物の処理に関する事犯に重点を指向した取締りを推進し、生活環境の保全に寄与することとしています。



## 資料62 環境影響評価法に基づく環境影響評価の実施状況

(平成27年3月31日現在)

	配慮書		方法書		準備書		評価書	計
	提出	知事意見通知	提出	知事意見通知	提出	知事意見通知	公告	
平成12年度	-	-					1	1
平成13年度	-	-	2	2				4
平成14年度	-	-			1	1		2
平成15年度	-	-			1	1		2
平成16年度	-	-	1	1			1	3
平成17年度	-	-						0
平成18年度	-	-						0
平成19年度	-	-						0
平成20年度	-	-	2		1	1		4
平成21年度	-	-		2				2
平成22年度	-	-	1	1				2
平成23年度	-	-	1	1				2
平成24年度	-	-	1		1	1		3
平成25年度				1	1	1		3
平成26年度	6	5	2	2			1	16
計	6	5	10	10	5	5	3	44

## 福島県環境影響評価条例に基づく環境影響評価の実施状況

(平成27年3月31日現在)

	方法書		準備書		評価書		適用除外認定	計
	提出	知事意見通知	提出	知事意見通知	提出	知事意見通知		
平成12年度	3	3				-		6
平成13年度	4	4				-		8
平成14年度	5	5	5	4	1	-		20
平成15年度	2	1	2	2	4	-		11
平成16年度	1	3	3	2	1	-		10
平成17年度	2	1	3	3	3	-		12
平成18年度		1	1	3	2	2		9
平成19年度	1	1	1	1	3	2		9
平成20年度	1					1		2
平成21年度	1	2						3
平成22年度	1	1	1					3
平成23年度			1	1	1	1	1	5
平成24年度	2	2	2	3	2	2	2	15
平成25年度			2	1	2	2	4	11
平成26年度	2	2	2	1			7	14
計	25	26	23	21	19	10	14	138

※上表中「適用除外認定」とは、①復旧事業(災害の復旧又は防止のために緊急に実施する必要があると知事が認める事業)、  
②復興事業(東日本大震災からの円滑かつ迅速な復興に特に必要と認められる事業)に該当する場合に、条例の適用が除外されることを認められた件数を示す。

## 資料63 景観法及び福島県景観条例に基づく行為の届出受理件数(平成27年3月31日現在)

### (1) 景観形成重点地域における行為の届出受理件数

(単位：件)

年度	建築物	工作物	土地	鉱物	物品	木竹の伐採	合計
平成13年度	11	100	1	0	2	0	114
平成14年度	26	207	6	0	2	0	241
平成15年度	22	100	3	0	0	3	128
平成16年度	11	116	3	0	3	2	135
平成17年度	11	89	1	0	1	0	102
平成18年度	18	149	4	0	0	2	173
平成19年度	12	159	2	0	1	3	177
平成20年度	6	132	1	0	0	1	140
平成21年度	12	68	2	0	0	5	87
平成22年度	19	74	3	0	0	2	98
平成23年度	22	36	0	0	0	1	59
平成24年度	3	19	0	0	0	0	22
平成25年度	16	106	0	0	0	3	125
平成26年度	13	40	1	0	0	1	55

注1 平成21年度は年度途中で制度変更があり、景観法に基づく届出は平成21年10月1日から。

- 建築物： 床面積の合計が10㎡を超える建築物の新築、改築、増築、移転、外観の模様替え又は色彩の変更
- 工作物： 高さ1.5mを超える塀類、高さ5mを超える電線路等の支持物、高さ5m又は表示面積5㎡を超える広告塔類、高さ5m又は築造面積10㎡を超えるその他の工作物の新築、改築、増築、移転、外観の模様替え又は色彩の変更
- 土地： 面積300㎡かつ法面の高さ1.5mを超える法面を生ずる土地の造成(都市計画法に基づく開発行為を含む)
- 鉱物： 面積300㎡かつ法面の高さ1.5mを超える法面を生ずる鉱物・土石の掘採
- 物品： 高さ1.5mかつ面積100㎡を超える屋外での物品の集積・貯蔵
- 木竹の伐採： 高さ10mかつ面積300㎡を超える材木の伐採

### (2) 行為の届出受理件数(重点地域を除く)

(単位：件)

年度	建築物	工作物	土地	鉱物	物品	合計
平成12年度	211	747	73	46	26	1,103
平成13年度	118	413	55	52	24	662
平成14年度	92	297	37	58	38	522
平成15年度	109	370	29	38	33	579
平成16年度	111	515	35	35	36	732
平成17年度	82	617	30	32	22	783
平成18年度	75	767	40	26	22	930
平成19年度	72	393	19	28	19	531
平成20年度	65	337	33	26	15	476
平成21年度	36	296	28	19	6	385
平成22年度	43	396	37	14	3	493
平成23年度	41	224	25	14	1	305
平成24年度	53	229	29	27	8	346
平成25年度	73	204	55	25	9	366
平成26年度	48	137	60	35	22	302

注1 平成21年度は年度途中で制度変更があったため、「旧条例に基づく大規模行為+景観法に基づく届出(重点地域以外)」数を記載している  
(景観法に基づく届出は平成21年10月1日から)

- 建築物： 高さ13m又は建築面積1,000㎡を超える建築物の新築、改築、増築、移転、外観の模様替え又は色彩の変更
- 工作物： 高さ5mを超える塀類、高さ20mを超える電線路等の支持物、高さ13m又は表示面積15㎡を超える広告塔類、高さ13m又は築造面積1,000㎡を超えるその他の工作物の新築、改築、増築、移転、外観の模様替え又は色彩の変更
- 土地： 面積3,000㎡を超える土地の造成又は高さ5m及び長さ10mを超える法面を生ずる土地の造成(都市計画法に基づく開発行為を含む)
- 鉱物： 面積3,000㎡を超える鉱物・土石の掘採又は高さ5m及び長さ10mを超える法面を生ずる鉱物・土石の採掘
- 物品： 高さ3m又は面積500㎡を超える屋外での物品の集積・貯蔵

資料64 優良景観形成住民協定一覧(平成27年3月31日現在)

番号	協 定 名 称	市町村	認 定 年月日
1	景観に美しい曾原・狐鷹森地域づくり協定	北塩原村	H13. 6. 28
2	ほんとの空とお城山が美しく見える景観づくり協定	二本松市	H14. 2. 15
3	喜多方駅前通りまちづくり協定	喜多方市	H14. 3. 15
4	あだたら高原・岳温泉うつくしい景観づくり協定	二本松市	H15. 3. 7
5	さわやかな風と美土里おりなすまちづくり協定	浪江町	H15. 12. 17
6	猪苗代湖と磐梯山が美しく見える志田浜づくり協定	猪苗代町	H15. 12. 17
7	四季の磐梯山が美しく見えるスキー場景観づくり協定	磐梯町他	H15. 12. 17
8	梁川町川北地区「蔵の風情を取り入れた和風のまちなみづくり」協定	伊達市	H17. 1. 20
9	磐梯町七ツ森地区「磐梯の麓、自然環境との共生を体感できるまちづくり」協定	磐梯町	H17. 3. 28
10	猪苗代町不動地区「不動ヴィレッジ美しい景観づくり」協定	猪苗代町	H17. 3. 28
11	裏磐梯川上温泉美しいまちづくり協定	猪苗代町	H17. 8. 10
12	喜多方仲町商店街景観協定	喜多方市	H19. 2. 20
13	羽鳥湖高原の美しい景観づくり協定	天栄村	H19. 2. 20
14	須賀川市南部地区軒の栗通りまちづくり協定	須賀川市	H20. 6. 20
15	須賀川市南部地区本町通りまちづくり協定	須賀川市	H20. 6. 20
16	須賀川市南部地区大町通りまちづくり協定	須賀川市	H20. 6. 20
17	喜多方市小田付蔵のまち景観づくり協定	喜多方市	H22. 8. 27



# 福島県環境白書－統計資料編－（平成27年度版）

平成27年10月発行

非売品、複写・転写可（出典を明記のこと）

福島県生活環境部生活環境総務課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-7156

 福島県